

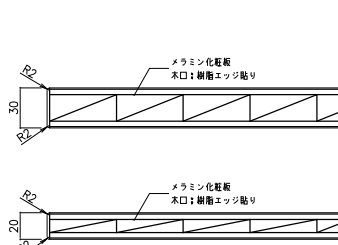
共通仕様

造作家具 共通仕様 「特記なき場合は下記仕様とする」

| 天板・扉：メラミン化粧板 | |
|--------------|---|
| 天板 | メラミン化粧板 木口：同色樹脂エッジ貼り |
| 本体・主材 | ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り |
| 扉 | メラミン化粧板 木口：同色樹脂エッジ貼り 扉にガラスが入る時は透明強化ガラス(4mmとする) |
| 引出前板 | ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂エッジ貼り |
| 引手 | ステンレス手カケ |
| 棚板 | ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り |
| 側板 | ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り |
| 背板 | ポリエステル化粧合板 |
| 地板 | ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り |
| 台輪 | ポリエステル化粧合板 |
| 接着剤 | ■接着剤・塗料は厚生労働省より室内環境指針値が出された物質の基準値を満たしたものとすること。 |

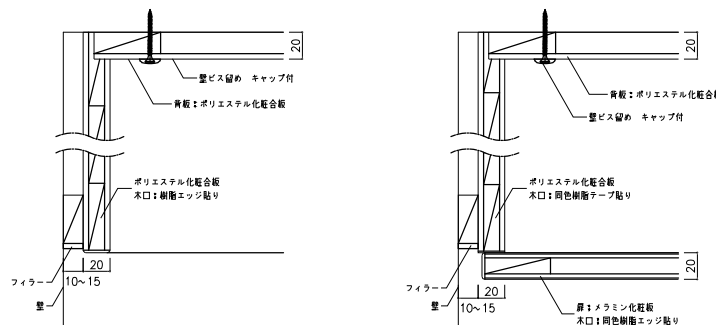
- 施工中に家具施工員を作成し監督者に提出、承認を受けた後、製作、施工すること。
- 家具の製作工場については環境に配慮し、温湿化防止や火土安全のために、持続可能な森林運営を行うことを評価・認定した認証制度（SGCC、又はPEFC）の認証取得企業であること。
- また、品質確保のためISO9001認定取得の国内工場、および同工場の管理する協力工場とすること。
- メーカー選定の際には、仕様通りの実物サンプルを提出し、監督者承認後決定とすること。

天板



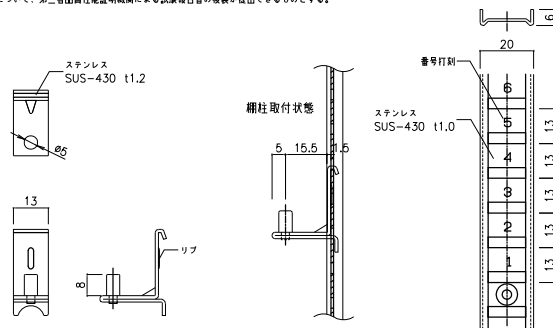
本体仕様

- 本体各部材の接合に関しては、いたずら取止めや強固留めのため、部外者が容易に升せるノックダウン金物の使用は禁止とする。
- 造作家具は危険防止の為、戻または堅固に取付・固定すること。
- 本体は、ファイラー、交換の現場加工取付とすること。



ステンレス製耐震棚受・棚柱

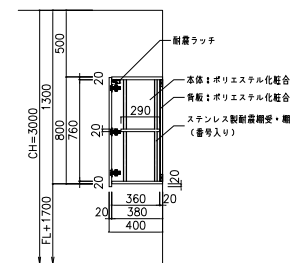
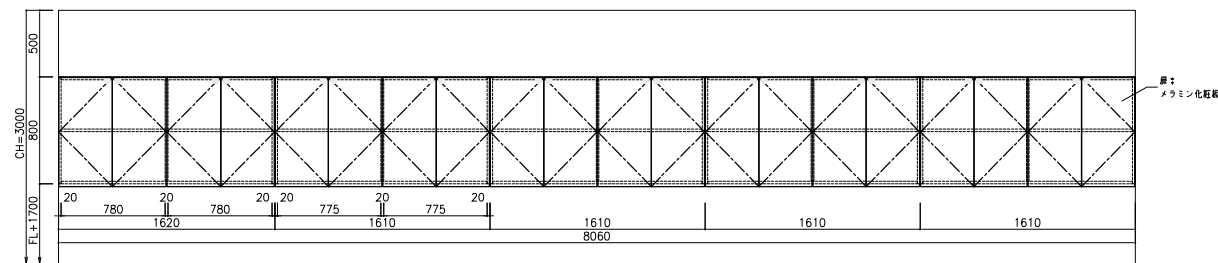
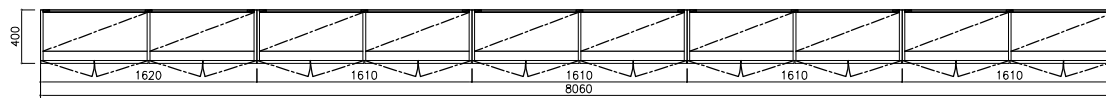
- ・ 可動棚板および棚柱と棚受について下記の条件を満たすものとする。
- ・ 震度6以上（JMA検内震）を想定した特定地震による3D加速レベル100%の耐震試験において、加震後、異常がなかったものとする。
- ・ 上記の耐震試験において可動棚板の落下がなかったことについて加震後の状況写真で確認できるものとする。
- ・ 上記の耐震試験について、第三者品質性能証明機関による試験報告書の複製が提出できるものとする。



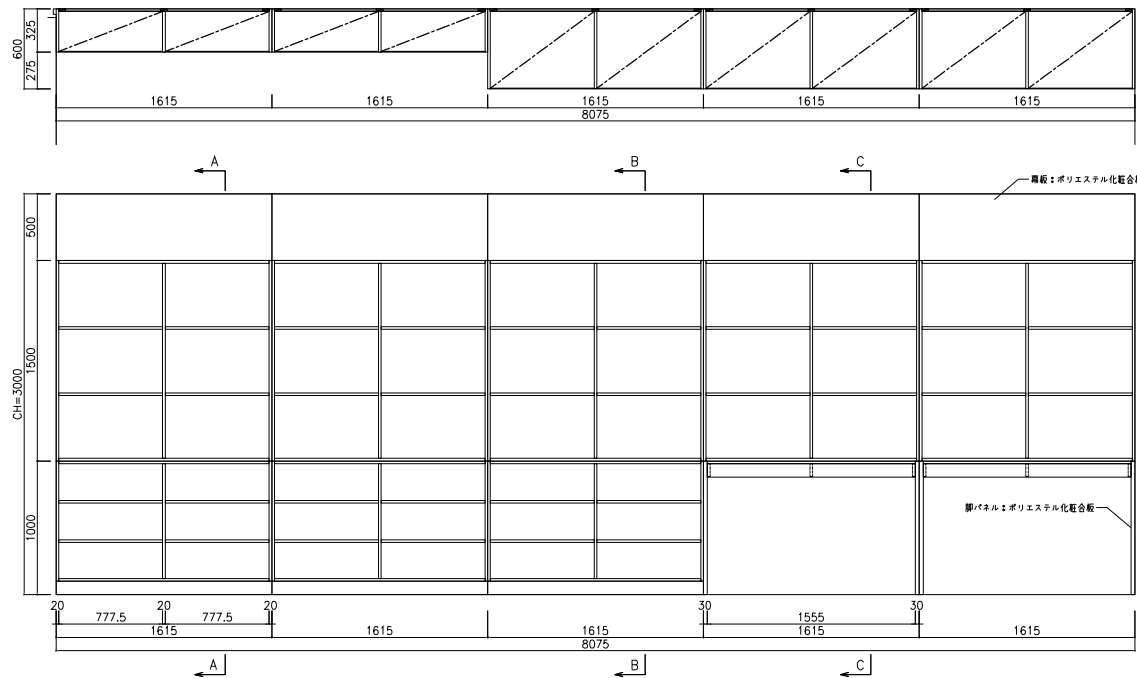
F-01 吊戸棚

1階 各室

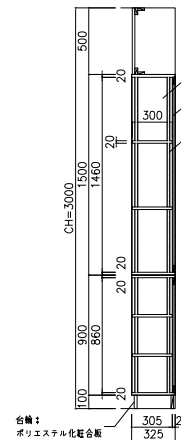
4カ所



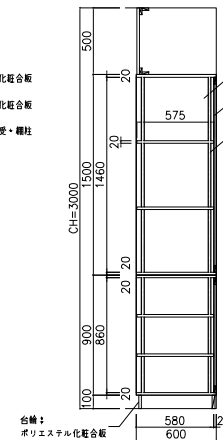
| 室名 | ヶ所数 |
|--------|-----|
| 指導訓練室A | 1 |
| 指導訓練室B | 1 |
| 指導訓練室C | 1 |
| 指導訓練室D | 1 |
| 合計 | 4 |



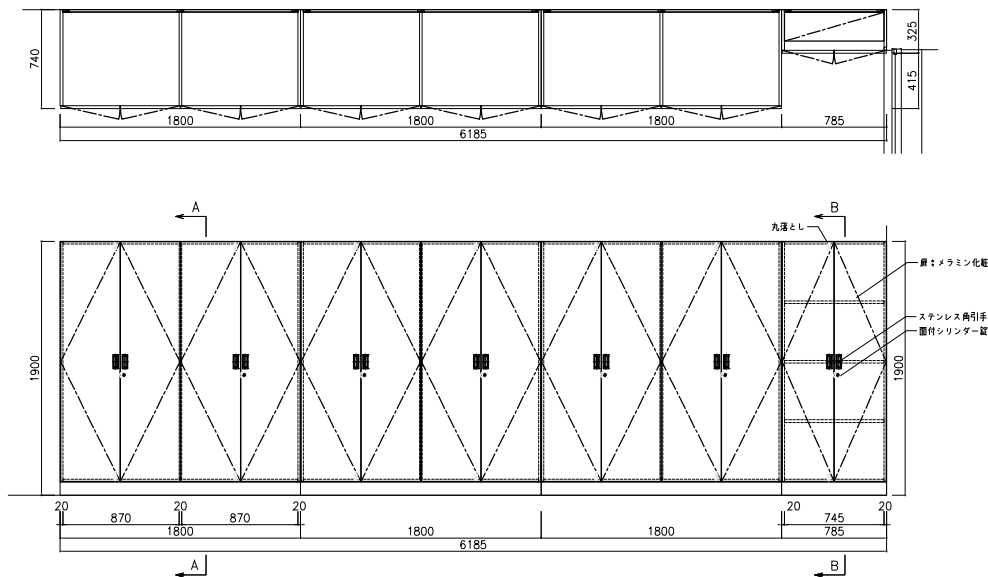
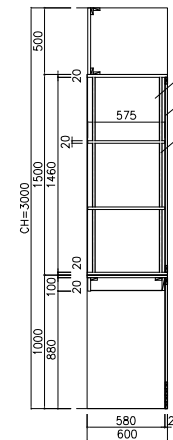
A-A断面図



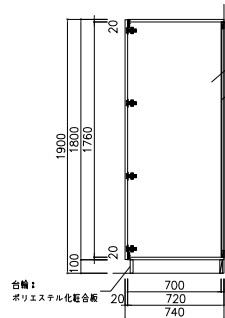
B-B断面図



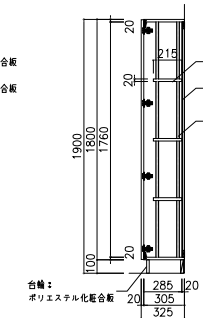
C-C断面図



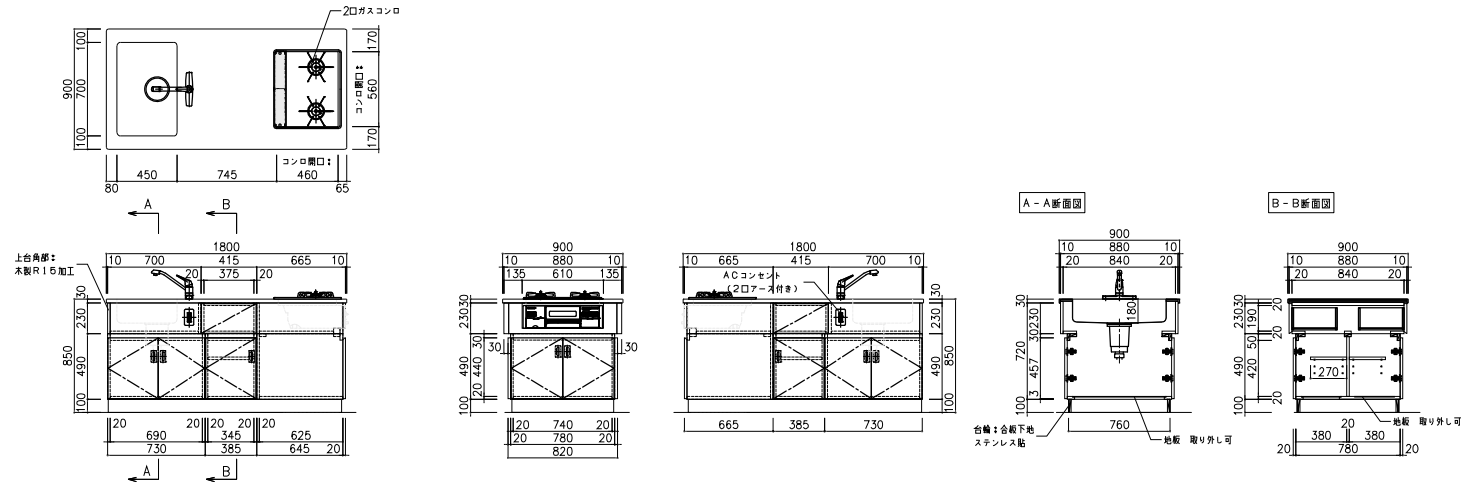
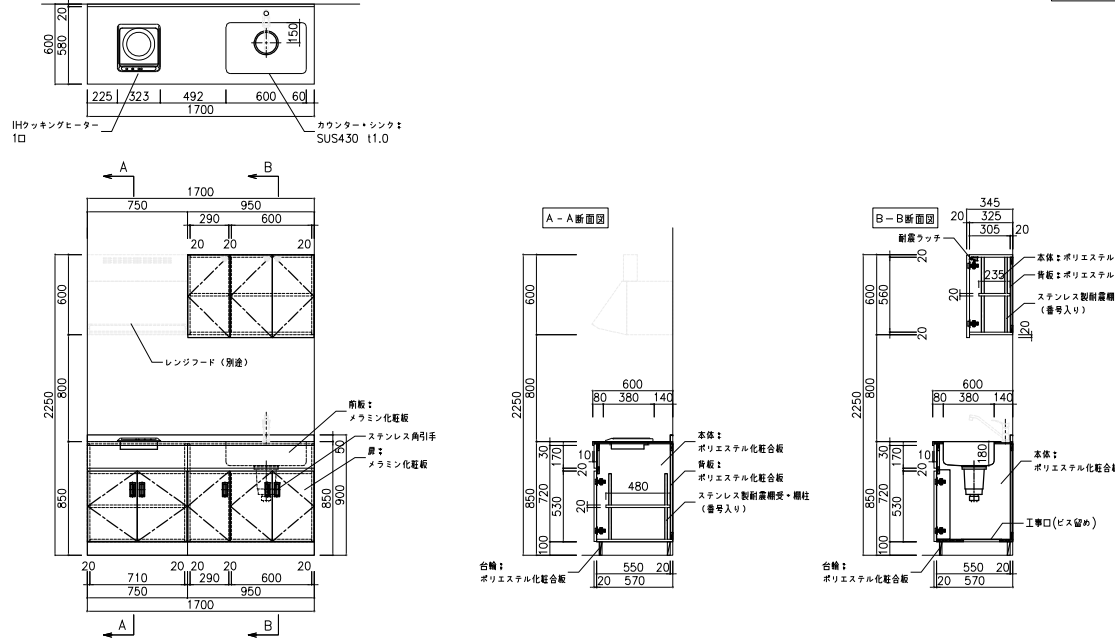
A-A断面図



B-B断面図



水栓金具・シール及び
接続配管等は家具工事外

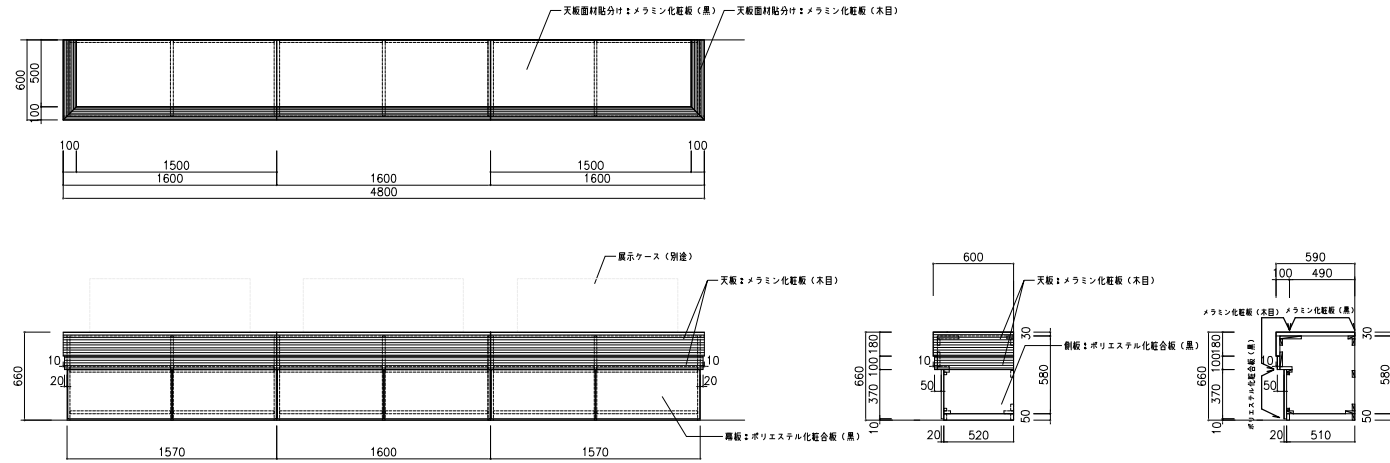


| 仕様表 | |
|-----------|---|
| 寸法 | W1800×D900×H850mm |
| 天板 | ステンレスSUS430 t1.0mm コーナー：フル加工 |
| 流し | ステンレスSUS430 t1.0mm |
| 本体 | ポリエステル化粧合板 木口：同色テープ貼り 上台角部：木製R加工 UC |
| 引出前板 | メラミン化粧板 |
| 扉板 | 木口：同色テープ貼り |
| 扉 | メラミン化粧板 |
| 引手 | 国産ヒノキ |
| 台輪 | ステンレスSUS430 t1.0mm 寸法：105°ワンタッチ丁番 スライドレールL400 |
| 金物 付属品 | 棚ダボ |
| | ステンレスパイプφ19、Sカン×5 |
| | 排水トラップφ186mm ゴミ収納管付×1 |
| | コンセント：AC用2口アース端子付×2 |
| | 床固定アングル×2 |

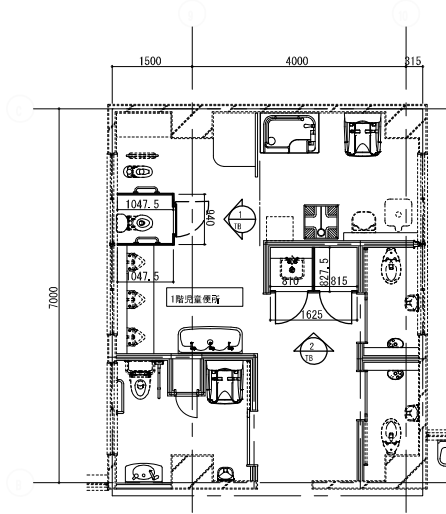
| 調理器具 | 水栓 |
|----------------------|--------------|
| グリル付 二口ガスビルトインコンロ | 台付シングルレバー混合栓 |

ガスコック・ゴムホースは付属しません

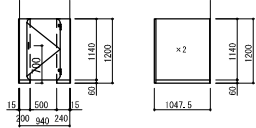
| 室名 | ヶ所数 |
|----------|-----|
| 歴史民俗資料室B | 3 |
| 歴史民俗資料室C | 3 |
| 合計 | 6 |



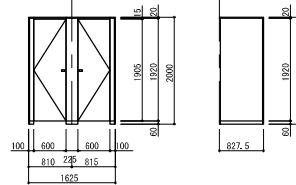
平面図・展開図 (S=1/50)



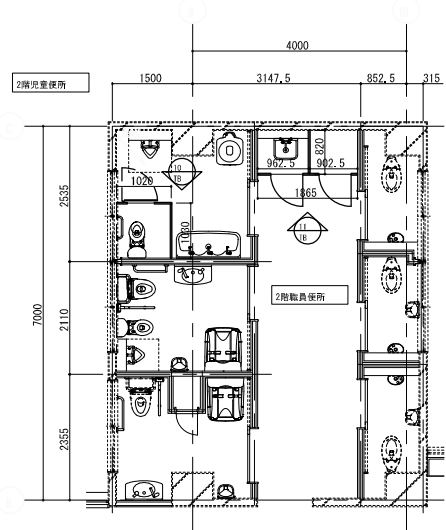
1
TB
1B-YF



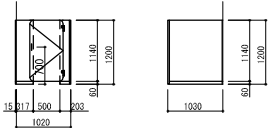
2
TB
1B-TP



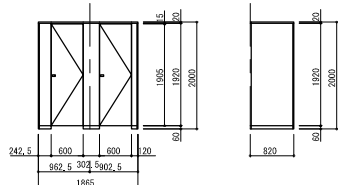
平面図・展開図 (S=1/50)



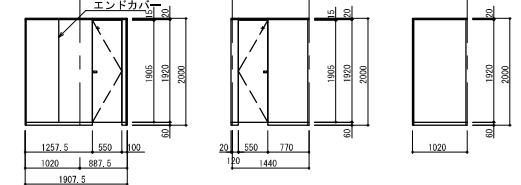
10
TB
1B-YF



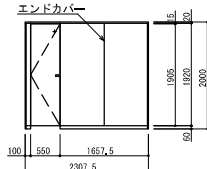
11
TB
1B-TP



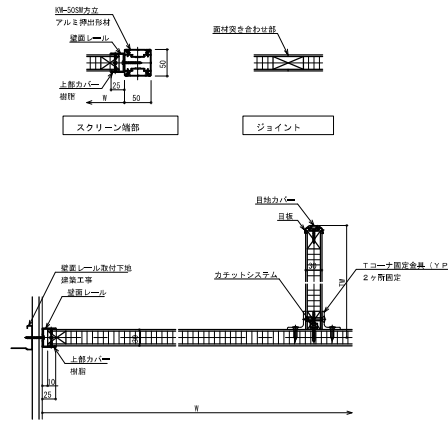
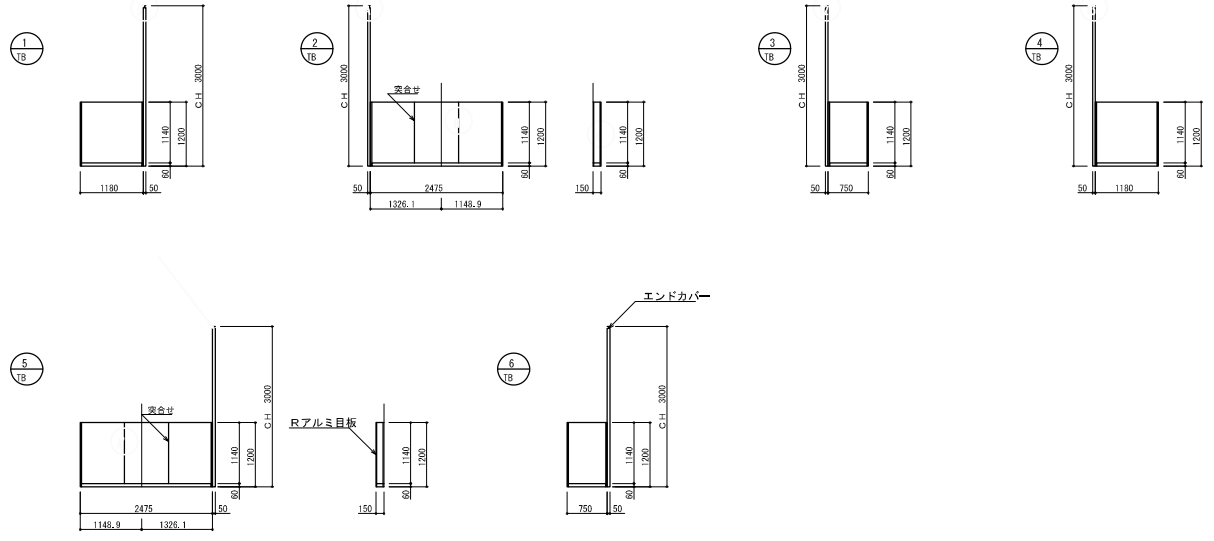
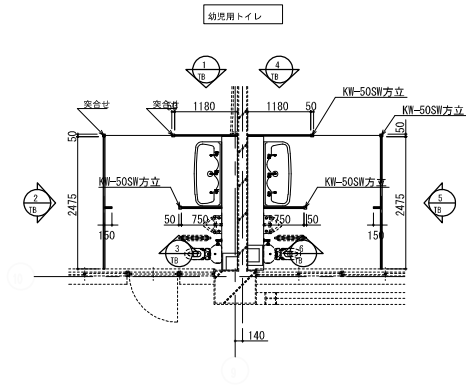
15
TB
1B-TP



16
TB
1B-TP

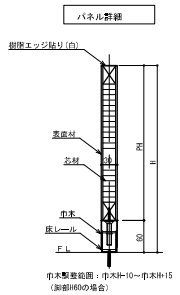


| | | | | |
|-----|--------------------------------|-------------|--------------------------|-------------------|
| №3 | 工務局 国庫補助事業 (仮称) 多世代交流館整備 | 工事種別 工務局 | 項目の名称 トイレブース参考図-1 | 図面番号 A参-010 |
| 製 図 | 豊明市 行政経営部 公共施設管理室 | | 図 尺 A1:1/ 50 A3:1/100 | 製 図 年 月 令和3年2月 |

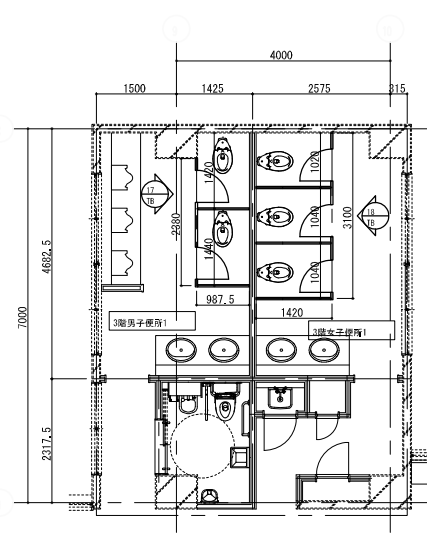


◇仕様表 (小股ワオール サニティTB-Vタイプ)

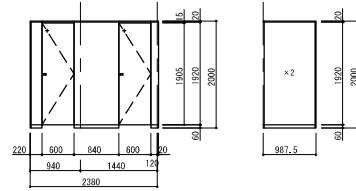
| 項目 | 部材 | 材料 (規格等) |
|-----|---------|-----------------------|
| パネル | パネル表裏材 | 炭圧メラミン樹脂化粧板(下地: MDP) |
| | 芯材 | ベークコア |
| | エッジ | アルミ押出材 (アルマイトクリア樹脂仕上) |
| 付属品 | 巾木/床レール | ステンレス0.8mm (ヘアライン仕上) |
| | その他金物 | 亜鉛ダイキャスト |



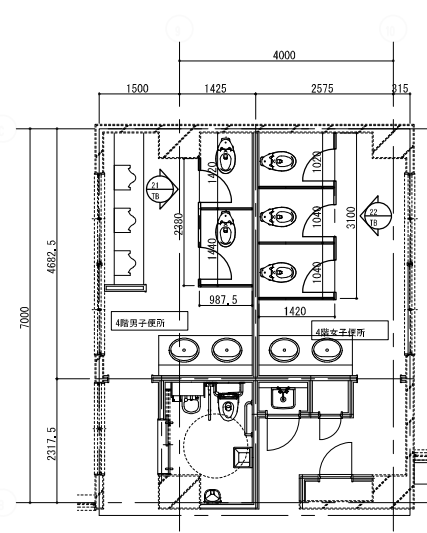
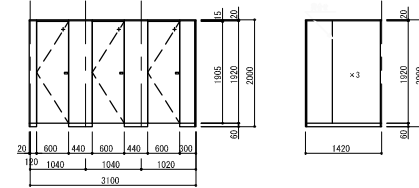
巾木設置断面: 巾木H=10mm・巾木H=15mm (樹脂H60の場合)



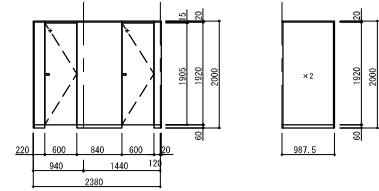
17
TB
TB-TP



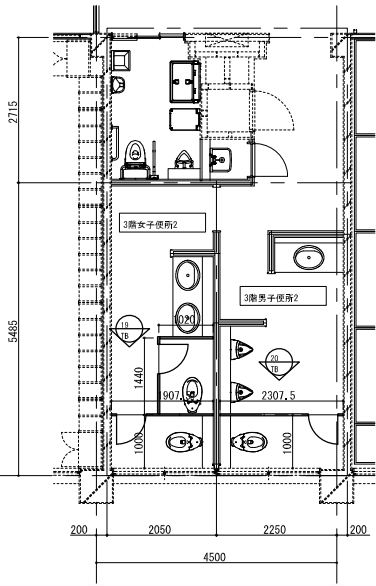
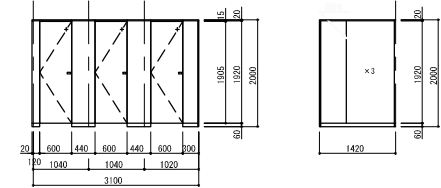
18
TB
TB-TP



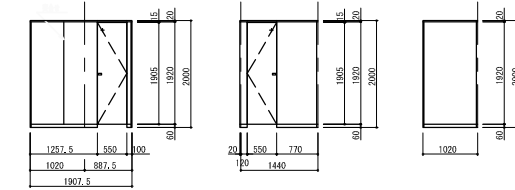
21
TB
TB-TP



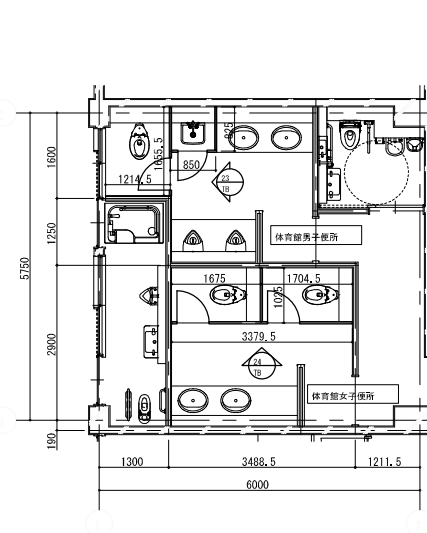
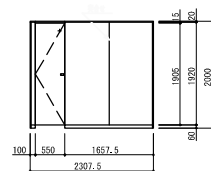
22
TB
TB-TP



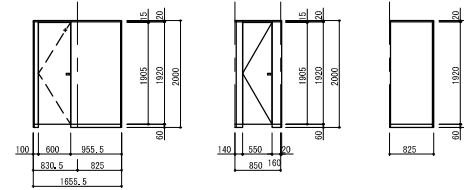
19
TB
TB-TP



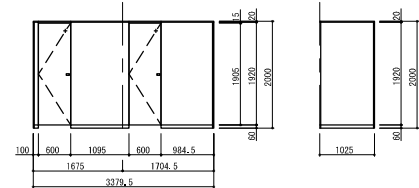
20
TB
TB-TP

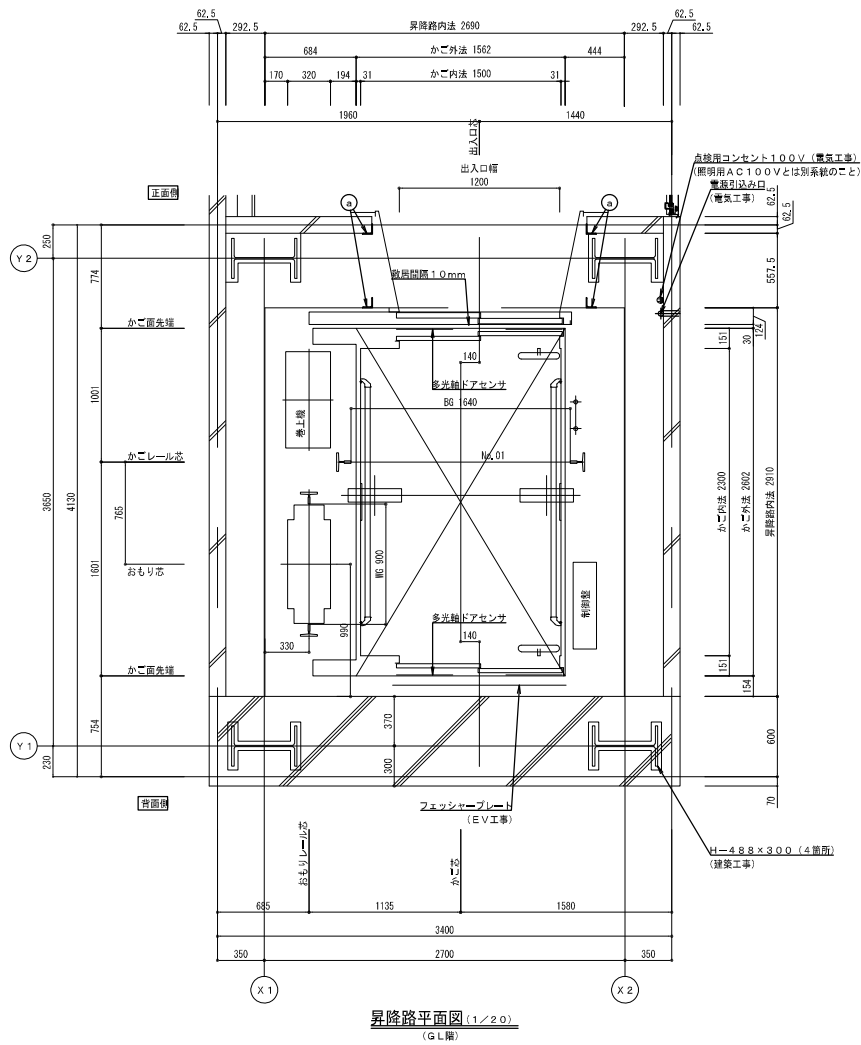


23
TB
TB-TP

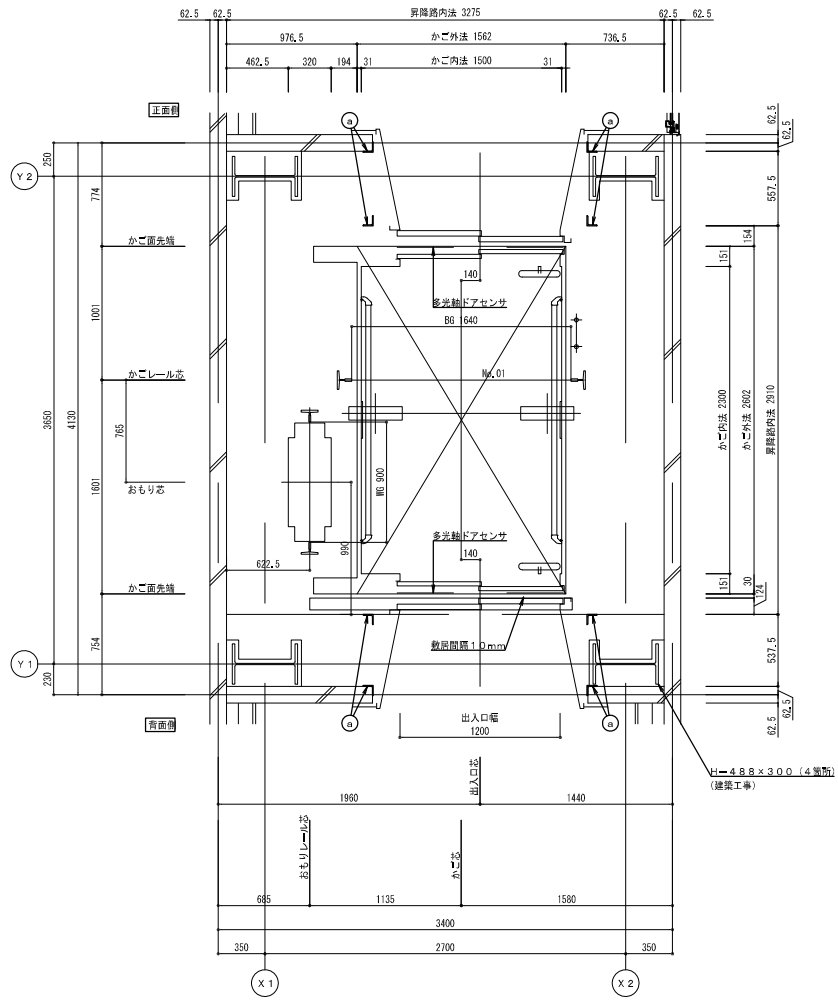


24
TB
TB-TP





昇降路平面図 (1/20)
(G.L.)



昇降路平面図 (1/20)
(1階)

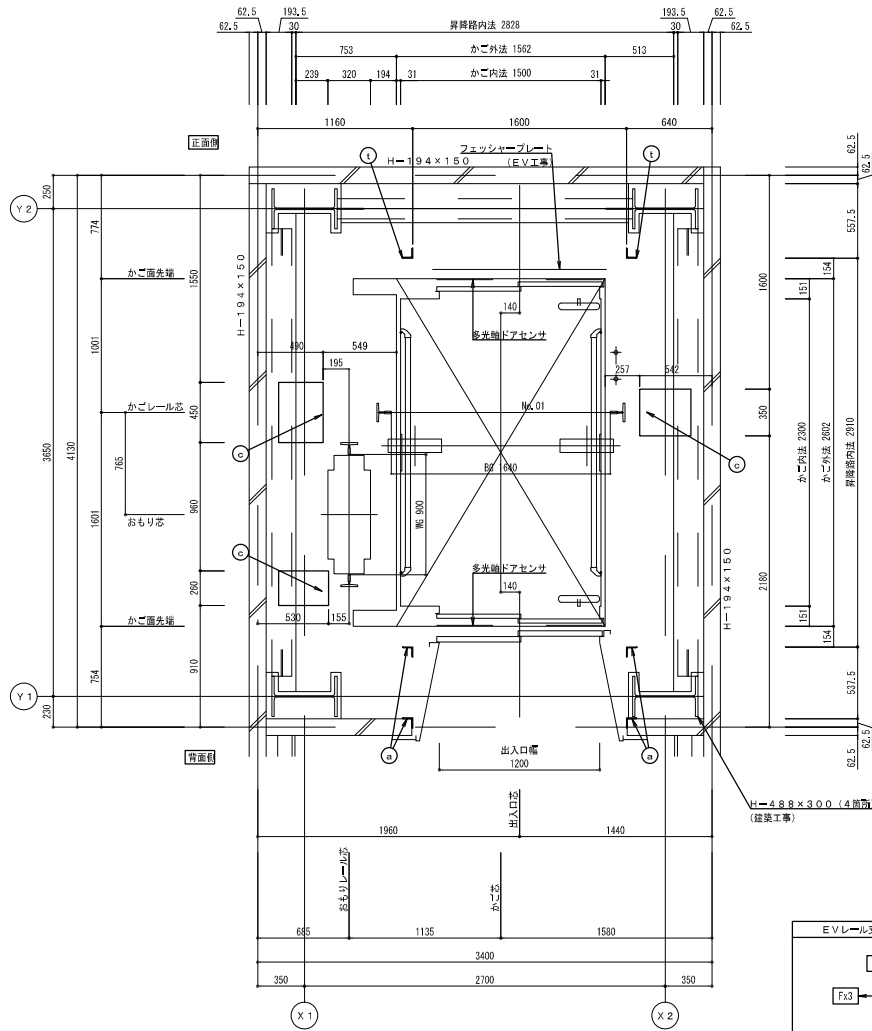
動力電源設備 (CVT電線使用時)

| 号機名 | 電源電圧 周波数 | 電動機容量 | 設備容量 | 電源側NF容量 | 感度電流値* 動作時間 | 電線サイズ | 接地線サイズ |
|-----|------------------|-------|------|---------|-------------------|---|--------------------|
| 01 | AC3φ210V 60Hz | 8.1kW | 8kVA | 60AT | 200mA以上 0.2秒以上 | 3.6mまで 8mm ² 6.3mまで 14mm ² 9.6mまで 22mm ² | 3.5mm ² |

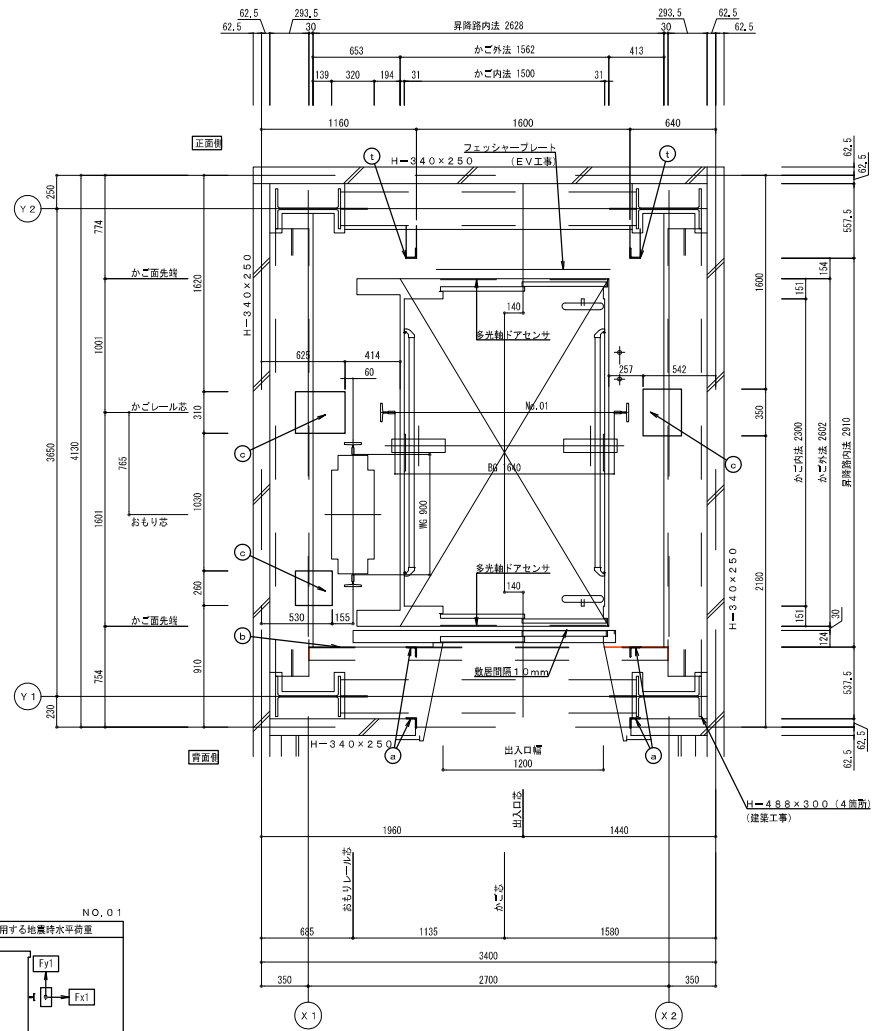
照明用電源AC1φ100V 60Hz (整備容量1kVA/台 電源側NF容量20AT/台) (*) 電源図に漏電遮断器を設置する場合

電源引込み口 (最下階天井付近)
動力用AC3φ=210V-60Hz
照明用AC1φ=100V-60Hz
0種接地工事
電線引出し長さ 天井高さ+4500mm
(電気工事)

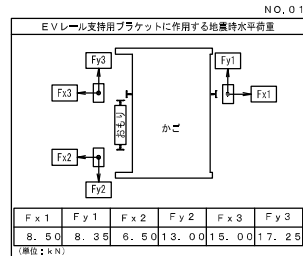
| 部材 記号 | 名称 | 部材 | 工事区分 |
|----------|-------------------------------|-----------|------|
| a | 三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可) | L-75×75×6 | 建築工事 |



昇降路平面図(1/20)
(1階+1975)

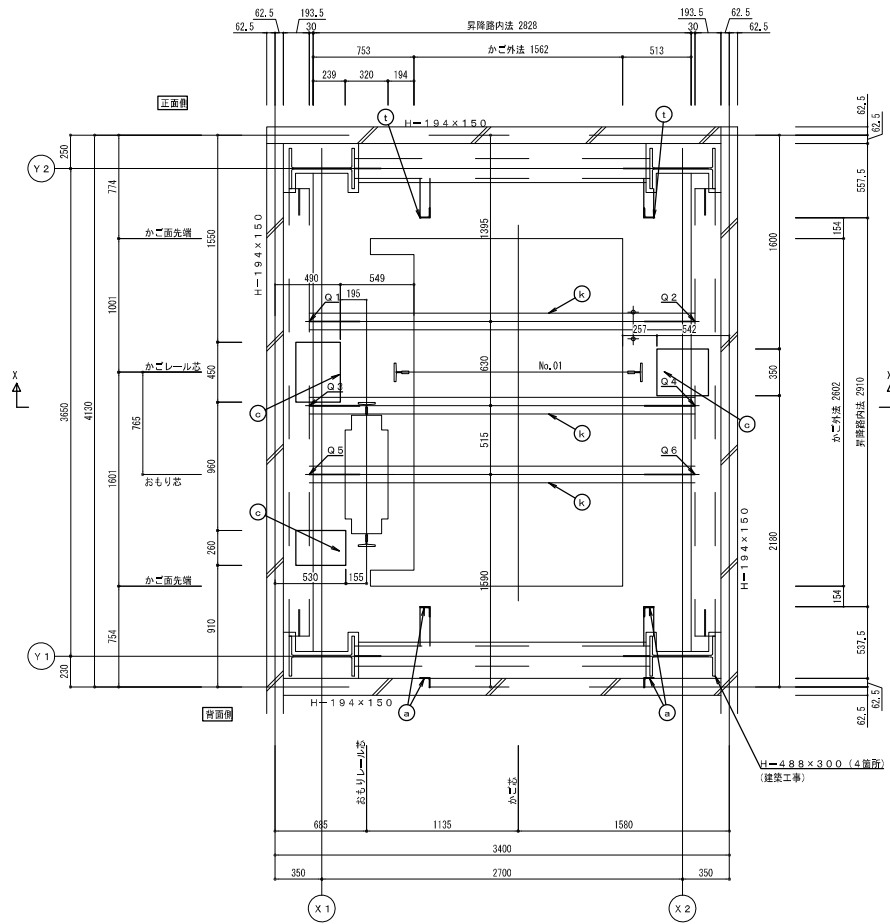


昇降路平面図(1/20)
(4階+3066)

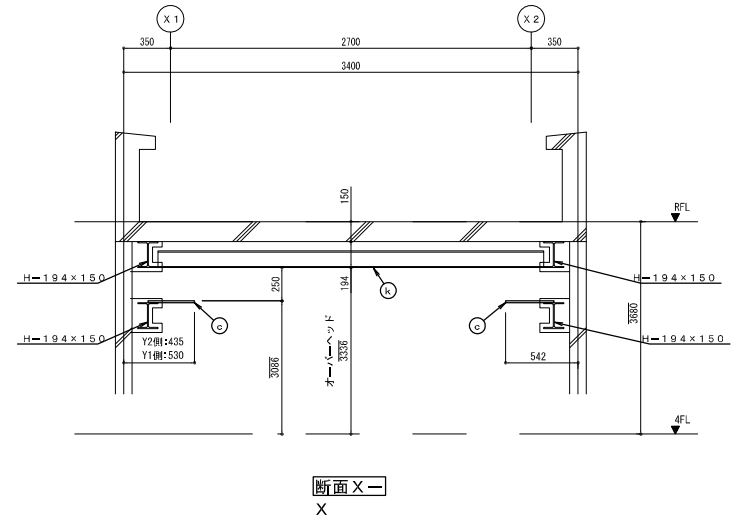


注: 上記矢印の地盤時荷重により柱、梁などのたわみの合計が6mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付のこと。

| 部材 記号 | 名 称 | 部 材 | 工事区分 |
|----------|-------------------------------|-------------|------|
| a | 三方栓取付鋼材 (扉取付金物の昇降路内への突出不可) | L=75×75×6 | 建築工事 |
| b | 軌層取付材 | L=100×100×7 | 建築工事 |
| c | レールブラケット取付用フラスター | PL=t 12 | 建築工事 |
| t | フェッシャープレート取付材 | L=75×75×6 | 建築工事 |



昇降路平面図 (1/20)
(頂部)



断面 X-X

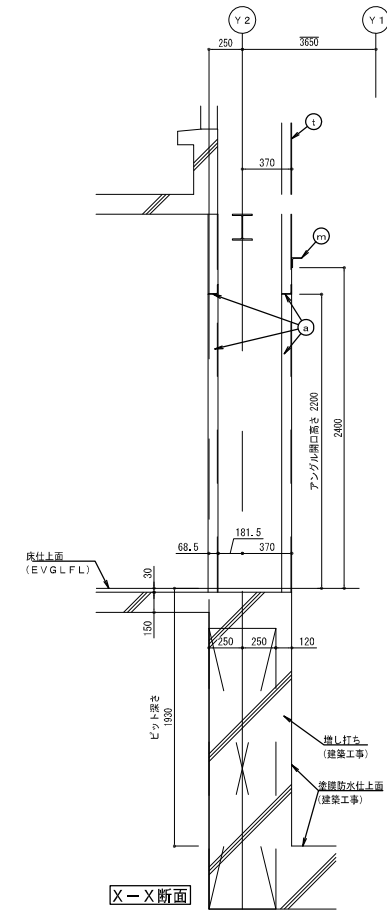
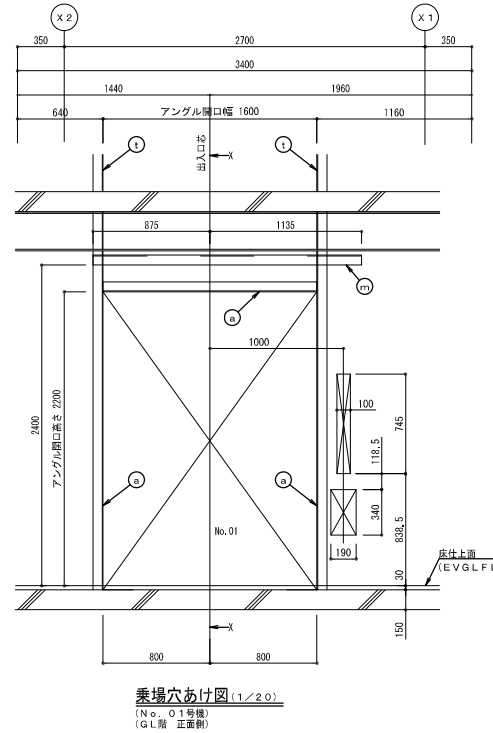
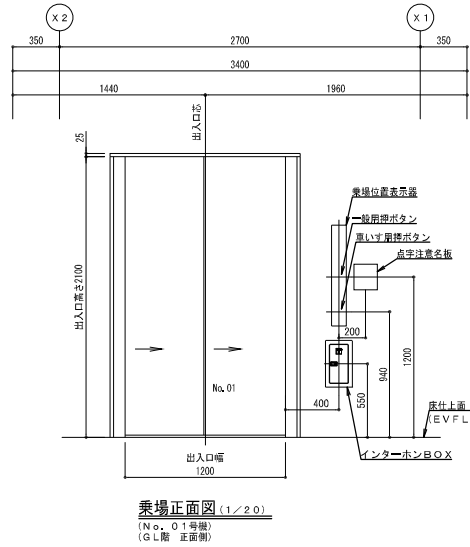
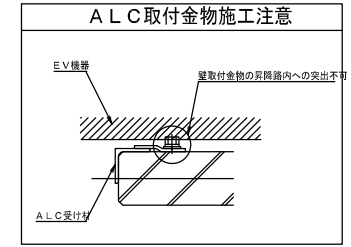
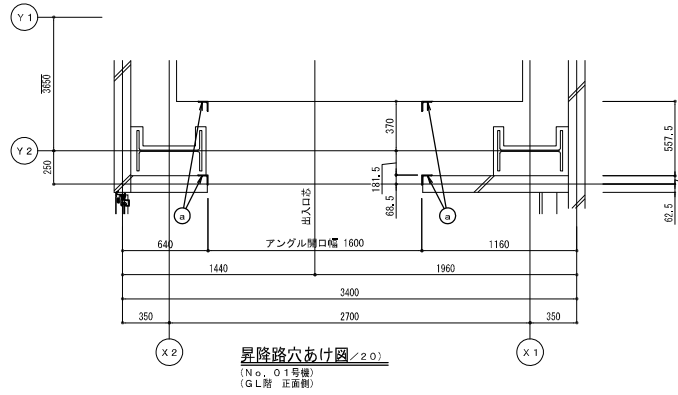
揚重ビームに掛かる荷重 No. 01

| Q1 (kN) | Q2 (kN) | Q3 (kN) | Q4 (kN) | Q5 (kN) | Q6 (kN) |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 46.0 | 20.0 | 20.0 | 23.0 | 46.0 | 20.0 |

Q1~Q6はEV受け時に作用する

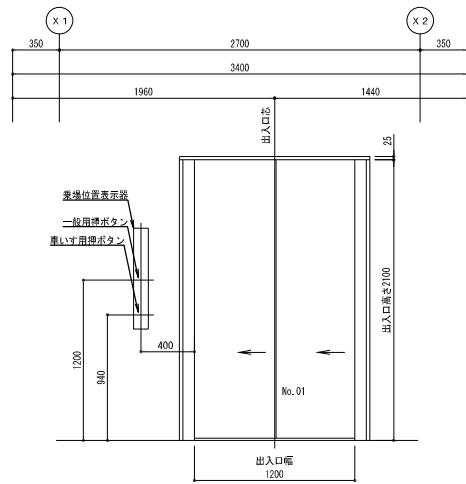
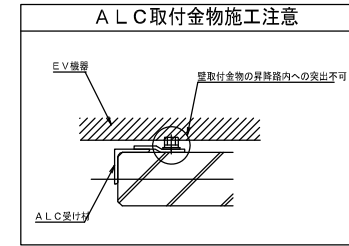
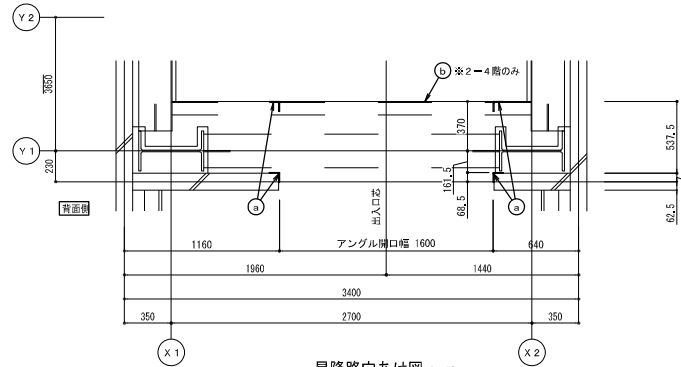
| 部材 番号 | 名称 | 部材 | 工事区分 |
|----------|------------------|-----------------|------|
| o | レールブラケット取付用ファスナー | PL-t12 | 建築工事 |
| k | 揚重ビーム | H-125x125x6.5x9 | 建築工事 |

| 部材 記号 | 名称 | 部材 | 工事区分 |
|----------|-------------------------------|-----------|------|
| a | 三方枠取付脚材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可) | L-75×75×6 | 建築工事 |
| m | ハンガーケース取付材 | L-75×75×6 | 建築工事 |
| t | フェッシャープレート取付材 | L-75×75×6 | 建築工事 |

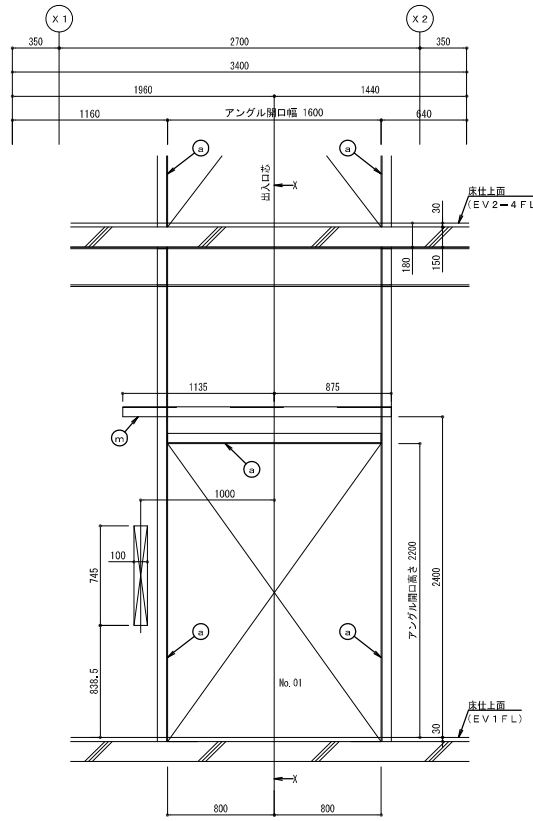


注) ・開口寸法は、壁厚100mm、壁仕上30mmの場合を示す
(異なる場合は種別のこと)
・壁仕上: 石貼、タイル、直打の場合は別途打合せのこと

| 部材 記号 | 名称 | 部材 | 工事区分 |
|----------|------------------------------|-------------|------|
| a | 三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内へ突出不可) | L-75×75×6 | 建築工事 |
| b | 鉄筋取付材 | L-100×100×7 | 建築工事 |
| m | ハンガーケース取付材 | L-75×75×6 | 建築工事 |

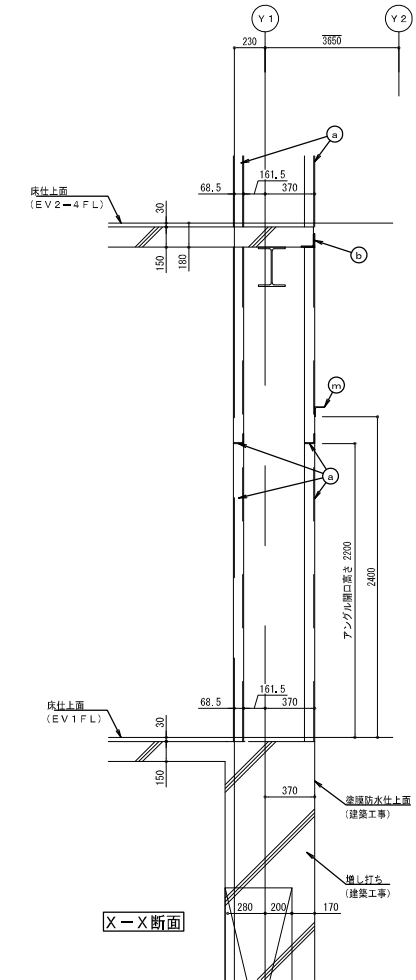


乗場正面図 (No. 01号機) (1-4階 背面側)

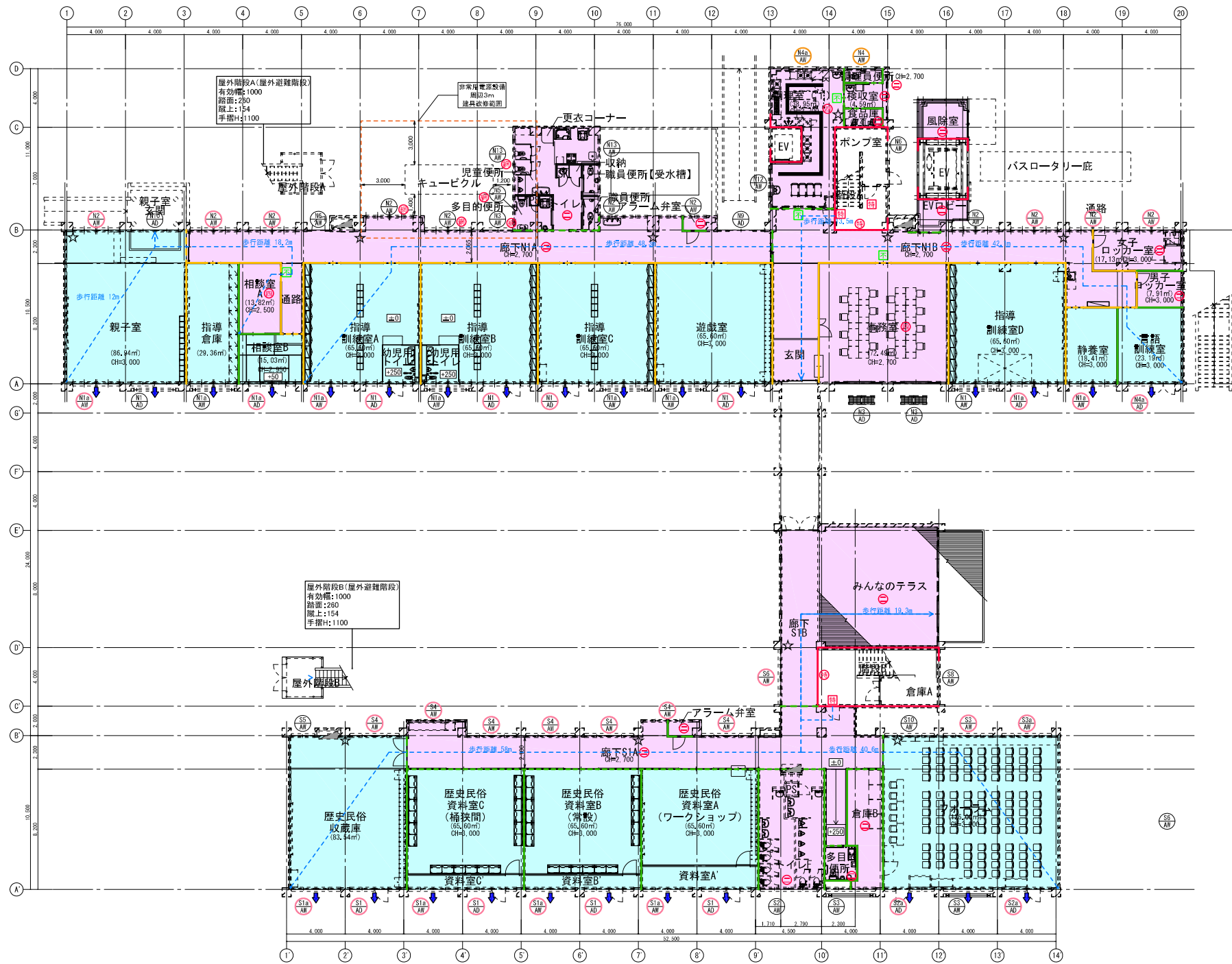


乗場穴あけ図 (No. 01号機) (1-4階 背面側)

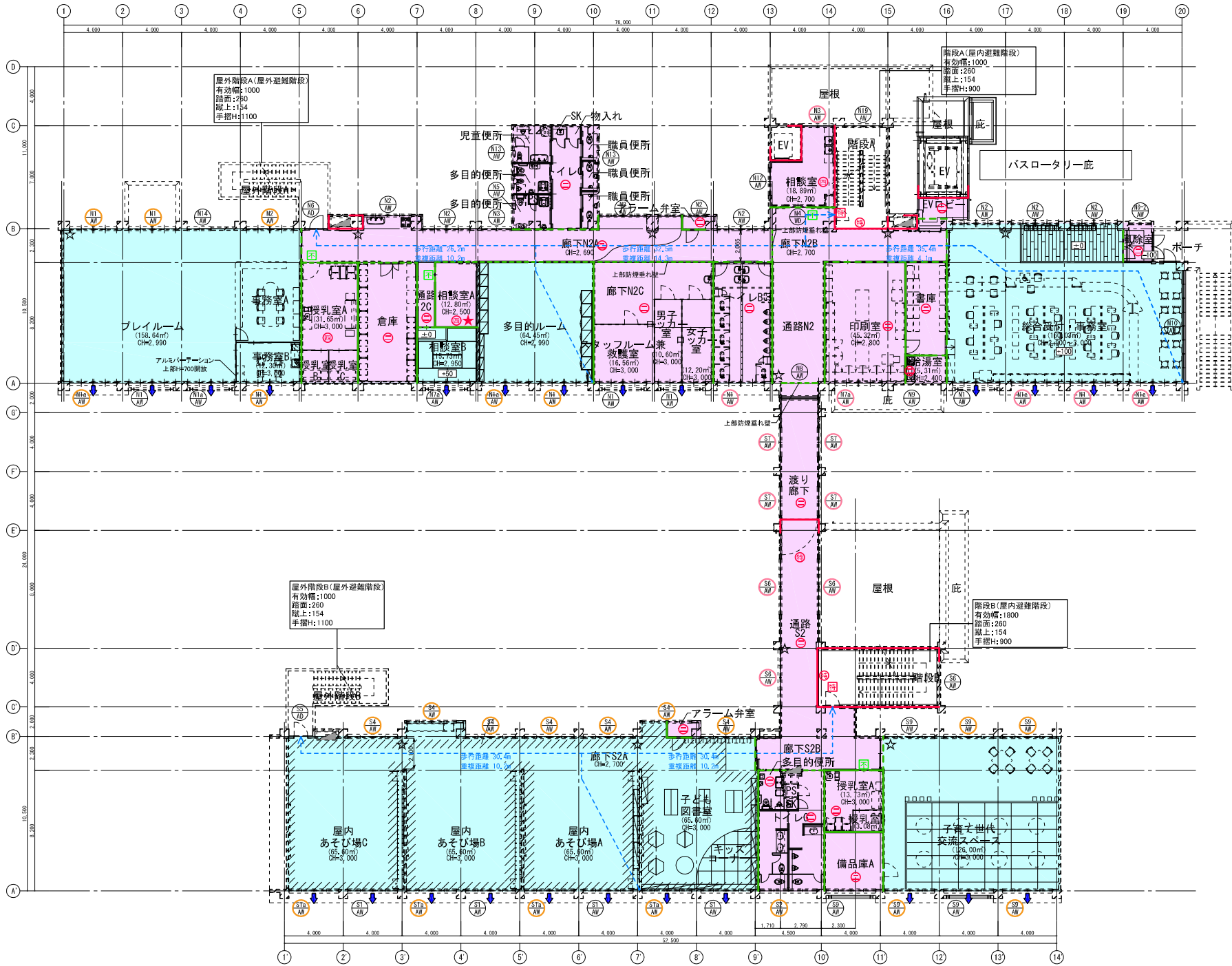
注) ・開口寸法は、壁厚100mm、壁仕上30mmの場合を示す
(異なる場合は確認のこと)
・壁仕上: 石貼、タイル、直打の場合は別途打合せのこと



X-X断面



| 配号・凡例 | |
|---|---|
| | 防火区画 |
| | 防火区画 (114条区画) |
| | 防火区画 (114条区画 天井内) |
| | 排煙区画 (扉上部: 差壁 H500) |
| | 排煙区画 (垂れ壁) |
| | 常時閉鎖式特定防火設備 H12告示1399号・S48告示2563号 |
| | 常時閉鎖式特定防火設備 (煙感自動閉鎖機) H12告示1399号・S48告示2563号 |
| | 常時閉鎖式不燃扉 (扉上部 下り300以上) |
| | 防火設備 (法2条9号の2ロ) 繰入ガラス H12告示1360号 |
| | 自然排煙区画 (令126条の2に準拠) |
| | H12告示1436号第4号ニ(ニ) |
| | H12告示1436号第4号ニ(四) |
| | 自然排煙口 |
| | 避難経路 |
| | <屋内消火栓> |
| | <屋内消火栓(消火器内蔵型)> |
| | メンテナンス用階段 |
| | 主要な出入口 |
| | 消火器(壁埋込み型) |
| | 消火器(床置き型) |
| | マンホール600φ密閉型(防水・防臭) |
| | 化粧床点検口600×600密閉型(防水・防臭) |
| | 化粧床点検口600×600 二重床内マンホール600φ密閉型(防水・防臭) |
| | 令116条の2-1の採光無窓居室 |
| | 非常用出入口(W750×H1200以上)ハルコニー奥行≧1m長さ≧4m ガラス:強化ガラス6φ/フロートガラス6φ以下/繰入りガラス6.8φ以下 補強:赤色反射塗料の表示 一辺20cmの正三角形 |
| | 代替出入口(W750×H1200以上またはφ1000) ガラス:強化ガラス5φ/フロートガラス6φ以下/繰入りガラス6.8φ以下 無窓階算定の有効開口部 (φ50) |
| | 無窓階算定の有効開口部 (W750×H1200以上またはφ1000) |
| <ul style="list-style-type: none"> PS、CS、DS、EPS、ESは特記無き限り水平区画とする。 階段室、EV昇降路は令126条の2-1-3に依る排煙免除とする。 窓区画画及び面積区画の外壁部分に設けるスタンドレ部分は特記無き限り100cm以上とする。(令112条10、11項) 114条区画と非煙区画を兼ねることとする。 114条区画(天井内)と排煙区画を兼ねる部分は、垂れ壁H500以上(不燃戸の場合はH300以上)を確保する。 排煙装置オペレーター高さH1,500とする。 消火器BOX(埋込・直型共)には、消火器を配置する。なお消火器種別は粉末消火器とする。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 防火区画の轄式壁は、以下のいずれかとする。 耐火壁(FP060P-0198) GB-H9.5t-GB-F21t(両面) 耐火壁(FP060P-0007) GB-F21t×2(片面) | |



配号・凡例

| | |
|--|---------------------|
| | 防火区画 |
| | 防火区画 (114条区画) |
| | 防火区画 (114条区画 天井内) |
| | 排煙区画 (扉上部: 煙壁 H500) |
| | 排煙区画 (壁埋壁) |

- 常時閉鎖式特定防火設備
H12告示1369号・S49告示2663号
- 常時閉鎖式特定防火設備 (煙幕運動自動閉鎖)
H12告示1369号・S49告示2663号
- 常時閉鎖式不燃扉 (扉上部 下り300以上)
- 防火設備 (扉2条9号の2口)
耐火ガラス H12告示1369号

- 自然排煙区域(令+26条の2に準拠)
- H12告示1436号第4号ニ(二)
- H12告示1436号第4号ニ(四)

- 自然排煙口
- 避難経路

- <屋内消火栓>
- <屋内消火栓(消火器内蔵型)>

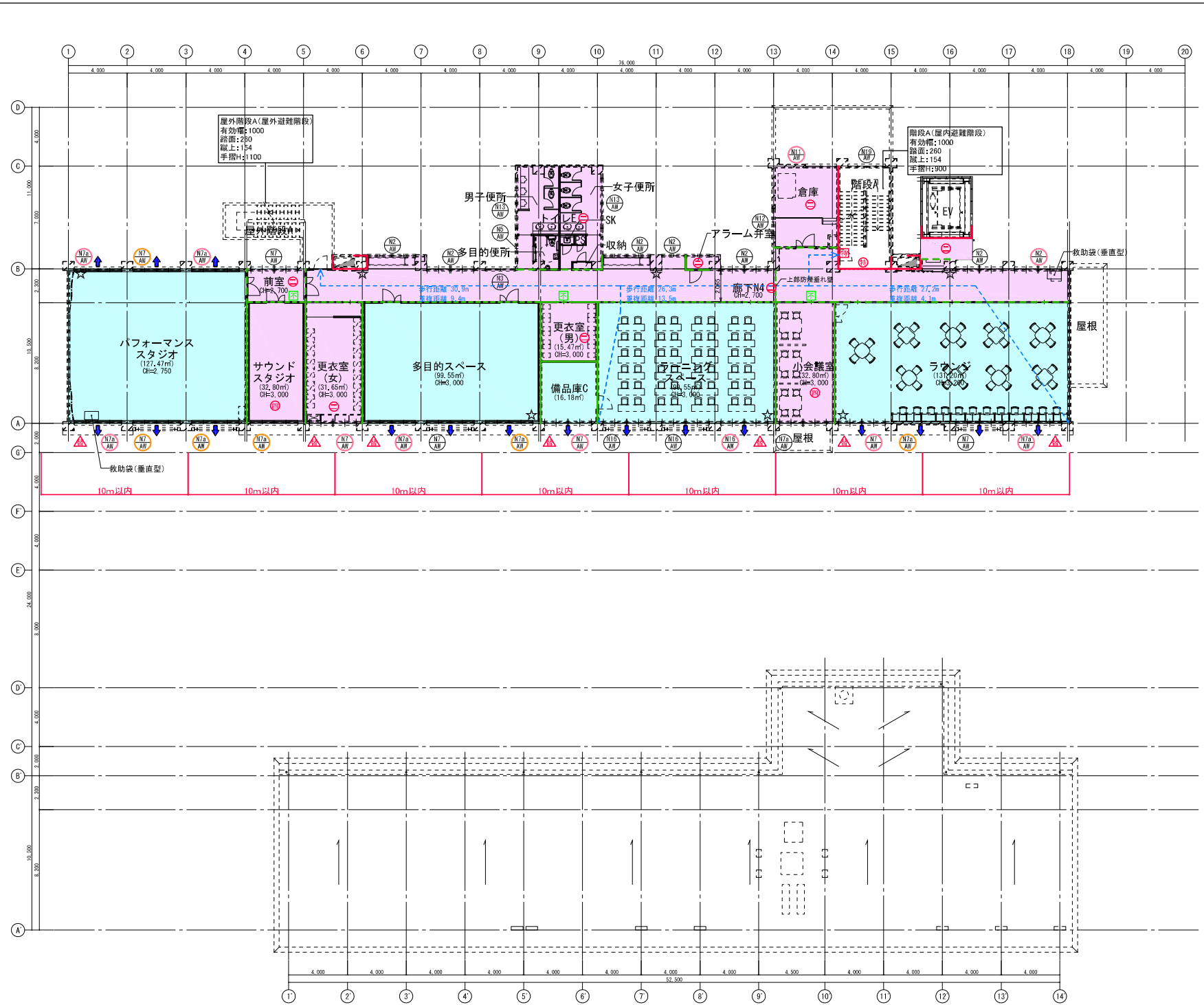
- メンテナンス用入り
- 主要な出入口
- 消火器(壁埋込み型)
- 消火器(床置き型)
- マンホール600φ密閉型(防水・防臭)
- 化粧床点検口600×600密閉型(防水・防臭)
- 化粧床点検口600×600
二重床内マンホール600φ密閉型(防水・防臭)
- 令116条の2-1の採光無窓居室
- 非常用出入口(W750×H1200以上)ハルノー-実行1m長さ4m
ガラス:強化ガラス5/フロートガラス6以下/入りガラス6.8以下
横軸:赤色反射塗料の表示 一辺20cmの正三角形
- 代替出入口(W750×H1200以上またはφ1000)
ガラス:強化ガラス5/フロートガラス6以下/入りガラス6.8以下
横軸:赤色反射塗料の表示 一辺20cmの正三角形
- 無窓階算定の有効開口部 (φ50)
- 無窓階算定の大型開口部 (W750×H1200以上またはφ1000)

- ・PS、CS、DS、EPS、ESは特記無き限り水平区画とする。
- ・階段室、EV昇降路は令126条の2-1-3に依る排煙免除とする。
- ・壁区画及び面積区画の外壁部分に設けるハンドル部分は特記無き限り幅300mm以上とする。(令112条10、11項)
- ・114条区画と階間区画を兼ねることとする。
- ・114条区画(天井内)と排煙区画を兼ねる部分は、壁埋壁H500以上(不燃扉の場合はH300以上)を確保する。
- ・排煙給排弁レバーの高さH1,500とする。
- ・消火器BOX(増込・置型共)には、消火器を設置する。
なお消火器種別は粉末消火器とする。

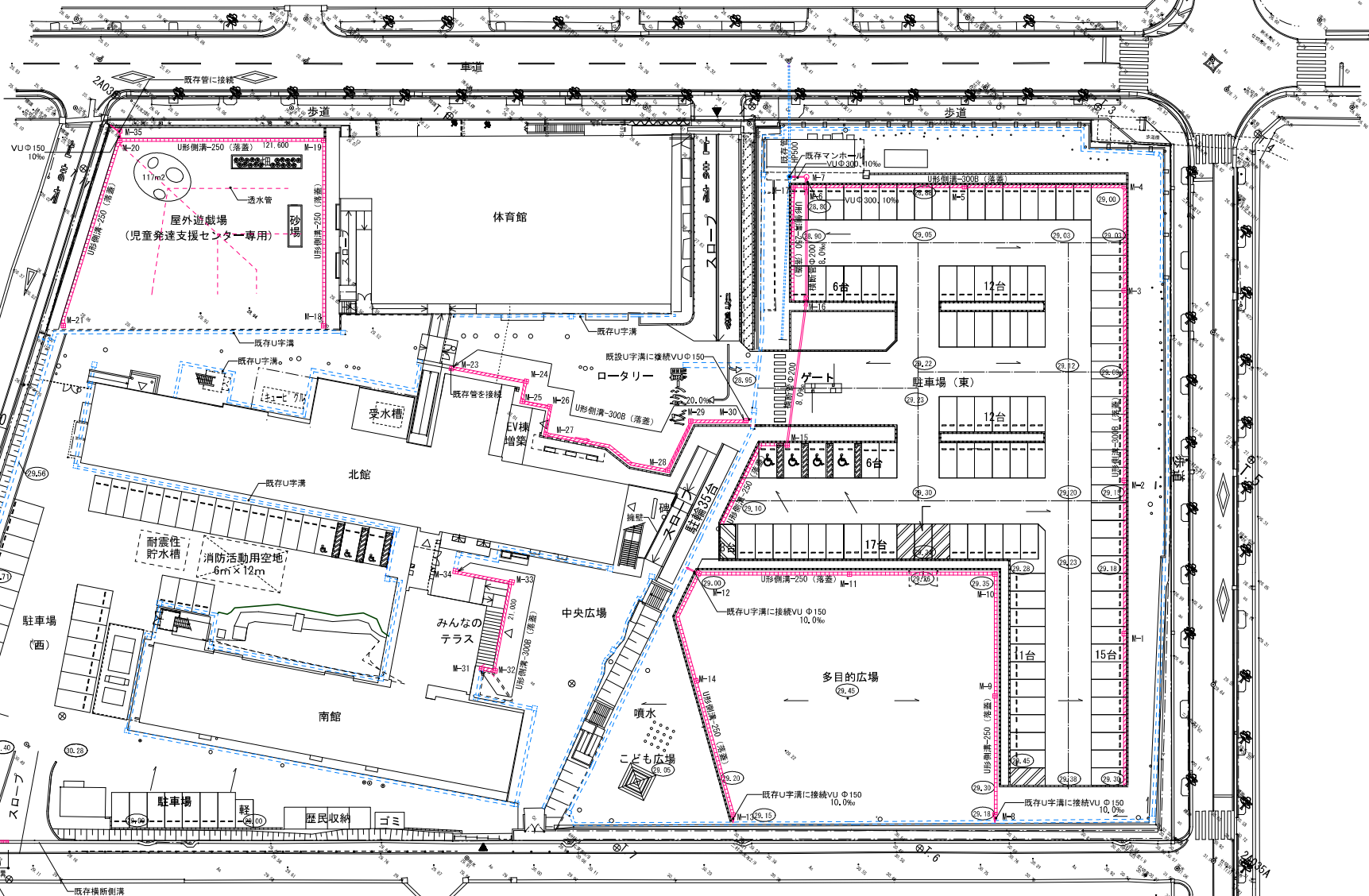
- ・防火区画の結式壁は、以下のいずれかとする。
- 耐火壁(FP60NP-0198) GB-H5.5t-GF-F21t(両面)
- 耐火壁(FP60NP-0007) GB-F21t×2(片面)



| 記号・凡例 | |
|---|---|
| | 防火区画 |
| | 防火区画 (114条区画) |
| | 防火区画 (114条区画 天井内) |
| | 排煙区画 (扉上部・垂壁 H500) |
| | 排煙区画 (垂れ壁) |
| | 常時閉鎖式特定防火設備 H12告示1369号・S48告示2563号 |
| | 常時閉鎖式特定防火設備 (増設自動閉鎖) H12告示1369号・S48告示2563号 |
| | 常時閉鎖式不燃扉 (扉上部 下リ300以上) |
| | 防火設備 (法2条6号の2) 網入りガラス H12告示1369号 |
| | 自然排煙区域 (≦126条の2に準拠) |
| | H12告示1436号第4号ニ(二) |
| | H12告示1436号第4号ニ(四) |
| | 自然排煙口 |
| | 避難経路 |
| | <屋内消火栓> |
| | <屋内消火栓(消火器内蔵型)> |
| | メンテナンス用昇降 |
| | 主要な出入口 |
| | 消火器 (壁埋込み型) |
| | 消火器 (床置き型) |
| | マンホール600φ密閉型 (防水・防臭) |
| | 化粧床点検口600×600密閉型 (防水・防臭) |
| | 化粧床点検口600×600 二重床マンホール600φ密閉型 (防水・防臭) |
| | ≦116条の2-1の採光無窓居室 |
| | 非常用出入口 (W750×H1200以上)ナルコニ奥行≧1m長さ≧4m ガラス:強化ガラスφ. フロートガラスφ以下/網入りガラスφ.8以下 横線:赤色反射塗料の表示 一辺20cmの正三角形 |
| | 代替出入口 (W750×H1200以上またはφ1000) ガラス:強化ガラスφ. フロートガラスφ以下/網入りガラスφ.8以下 横線:赤色反射塗料の表示 一辺20cmの正三角形 無窓居室定の有効開口部 (φ50) |
| | 無窓居室定大型開口部 (W750×H1200以上またはφ1000) |
| <ul style="list-style-type: none"> PS, CS, DS, EPS, ESは特記無き限り水平区画とする。 階段室, EV昇降路は≦126条の2-1-3に依る排煙免除とする。 整六区画及び面積区画の外壁部分に設けるスタンドレル部分は特記無き限り900mm以上とする。(≦112条10, 11項) 114条区画と排煙区画を兼ねることとする。 114条区画 (天井内) と排煙区画を兼ねる部分は, 垂れ壁H500以上 (不燃扉の場合はH300以上) を確保する。 排煙装置オペレータ一高さH1, 500とする。 消火器BOX (埋込・壁掛型) には, 消火器を設置する。なお消火器種別は粉末消火器とする。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 防火区画の形式等は, 以下のいずれかとする。 耐火壁 (FP060NF-0198) 6B-H0.5t+6B-F21t (両面) 耐火壁 (FP060NF-0007) 6B-F21t×2 (片面) | |



| 配号・凡例 | |
|---|---|
| | 防火区画 |
| | 防火区画 (114条区画) |
| | 防火区画 (114条区画 天井内) |
| | 排煙区画 (扉上部: 高さ H500) |
| | 排煙区画 (垂れ壁) |
| | 常時閉鎖式特定防火設備 H12告示1369号・S48告示2663号 |
| | 常時閉鎖式特定防火設備 (特殊通報自動閉鎖) H12告示1369号・S48告示2663号 |
| | 常時閉鎖式不燃扉 (扉上部 下U300以上) |
| | 防火設備 (流2条9号の2口) 納入ガラス H12告示1369号 |
| | 自然排煙区域 (令126条の2に準拠) |
| | H12告示1436号第4号ニ(二) |
| | H12告示1436号第4号ニ(四) |
| | 自然排煙口 |
| | 避難経路 |
| | <屋内消火栓> |
| | <屋内消火栓(消火器内蔵型)> |
| | メンテナンス用昇機 |
| | 主要な出入口 |
| | 消火器 (壁掛込み型) |
| | 消火器 (床置き型) |
| | マンホールφ600密閉型 (防水・防臭) |
| | 化粧床点検口600×600密閉型 (防水・防臭) |
| | 化粧床点検口600×600 二重床内マンホール600φ密閉型 (防水・防臭) |
| | 令116条の2-1の採光無窓居室 |
| | 非常用出入口 (W750×H1200以上)ハルニー奥行≧1m長さ≧4m ガラス:強化ガラス5t/フロートガラス6t以下/納入ガラス6.8以下 標識:赤色反射塗料の表示 一辺20cmの正三角形 |
| | 代替出入口 (W750×H1200以上またはφ1000) ガラス:強化ガラス5t/フロートガラス6t以下/納入ガラス6.8以下 標識:赤色反射塗料の表示 一辺20cmの正三角形 無窓居室等の有効開口部 (φ50) |
| | 無窓居室等の有効開口部 (W750×H1200以上またはφ1000) |
| <ul style="list-style-type: none"> PS、CS、DS、EPS、ESは特記無き限り水平区画とする。 階段室、EV昇降路は令126条の2-1-3に依る排煙免状とする。 壁区画及び面積区画の外壁部分に取付るスハンドル部分は特記無き限り幅30mm以上とする。(令112条10、11項) 114条区画と排煙区画を兼ねることとする。 114条区画 (天井内) と排煙区画を兼ねる部分は、垂れ壁H500以上 (不燃扉の場合はH300以上) を確保する。 排煙装置オペレーター高さH1,500とする。 消火器BOX (埋込・置型共) には、消火器を設置する。 なお消火器標記は粉末消火器とする。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 防火区画の乾式壁は、以下のいずれかとする。 耐火壁 (FP600NP-0198) GB-H9.5t+GB-F21t (両面) 耐火壁 (FP600NP-0007) GB-F21t×2 (片面) | |



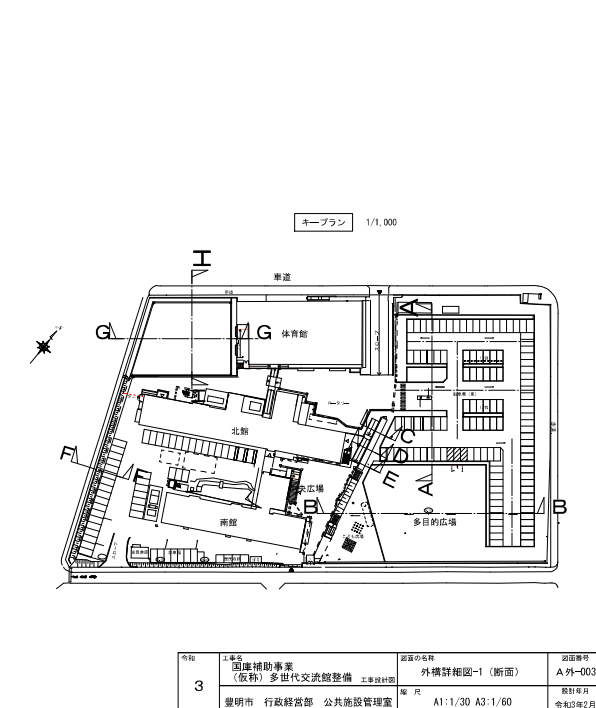
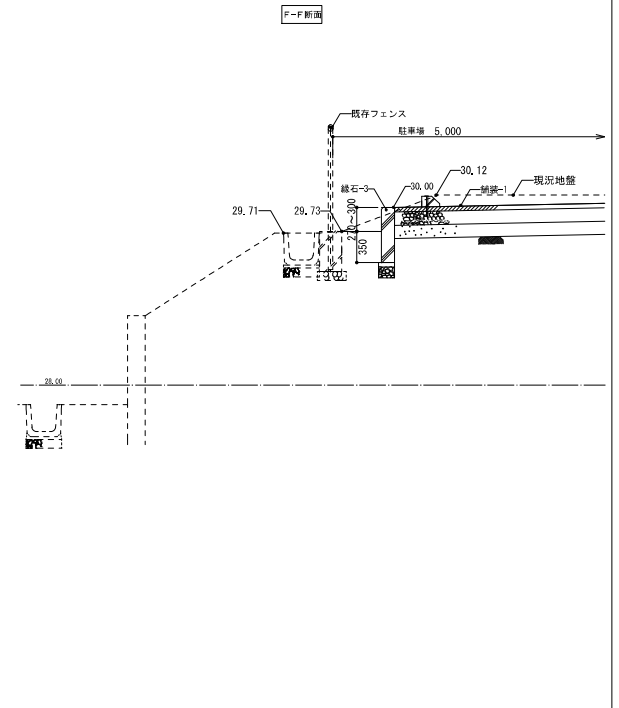
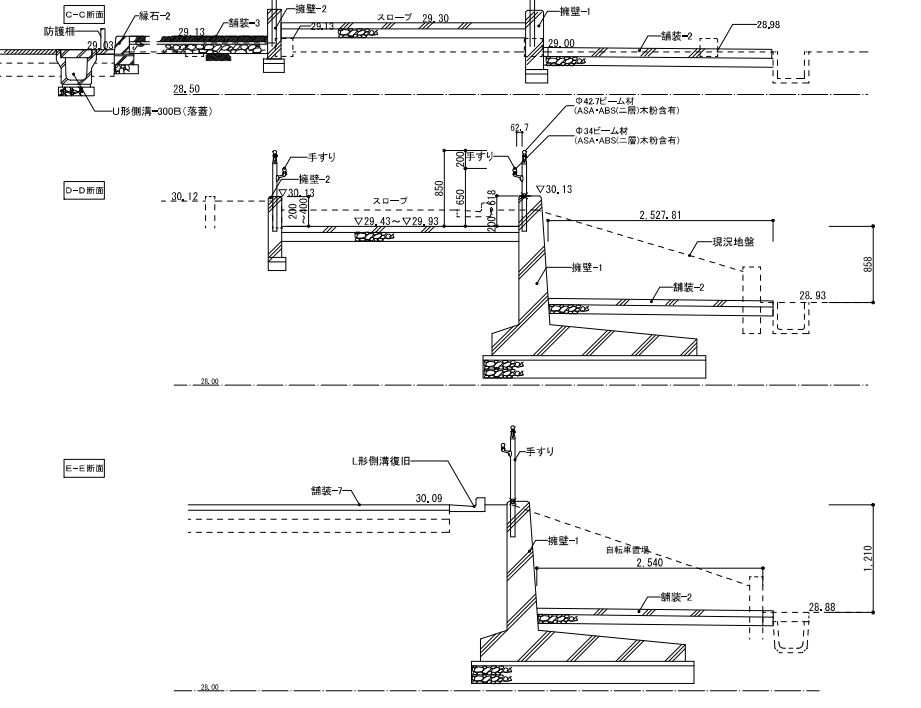
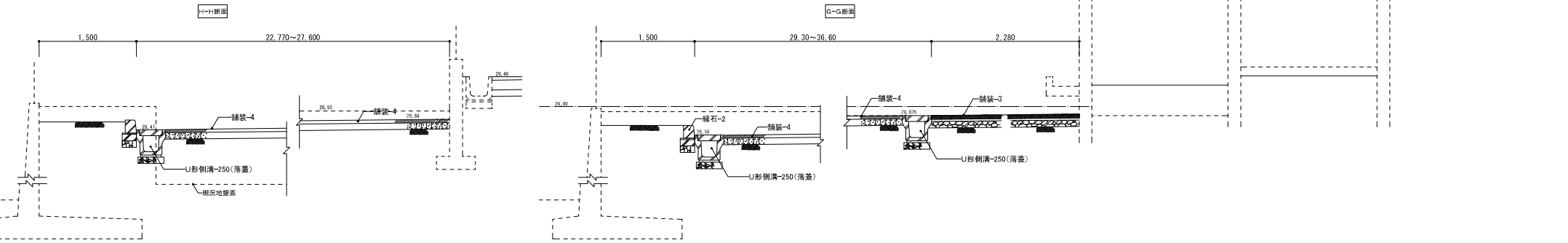
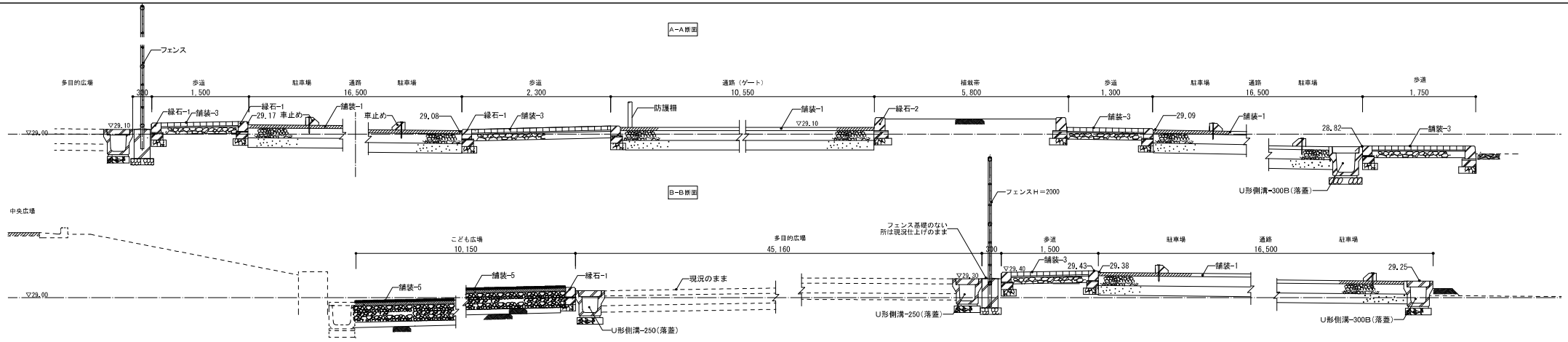
雨水排水凡例

| 記号 | 名称 | 形状・寸法 | 数量 | | | 備考 |
|----|---------|-------------------|---------|---------|--------|-------|
| | | | A | B | C | |
| | U形側溝 | U-250, コナト蓋 (落蓋) | 34,32m | 111,63m | 82,42m | |
| | U形側溝 | U-300B, コナト蓋 (落蓋) | 215,34m | | | |
| | 横断側溝 | U-300B, グレージング蓋 | 5,00m | | | |
| | U形樹 | □400 | 20所 | 7所 | 4所 | |
| | U形樹 | □600 | 1所 | | | |
| | 雨水樹A | φ450 | 1所 | | 1所 | |
| | 雨水樹B | φ700 | 1所 | | | |
| | 接続管 | VUφ150 | 0.85m | 4,20m | 1,30m | |
| | 接続管 | VUφ300 | 3,80m | | | 10,0% |
| | 横断管 | φ200 | 36,50m | | | |
| | 透水管 | φ100 | 82,41m | | | |
| | 既存U字溝、樹 | | | | | |

A 駐車場(東)、ロータリー、北館、南館、駐車場(西)
 B 多目的広場、中央広場
 C 屋外遊戯場、体育館、倉庫、住民収納

雨水樹リスト

| 記号 | 天端高 | 樹深さ h | 管底高 | 樹種別 | 蓋種別 | 記号 | 天端高 | 樹深さ h | 管底高 | 樹種別 | 蓋種別 | 記号 | 天端高 | 樹深さ h | 管底高 | 樹種別 | 蓋種別 |
|------|-------|-------|-------|---------|--------------|------|-------|-------|-------|-----|---------------|------|-------|-------|-------|------|--------------|
| M-1 | 29.22 | 0.40 | 28.82 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-17 | 28.82 | 0.34 | 28.48 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-33 | 29.92 | 0.40 | 29.52 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 |
| M-2 | 29.15 | 0.40 | 28.75 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-18 | 28.90 | 0.34 | 28.56 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-34 | 29.94 | 0.40 | 29.54 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 |
| M-3 | 29.07 | 0.40 | 28.67 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-19 | 28.85 | 0.34 | 28.51 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-35 | 28.57 | 0.72 | 27.85 | 雨水樹A | コナト蓋 |
| M-4 | 29.00 | 0.40 | 28.60 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-20 | 28.47 | 0.60 | 27.87 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-5 | 28.90 | 0.40 | 28.50 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-21 | 28.65 | 0.34 | 28.31 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-6 | 28.80 | 0.55 | 28.25 | U形樹□600 | グレーティング蓋、T-2 | M-22 | 28.95 | 0.40 | 28.55 | U形樹 | グレーティング蓋、T-14 | | | | | | |
| M-7 | 28.85 | 0.65 | 28.20 | 雨水樹B | グレーティング蓋、T-2 | M-23 | 29.34 | 0.40 | 28.94 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-8 | 29.18 | 0.34 | 28.84 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-24 | 29.20 | 0.40 | 28.80 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-9 | 29.32 | 0.34 | 28.98 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-25 | 29.18 | 0.40 | 28.78 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-10 | 29.35 | 0.34 | 29.01 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-26 | 29.15 | 0.40 | 28.75 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-11 | 29.18 | 0.34 | 28.84 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-27 | 29.10 | 0.40 | 28.70 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-12 | 29.00 | 0.34 | 28.66 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-28 | 29.05 | 0.40 | 28.65 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-13 | 29.15 | 0.34 | 28.81 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-29 | 29.00 | 0.40 | 28.60 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-14 | 29.10 | 0.34 | 28.76 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-30 | 28.95 | 0.40 | 28.55 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-15 | 29.04 | 0.50 | 28.54 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | M-31 | 28.98 | 0.40 | 28.58 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |
| M-16 | 28.99 | 0.62 | 28.37 | 雨水樹A | グレーティング蓋、T-2 | M-32 | 29.97 | 0.40 | 29.57 | U形樹 | グレーティング蓋、T-2 | | | | | | |



| | | | | |
|-------|---------------------------------|-------------------|-----------------------|----------------|
| 令和3年度 | 国土交通省 国土補助事業 (仮称)多世代交流館整備 | 建設省 国土設計部 | 建設省 外構詳細図-1(断面) | 図面番号 A外-003 |
| 3 | 豊明市 行政経営部 公共施設管理室 | 豊明市 行政経営部 公共施設管理室 | 縮尺 A1:1/30 A3:1/60 | 図面年月 令和3年2月 |

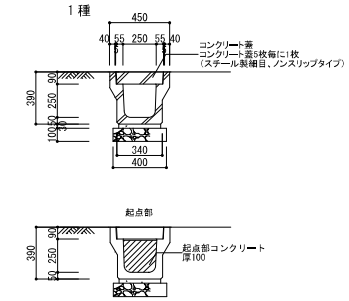
| | | | | | |
|--|---|---|---|---|--|
| <p>舗装-1 透水性アスファルト舗装 (構内道路)</p> <p>透水性アスファルト混合物 t=50 路盤工:再生砕石 (RC-30) t=150 フィルター砂 t=150</p> <p>特記) ○はローラーを標準とし、転圧する。 ●路床設計CBRIは、3%とする。</p> | <p>舗装-2 コンクリート舗装</p> <p>刷毛引き仕上げ (透養目地@3000内外 (加熱施工式注入目地材)) プライムコート散布 コンクリート (溶接金網φ6-150×150) t=70 再生砕石 (RC-40) t=100</p> <p>特記) ○はローラーを標準とし、転圧する。 ●路床設計CBRIは、3%とする。</p> | <p>舗装-2-1 コンクリート舗装</p> <p>コンクリート (溶接金網入りφ6-150×150) t=150 再生砕石 (RC-40) t=150</p> <p>特記) ○はローラーを標準とし、転圧する。 ●路床設計CBRIは、3%とする。</p> | <p>舗装-3 インターロッキング舗装</p> <p>インターロッキング t=60 クッション材 (砂) t=20 再生砕石 (RC-40) t=100</p> <p>特記) ○はローラーを標準とし、転圧する。 ●路床設計CBRIは、3%とする。</p> | <p>舗装-4 グランド舗装</p> <p>ダスト舗装</p> <p>表面処理 苦汁 1.0kg/m² 表層工: 石灰岩スクリーニングス t=50 下層工: 赤土 t=100</p> <p>特記) ○はローラーを標準とし、転圧する。 ●路床設計CBRIは、3%とする。</p> | <p>舗装-5 人工芝舗装</p> <p>表層:人工芝 t=30 アンダーパッド t=10以上 基層工: 閉鎖度アスファルト混合物 t=50 (最大粒径13mm) 路盤工: 再生砕石 (RC-40) t=250</p> <p>特記) ○はローラーを標準とし、転圧する。 ●路床設計CBRIは、3%とする。</p> |
|--|---|---|---|---|--|

| | | | | | |
|--|---|---|--|---|--|
| <p>舗装-6 ゴムチップ舗装</p> <p>カラー表層: 衝撃吸収ゴムチップ t=10 (給交換塗料散布) 基層工: 閉鎖度アスファルト混合物 t=40 (最大粒径13mm) 基層工: 閉鎖度アスファルト混合物 t=40 (最大粒径13mm) 路盤工: 再生砕石 (RC-40) t=250 フィルター層: 遮断用砂 t=50</p> | <p>舗装-7 アスファルト舗装 表層</p> <p>プライムコート散布 密粒度アスファルト混合物 t=50 上層路盤養生</p> | <p>縁石-1 地先境界ブロック 150×150</p> <p>地先境界ブロックC 150×150 敷t#砂1:3 (空練り) 基礎コンクリート 再生砕石 (RC-40)</p> <p>砂場断面</p> | <p>縁石-2 歩車道境界ブロックA</p> <p>歩車道境界ブロックA 敷t#砂1:3 (空練り) 基礎コンクリート 再生砕石 (RC-40)</p> | <p>縁石-3</p> <p>基礎コンクリート 再生砕石 (RC-40)</p> <p>車止め</p> | <p>誘導、注意喚起ブロック S=1/10、1/20</p> <p>注意喚起用ブロック 誘導ブロック 点状ブロック 線状ブロック 停止部 誘導部 平面図 1/20 断面図 1/10</p> |
|--|---|---|--|---|--|

| | | | | | |
|--------------------------------|--|----------------------------|--|--|--|
| <p>車止めポール</p> <p>KS-11CS程度</p> | | <p>○ 本体はリサイクルゴム成形品とする。</p> | | | |
|--------------------------------|--|----------------------------|--|--|--|

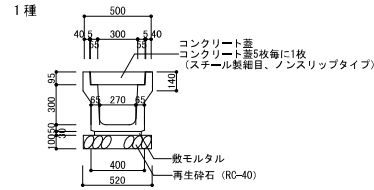
U形側溝-250 (落蓋式)

1/20



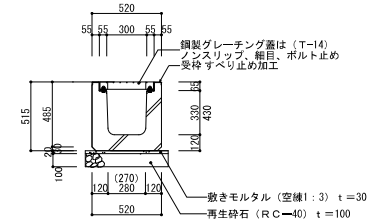
U形側溝-300B (落蓋式)

1/20



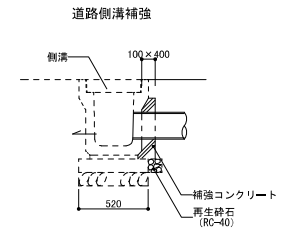
横断側溝 U-300x300

1/20



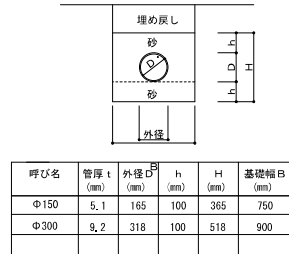
U字溝接続部分

1/20



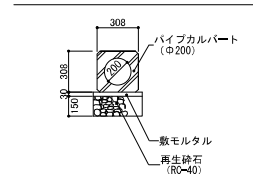
管渠 VU

1/20



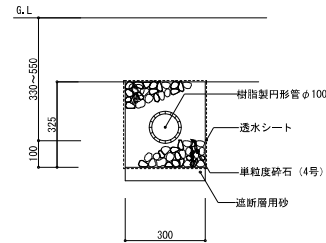
横断管

1/20



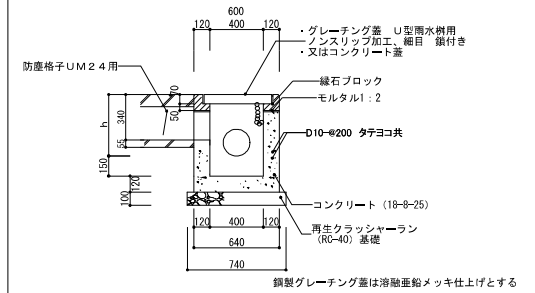
透水管 Φ100

1/20



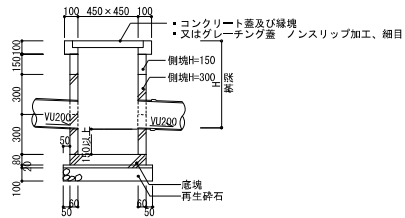
U字溝側

1/20



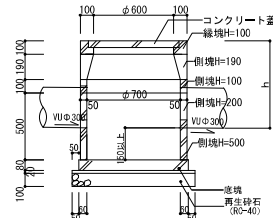
雨水樹 A

1/20

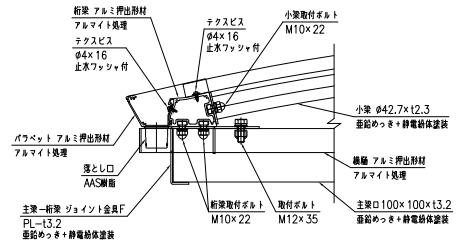


雨水樹 B

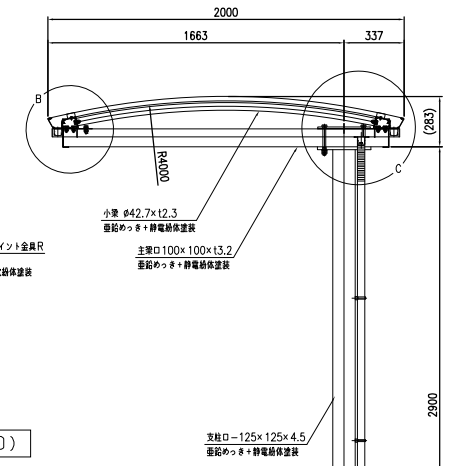
1/20



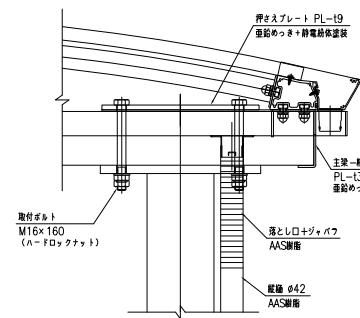
B断面詳細図 (S=1:5)



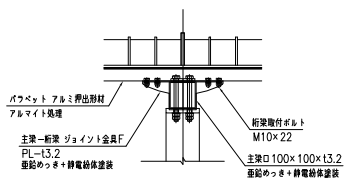
A-A断面図 (S=1:15)



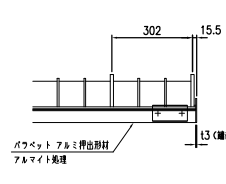
C断面詳細図 (S=1:5)



D部詳細図 (S=1:10)

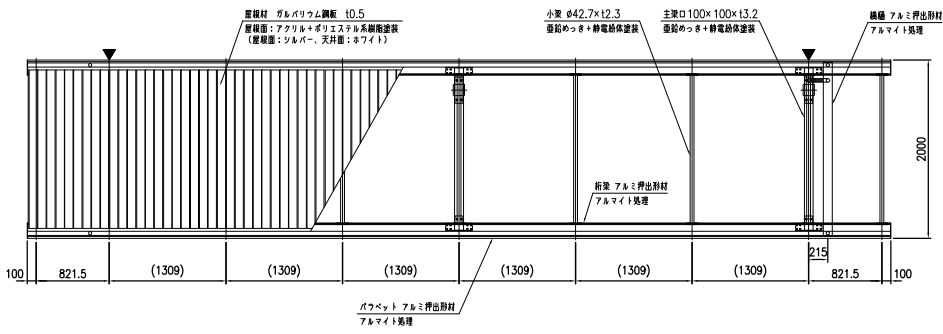


E部詳細図 (S=1:10)

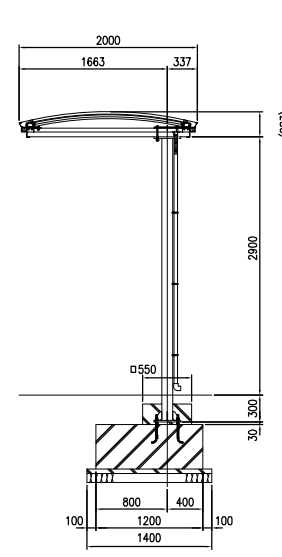


平面図 (S=1:30)

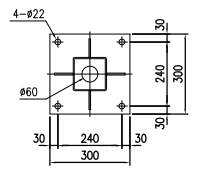
▼ (縦筋深とし位置)



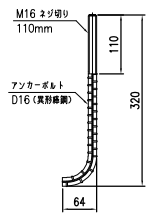
側面図 (S=1:30)



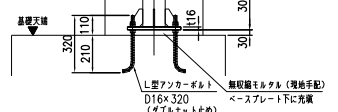
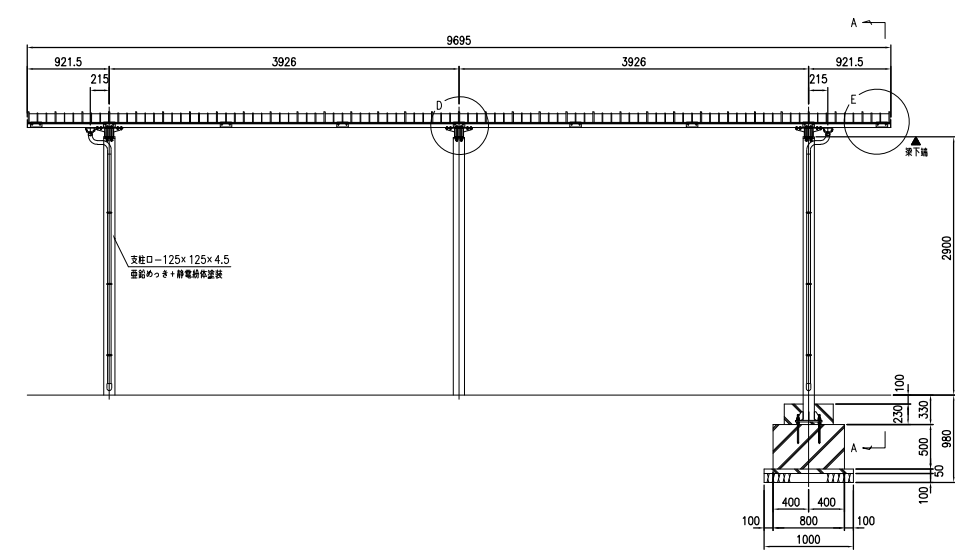
ベースプレート詳細図 (S=1:10)

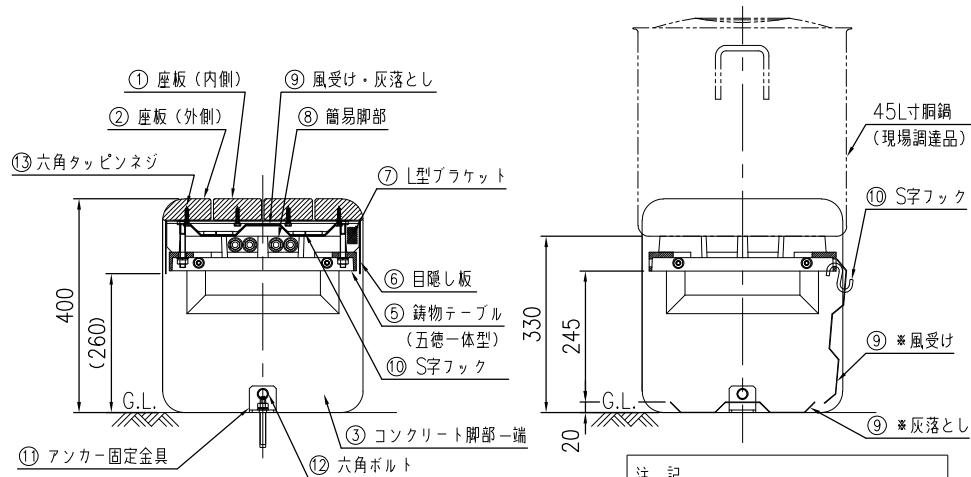


アンカー詳細図 (S=1:5)



正面図 (S=1:30)





A-A断面図(S=1/10)

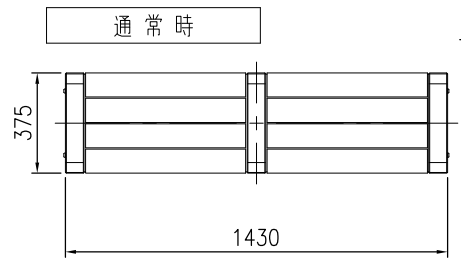
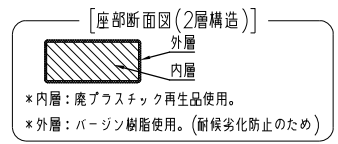
C-C断面図(S=1/10)

注記
 ※) “風受け”と“灰落とし”は同形状である

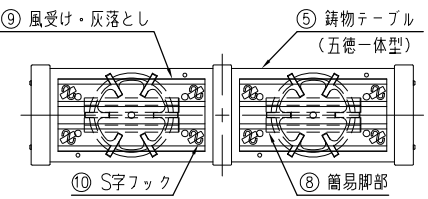
部材数量表(1基当たり)

| 部材名 | 規格 | 材質 | 数量 | 摘要 |
|-----------------|----------------|----------------|------|------------------------|
| ① 座板(内側) | 90×40×600 | 廃木粉入りポリエチレン系樹脂 | 4 | オレンジウッドE(廃プラ再生品仕様) |
| ② 座板(外側) | R90×40×600 | 廃木粉入りポリエチレン系樹脂 | 4 | オレンジウッドE(廃プラ再生品仕様) |
| ③ コンクリート脚部一端 | 400×375×70 | コンクリート | 2 | |
| ④ コンクリート脚部一中 | 500×375×70 | コンクリート | 1 | |
| ⑤ 鋳物テーブル(五徳一体型) | 610×350×65 | FC200 | 2 | |
| ⑥ 目隠し板 | t1.6 | SGH400 | 2 | 六角ボルトM10×80,N1,W1,SW1付 |
| ⑦ L型ブラケット | t4.5 | SGH400 | 4 | |
| ⑧ 簡易脚部 | φ27.2×t1.6×355 | SGH400 | 8 | |
| ⑨ 風受け・灰落とし | t1 | SUS | 4 | |
| ⑩ S字フック | φ6 | SUS | 8 | |
| ⑪ アンカー固定金具 | t5 | SUS | 2 | |
| ⑫ 六角ボルト | M10×20 | SUS | 2セット | B,W1,SW1 |
| ⑬ 六角タッピンネジ | M6×35 | SUS | 24 | 座部組立用 |
| ⑭ 六角穴付きボタンボルト | M10×100 | SUS | 6セット | B,N1,W1,SW1 |

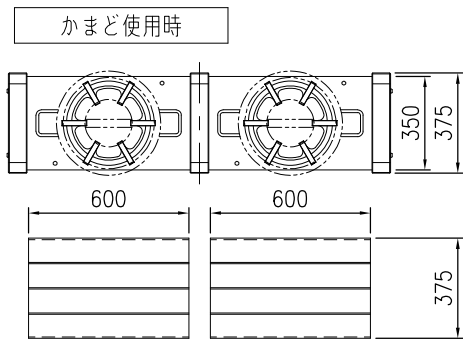
※製品の仕様は改良の為、予告なく変更する事があります。
 ※45L寸胴鍋は現場調達品です。
 ※アンカーボルト(M10×90)は現地手配となります。



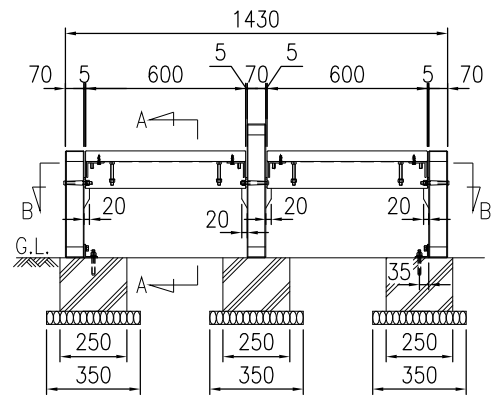
平面図(S=1/20)



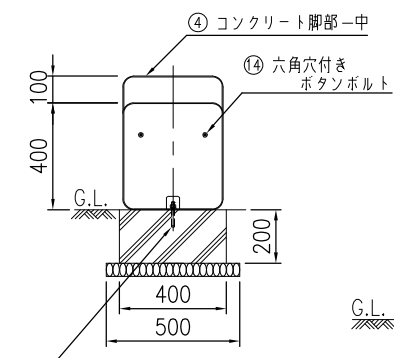
B-B断面図(S=1/20)
 (座板・目隠し板・L型ブラケットを外した時)



平面図(S=1/20)

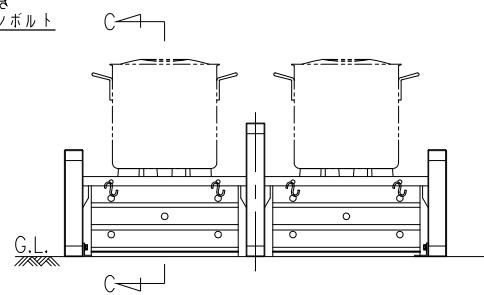


正面図(S=1/20)



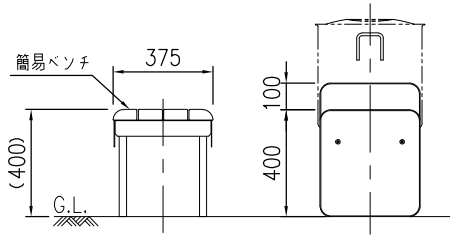
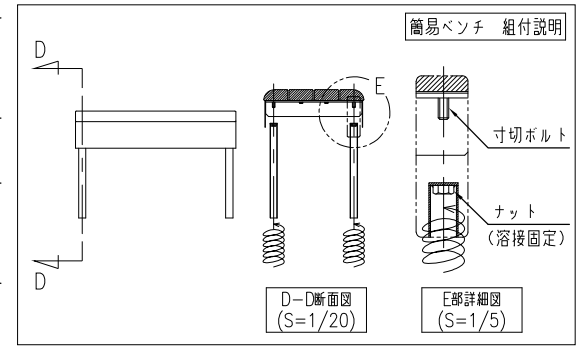
側面図(S=1/20)

注) アンカーボルト用の下穴は
 ビット径φ10.5mm、深さ65mmです。
 G.L.より30mm出して打ち込んで下さい。



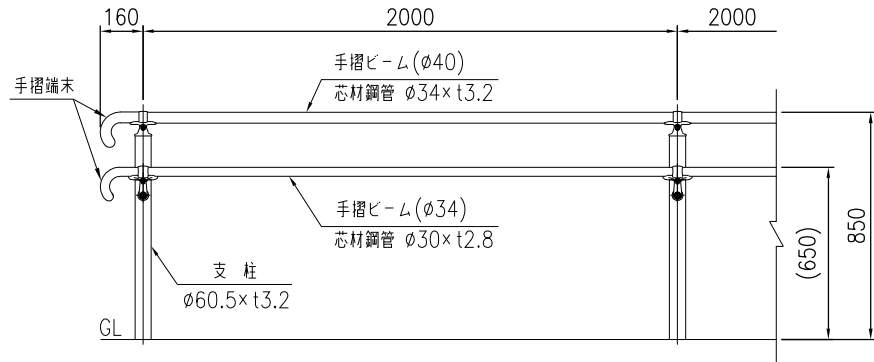
正面図(S=1/20)

(簡易ベンチは省略)



側面図(S=1/20)

設置図 (1/20)



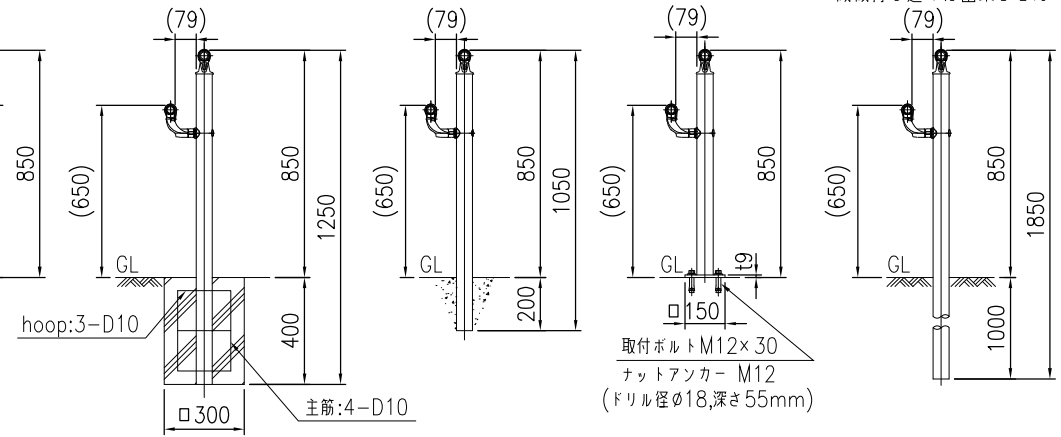
TRKC-34MBS285-C20

TRKC-34MBS285-W20

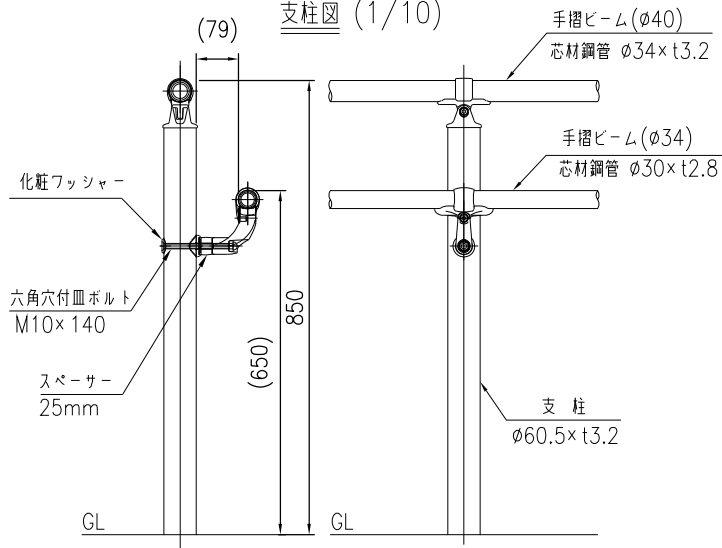
TRKC-34MBS285-PL20

TRKC-34MBS285-E20

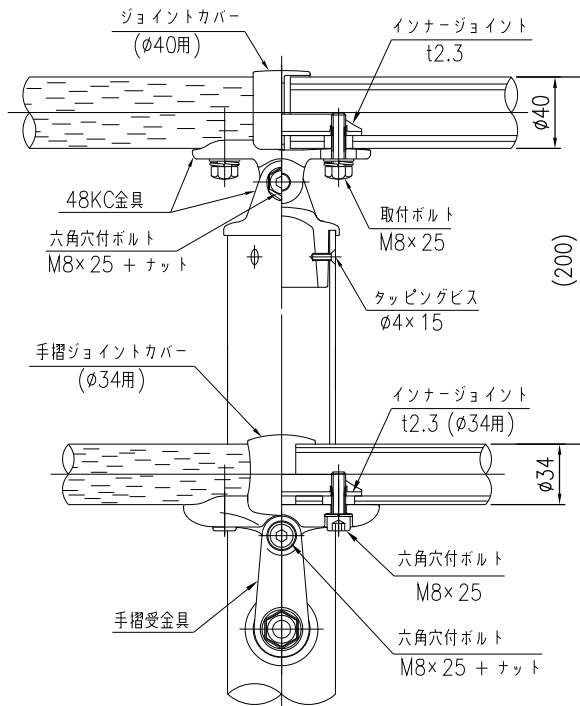
*機械打ち込みは出来ません



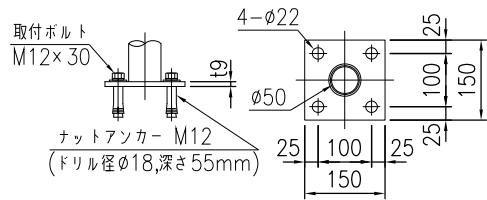
支柱図 (1/10)



取付部詳細図 (1/3)

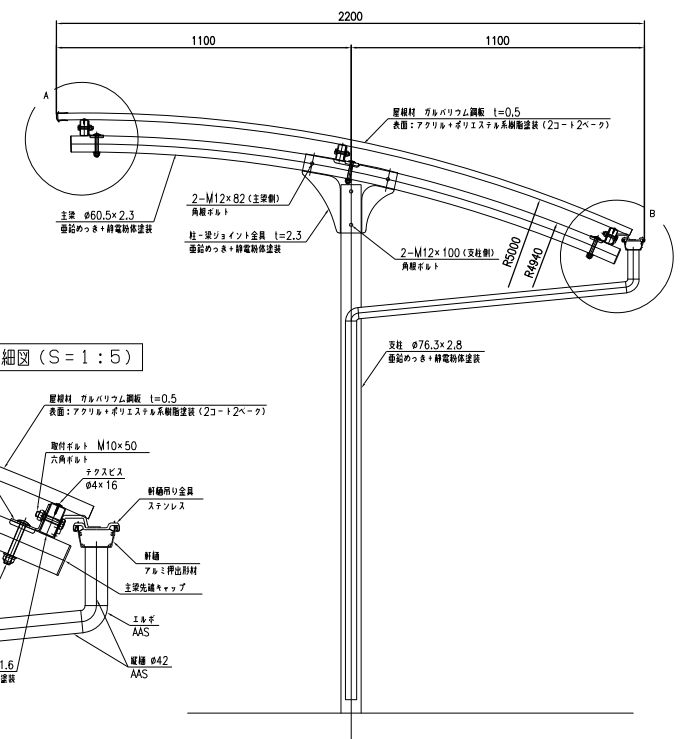


ベースプレート詳細図 (1/10)

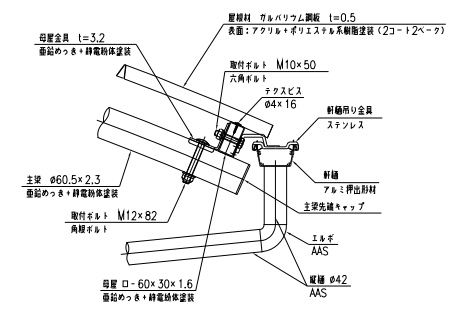


| 品名 | 材質 | 摘要 |
|--------------|-----------|----------------|
| 支柱 | STK400 | 亜鉛めっき+静電粉体塗装 |
| 手摺ビーム(φ40) | STK490+PE | 亜鉛めっき+樹脂被覆 |
| 手摺ビーム(φ34) | STK400+PE | 亜鉛めっき+樹脂被覆 |
| 48KC(上・下) 金具 | アルミ合金 | 焼付塗装 |
| 手摺末端 | アルミ合金 | 焼付塗装 |
| 手摺受金具 | アルミ合金 | 焼付塗装 |
| インナージョイント | SGH400相当 | 高耐食溶融めっき鋼板 |
| ジョイントカバー | PC | ポリカーボネート |
| 手摺ジョイントカバー | PC | ポリカーボネート |
| 取付ボルト | SUS | M8×25 |
| 六角穴付ボルト | SUS | M8×25 |
| 六角穴付ボルト | SUS | M8×25 + ナット |
| タッピングビス | SUS | φ4×15 |
| スペーサー | AC3A | 焼付塗装 |
| 六角穴付皿ボルト | SUS | M10×140 + 袋ナット |
| 化粧ワッシャー | SUS | |
| ナットアンカー | | 溶融亜鉛めっき M12 |
| 取付ボルト | 4.6相当 | 溶融亜鉛めっき M12×30 |

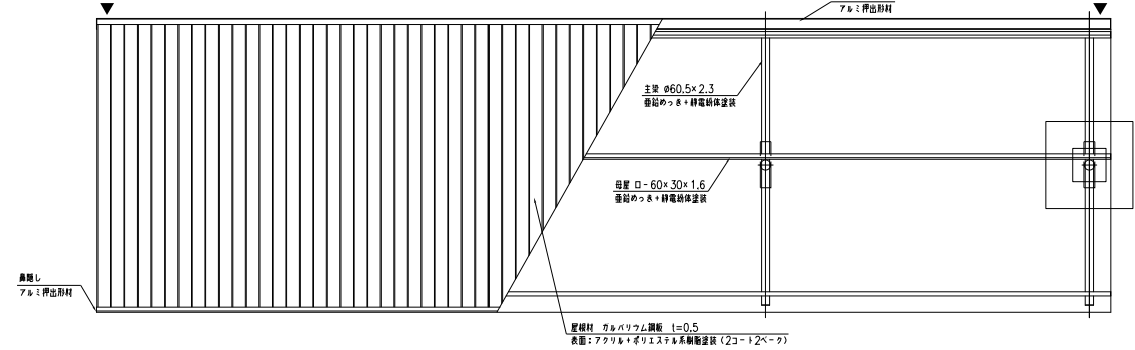
断面図 (S=1:10)



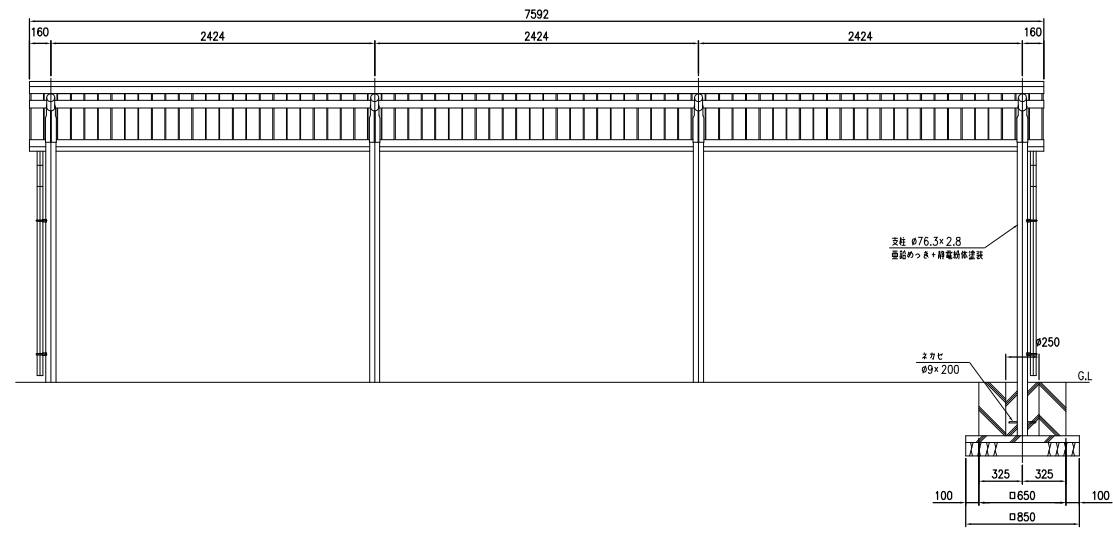
B部詳細図 (S=1:5)



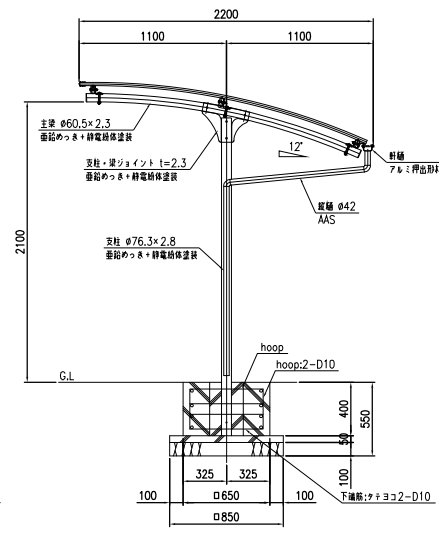
平面図 (S=1:20)



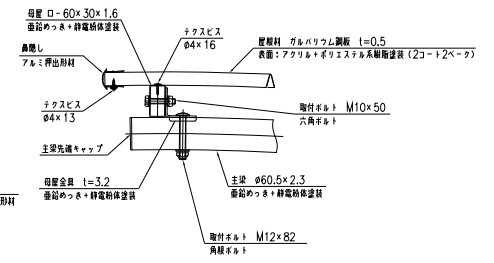
正面図 (S=1:20)



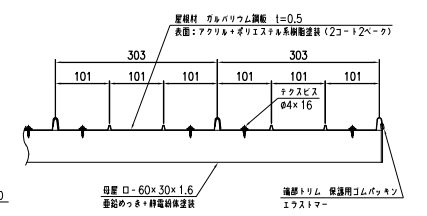
側面図 (S=1:20)



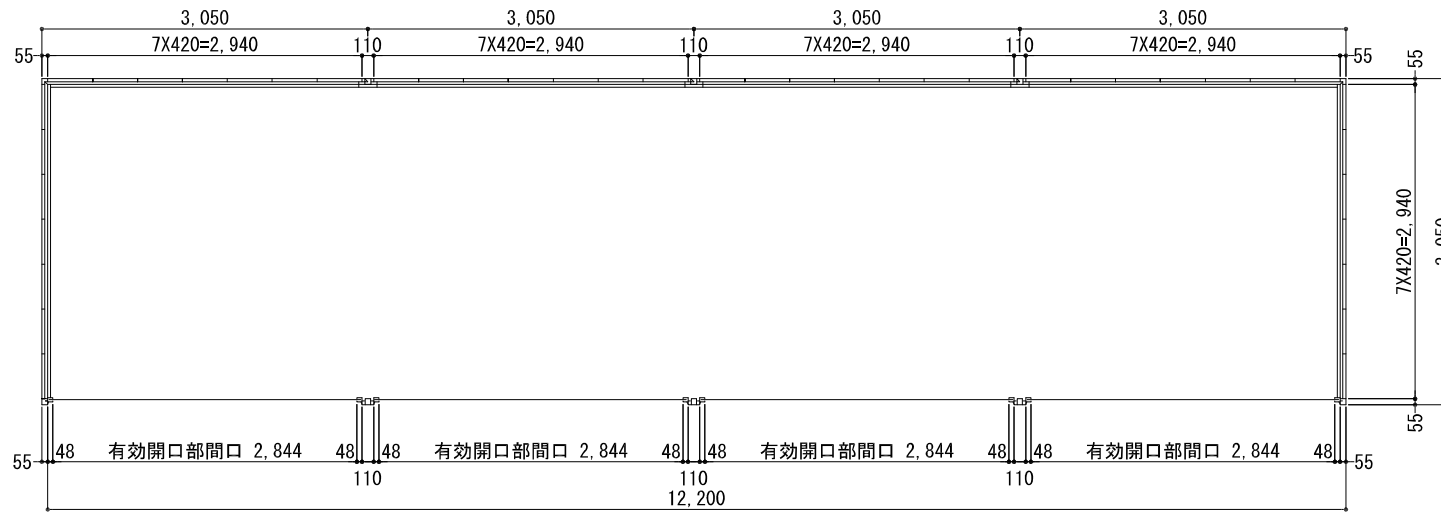
A部詳細図 (S=1:5)



屋根材取付詳細図 (S=1:5)



| | | | |
|---|---|----------------------------|----------------|
| 3 | ニギハヤヒ 産業補助事業 (仮称) 多世代交流館整備 事業計画図 | 図面の名称 外観詳細図-9 (柱間部分) | 図面番号 A外-011 |
| | 豊明市 行政経営部 公共施設管理室 | 製 尺 図示 | 製図年月 令和3年2月 |

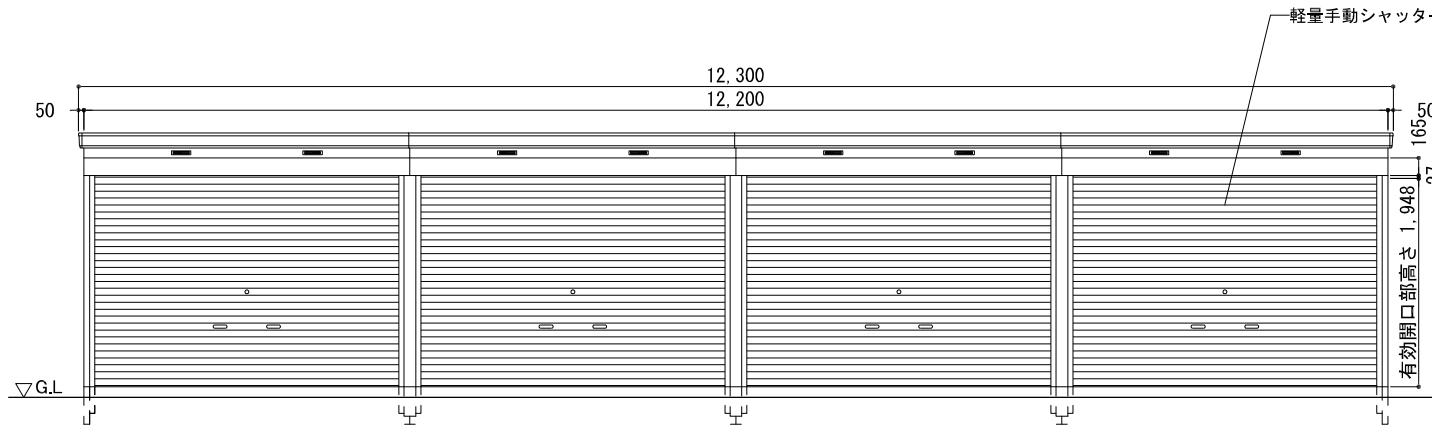


平面図

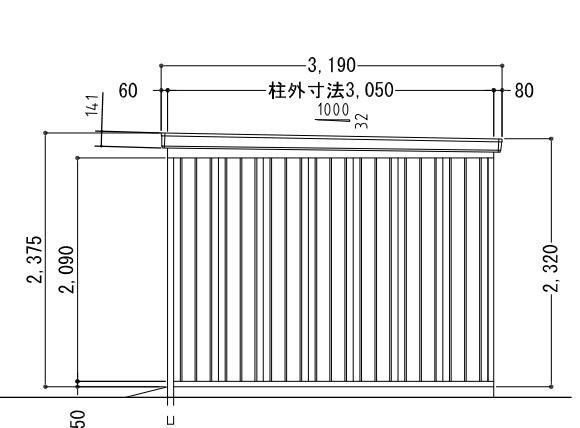
| 品番 | 部 品 名 | 材 料 (材質) | 単 位 | mm |
|----|----------|--------------|---------|-----|
| 1 | 土台枠 | F12 | 1.2 | |
| 2 | 柱 | F12 | 1.0 | 1.2 |
| 3 | 桁前 | Y10 | 1.0 | |
| 4 | 桁後 | Y10 | 1.0 | |
| 5 | 妻板左右 | Y10 | 0.7 | |
| 6 | 鼻隠シ前後 | Y10 | 0.7 | |
| 7 | 梁中 | F12, Y10 | 1.2+1.6 | |
| 8 | 母屋中 | F12 | 1.0 | |
| 9 | 屋根パネル | Y10 | 0.5 | |
| 10 | 壁パネル | F12 | 0.7 | |
| 11 | シャッター | Z08 | 0.5 | |
| 12 | シャッターカバー | F12 | 0.7 | |
| 13 | シャッターレール | アルミニウム合金押出形材 | | |

F12→溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
 Y10→溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
 Z08→塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)

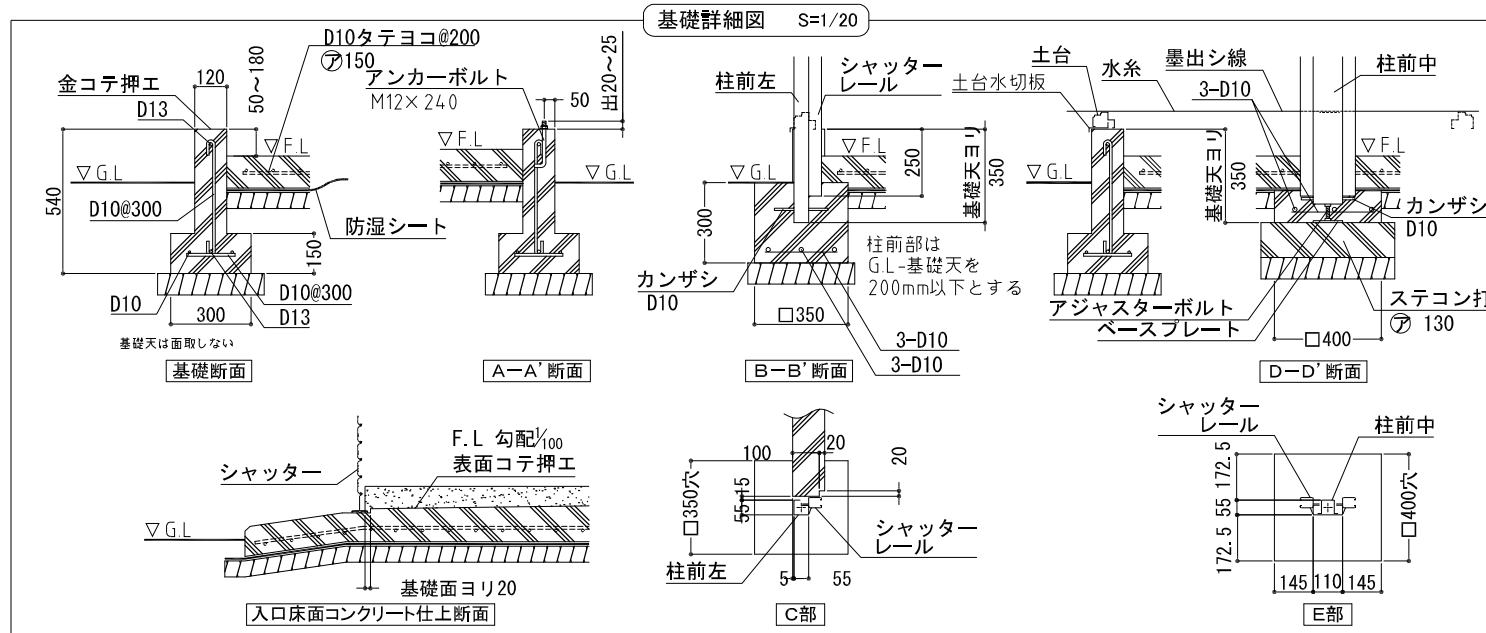
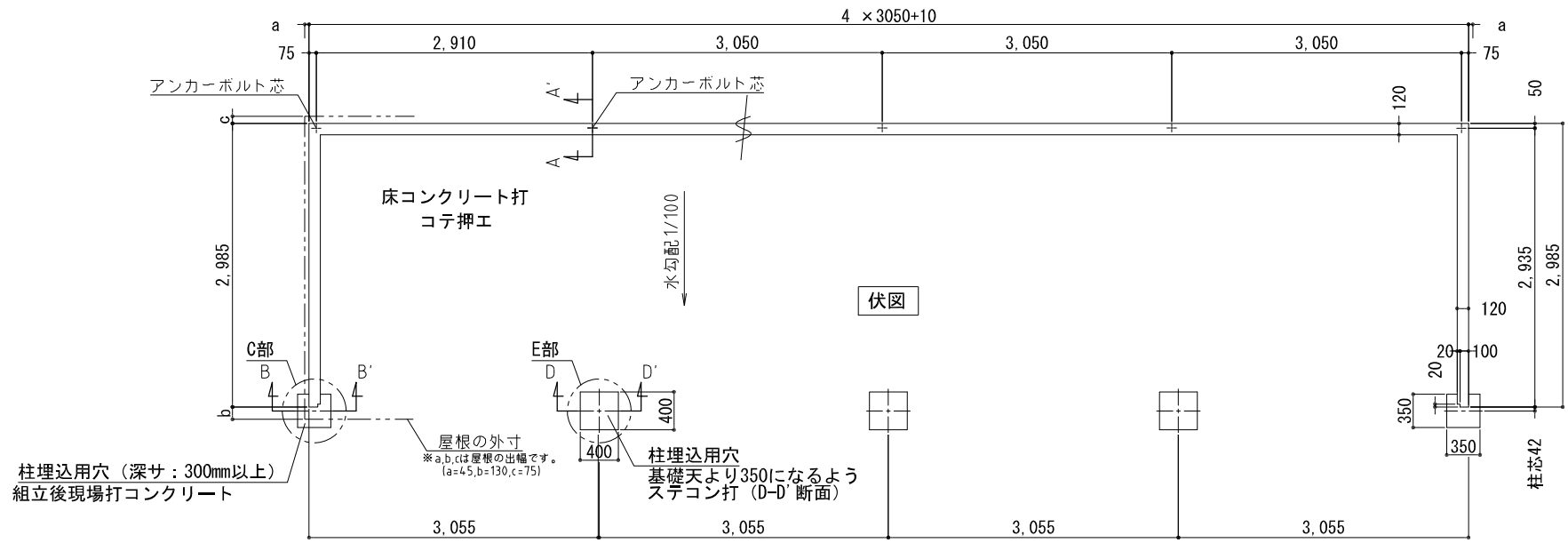
- 有効開口寸法 : 2844 × 1948 (mm)
- 床面積 : 4 [連続数] × 9.30㎡ (2.82坪)
- 構造 : 鉄骨造



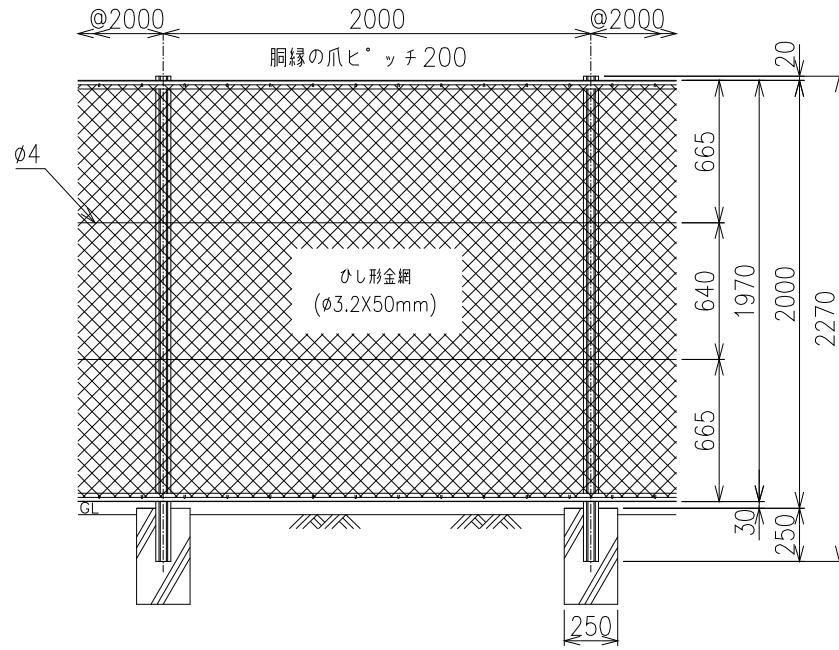
正面図



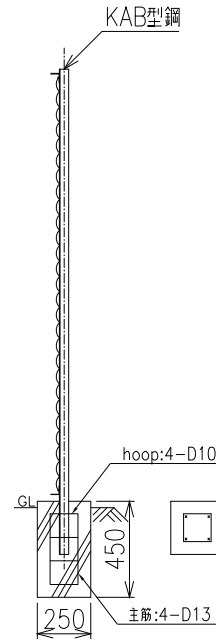
側面図



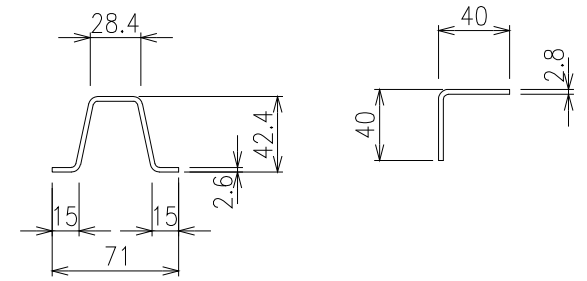
フェンス 組立図
正面図 S=1/25 (A3) 1/12.5 (A1)



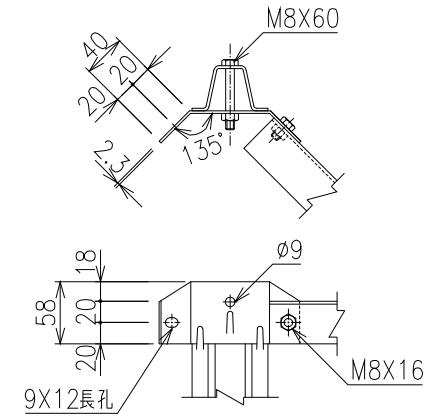
側面図 S=1/25 (A3) 1/12.5 (A1)



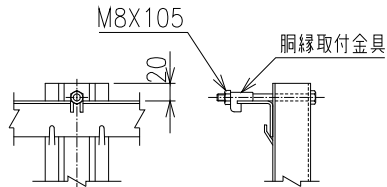
主柱 S=1/3 (A3) 1/1.5 (A1) 胴縁 S=1/3 (A3) 1/1.5 (A1)



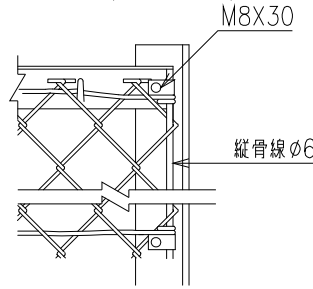
コーナー柱と胴縁取付部 S=1/5 (A3) 1/2.5 (A1)



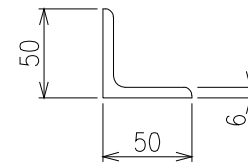
主柱胴縁取付部 S=1/6 (A3) 1/3 (A3)



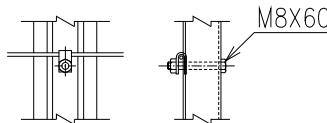
金網取付部 S=1/5 (A3) 1/2.5 (A1)



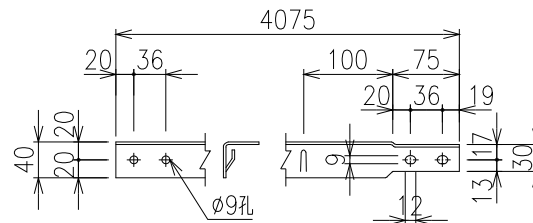
端柱断面図 S=1/3 (A3) 1/1.5 (A1)



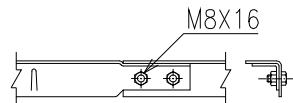
主柱骨線取付部 S=1/6 (A3) 1/3 (A1)



胴縁 S=1/6 (A3) 1/3 (A1)

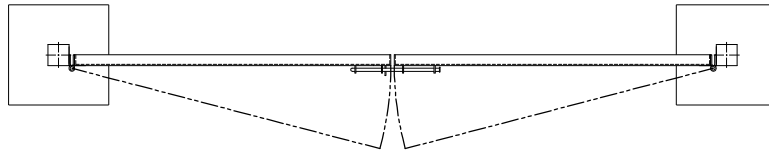


胴縁継手部 S=1/6 (A3) 1/3 (A1)

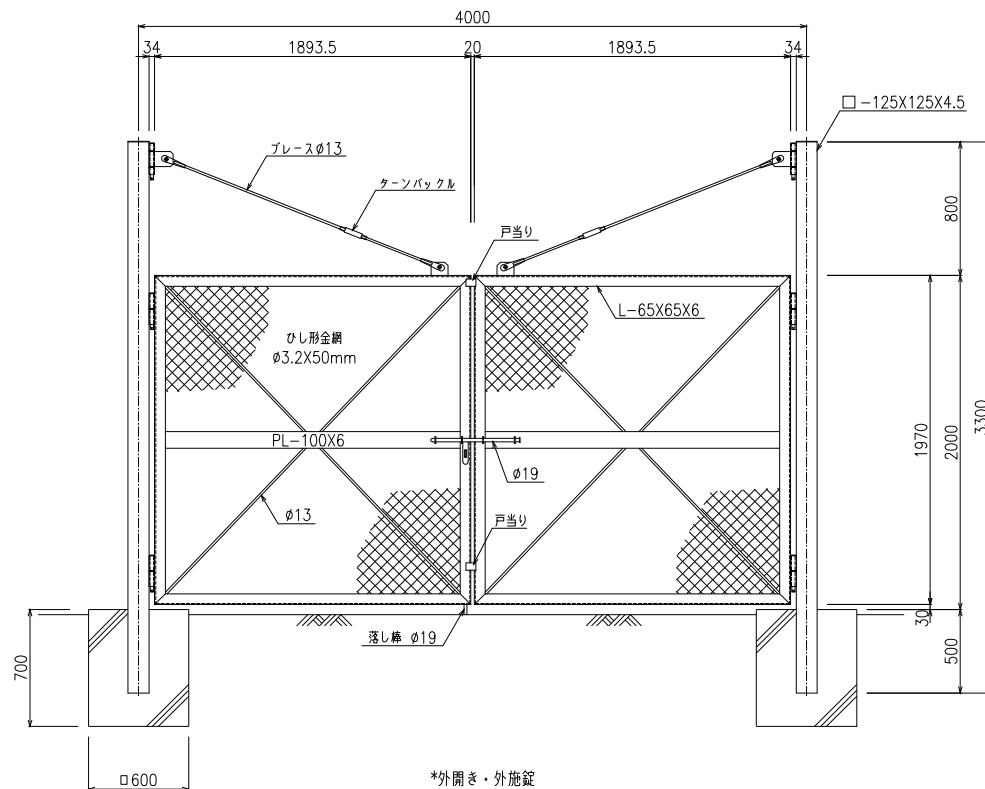


両開き門扉 S=1/16
H-200 W-400

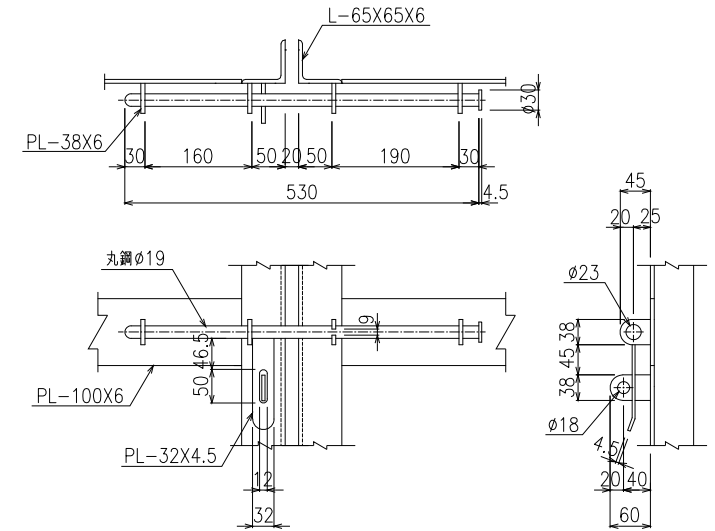
平面図



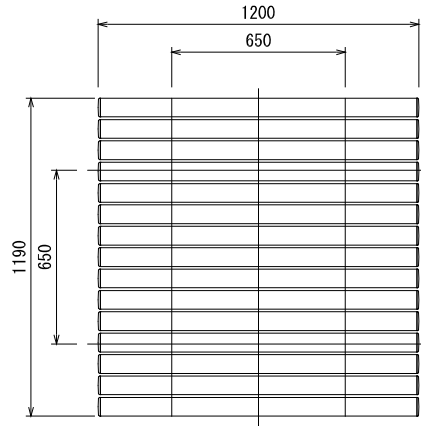
正面図



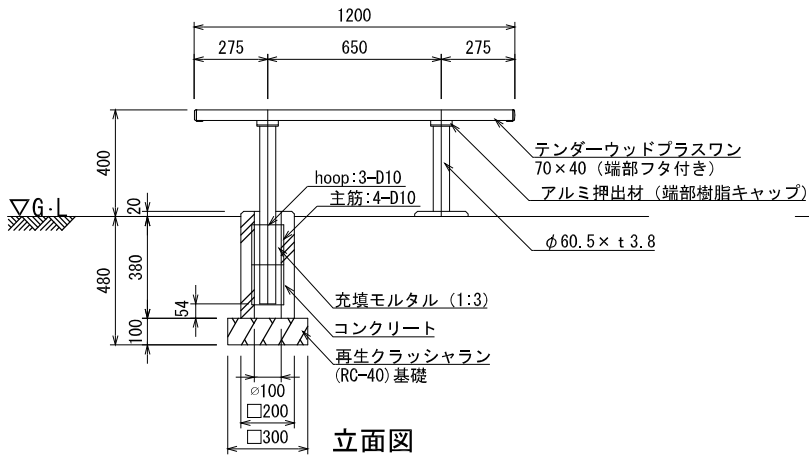
施錠詳細図 S=1/4



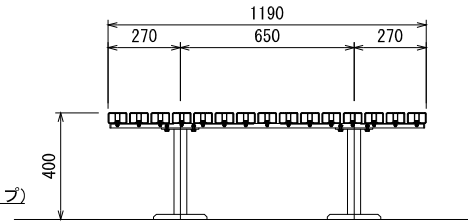
縁台（クールシリーズ）S=1:20



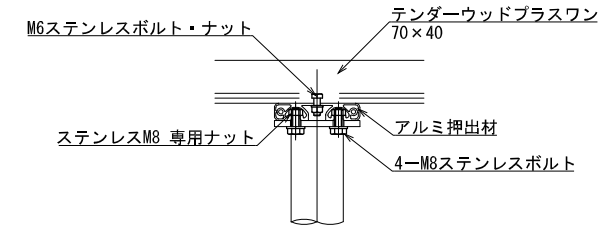
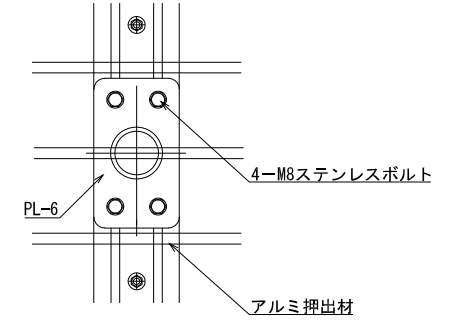
平面図



立面図



側面図

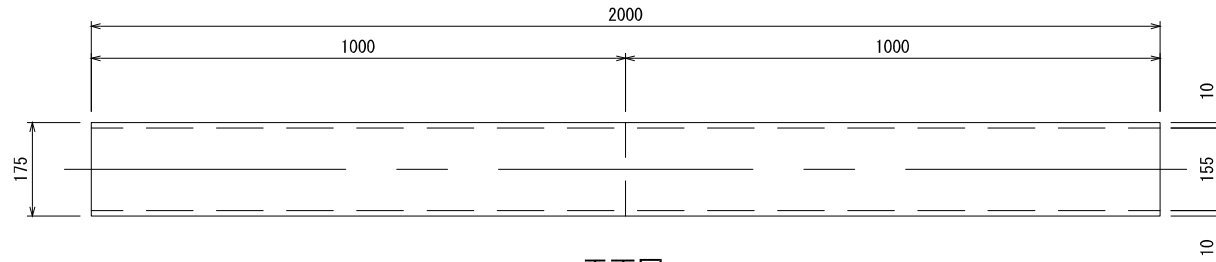


支柱取付詳細図 S=1:5

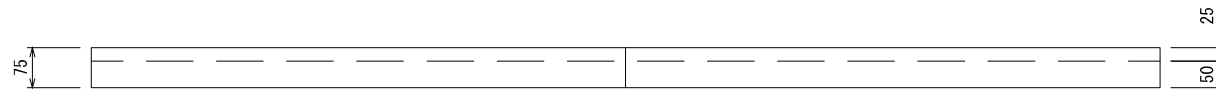
- 座板（テンダーウッドプラス）は、樹脂（木粉入り特殊ポリエチレン）＋アルミ芯材（A6063S-T5）とする
- 鉄部は溶融亜鉛メッキ処理とし、ウレタン塗装（メーカー指定色）仕上げとする。
- ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
- （一社）日本公園施設業協会 SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- （一社）日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。

| | | | | |
|---|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 3 | 国土交通省 国土審議院 国土審議院 国土審議院 | 国土交通省 国土審議院 国土審議院 国土審議院 | 国土交通省 国土審議院 国土審議院 国土審議院 | 国土交通省 国土審議院 国土審議院 国土審議院 |
|---|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|

砂場ウォールガード (W150) S=1:5 (A1) 1:10 (A3)



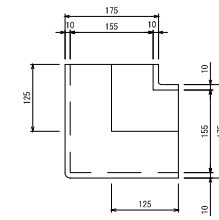
平面図



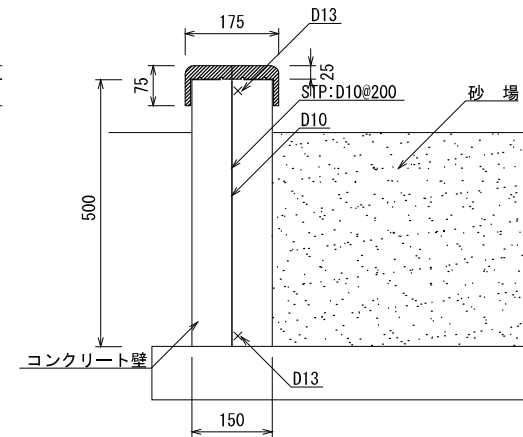
分割位置

立面図

- 本体はリサイクルゴム成形品とする。
- 製品は、L=1000×2本を1組とする。
- カラーは、メーカー標準色（グリーン）塗装仕上げとする。
- ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
- (一社) 日本公園施設業協会 SPL マーク表示認定企業の製品とする。
- (一社) 日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。



平面図



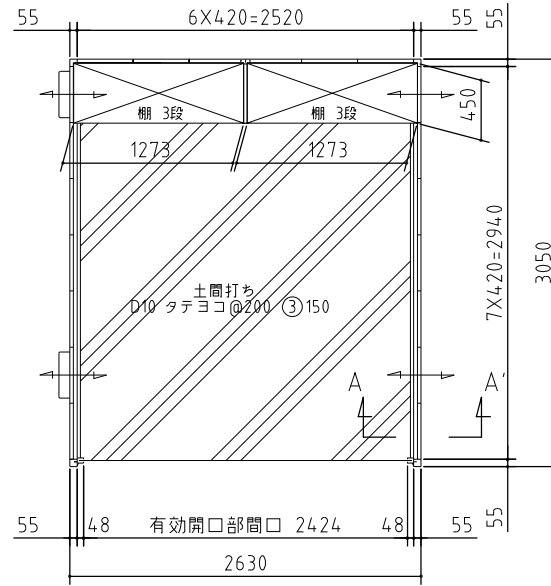
標準断面図 S=1:10

| 品番 | 部 品 名 | 材料(材質) | 単位 | mm |
|----|----------|--------------|--------------|----|
| 1 | 土台枠 | F12 | 12 | |
| 2 | 柱 | F12 | 10,12 | |
| 3 | 桁前 | Y10 | 1.0 | |
| 4 | 桁後 | Y10 | 1.0 | |
| 5 | 妻板左右 | Y10 | 0.7 | |
| 6 | 鼻隠シ前後 | Y10 | 0.7 | |
| 7 | 母屋中 | F12 | 12(多雪地型 2.3) | |
| 8 | 屋根パネル | Y10 | 0.5 | |
| 9 | 壁パネル | F12 | 0.7 | |
| 10 | シャッター | Z08 | 0.5 | |
| 11 | シャッターカバー | F12 | 0.7 | |
| 12 | シャッターレール | アルミニウム合金押出型材 | | |
| 13 | 棚板 | F12 | 0.6 | |
| 14 | アンカープレート | F12 | 2.3 | |
| 15 | ガラリ付壁パネル | F12 | 0.7 | |

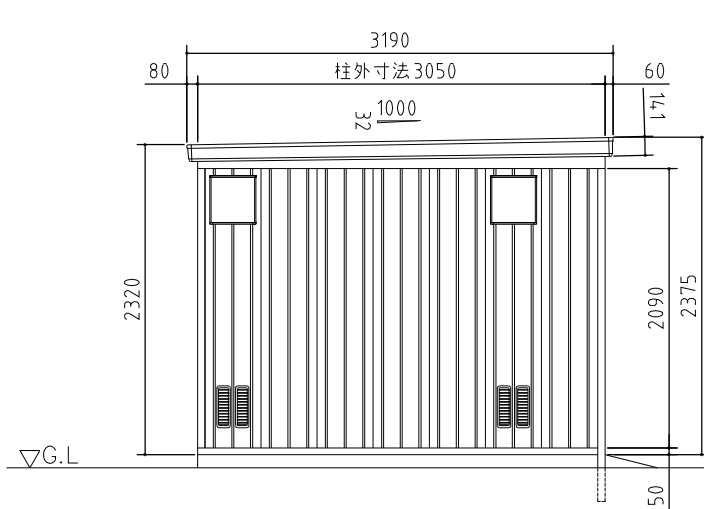
F12→溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
Y10→溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)
Z08→塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313)

- 有効開口寸法：2424×1886(mm)
- 床面積：8.02㎡(2.43坪)
- 構造：鉄骨造

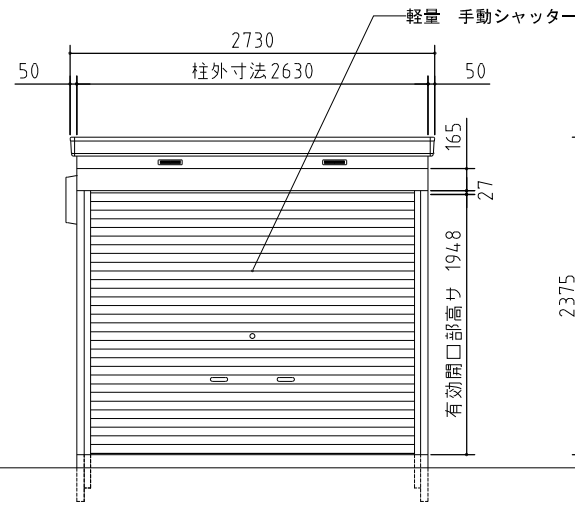
A-A'断面・・・A外-025の基礎断面とA-A'断面に同じ



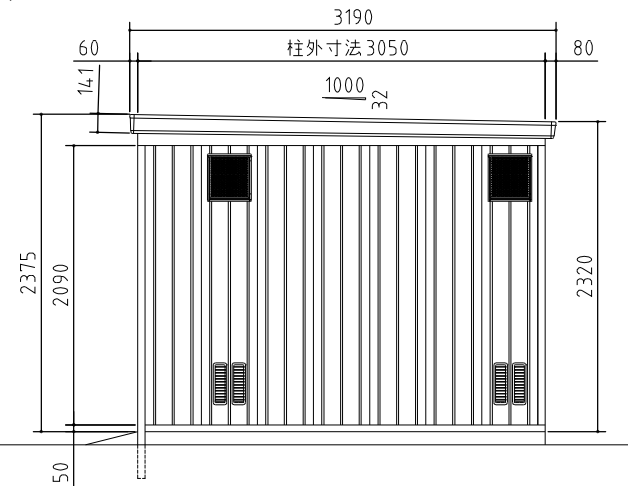
平面図



側面図



正面図



側面図

※フード(OP)取付時

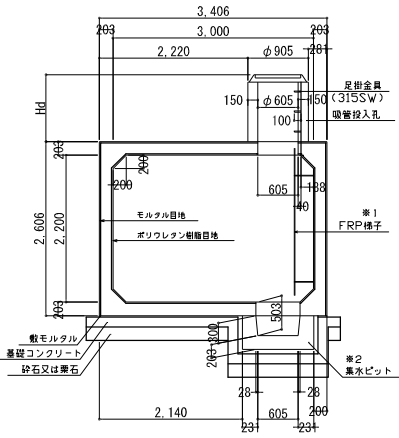
注1 吸管投入孔・ピットの位置及び数量は変更可能。但し、最大スケッチとする。
 ※1 FRPの継ぎ手は、高圧洗浄を取り付けとし、最大スケッチで取り付けることが出来る。
 ※2 集水ピットには、h=100又はh=300のどちらかのブロックを使用する。

二次製品耐震性貯水槽 40m³ 型 構造図 S=1/40

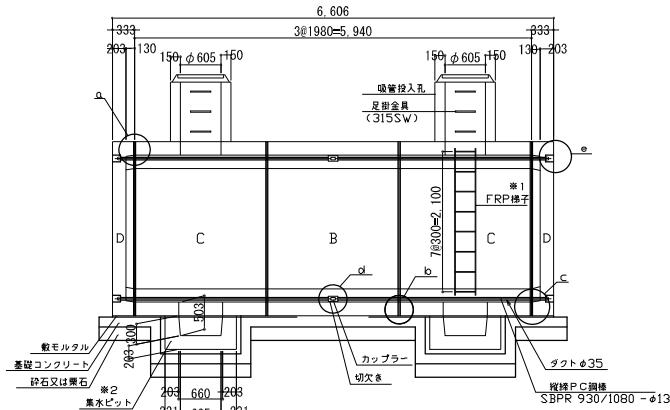
二次製品耐震性貯水槽 (40m³)

| | | | |
|-----------|--------------------------------------|-----|--------|
| 型式記号 | ASH322C-II型N-0.1/1.0 | | |
| 認定番号 | 耐-00011-1号 | | |
| 容量 | 40 m ³ | | |
| 設置場所 | II型 (道路用) | | |
| 荷重 | T-20 | | |
| 土被り | Hd=0.1~1.0m | | |
| 主材料 | 細目 | 数量 | 備考 |
| Bブロック | 3000×2200×1980 | 1個 | 切欠付 |
| Cブロック | 3000×2200×1980 | 2個 | 人孔型 |
| Dブロック | 3000×2200×333 | 2個 | 背面版 |
| 吸管投入ブロック | φ605, H=*** | *個 | |
| 吸管投入ブロック | φ605, H=*** | *個 | |
| 集水ピットブロック | φ660, H=503 | 2個 | |
| FRP梯子 | | | *個 |
| 縦縮PC鋼棒 | SBPR-930/1080-φ13, L=3265 | 8本 | |
| カップラー | φ13用 | 4個 | 縦縮用 |
| 定着具 | φ13用 ナット、ワッシャー、アンカープレート | 8組 | 縦縮用 |
| 取付用金具 | M20* ナット、ワッシャー | 10組 | 集水ピット用 |
| 受枠及び蓋 | φ600 | 2組 | |
| 取付用金具 | 鉄筋φ16 (斜切) 又は、全ネジボルト (M16) ナット、ワッシャー | 6組 | 人孔受枠用 |
| 縦縮PC鋼棒 | φ13 導入力 80kN | | |

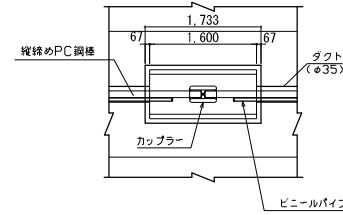
A-A 断面図



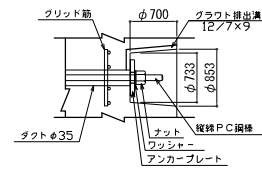
B-B 断面図



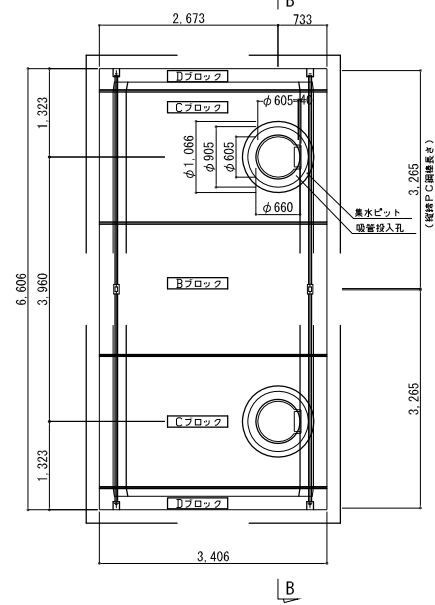
d部詳細図 S=1/6



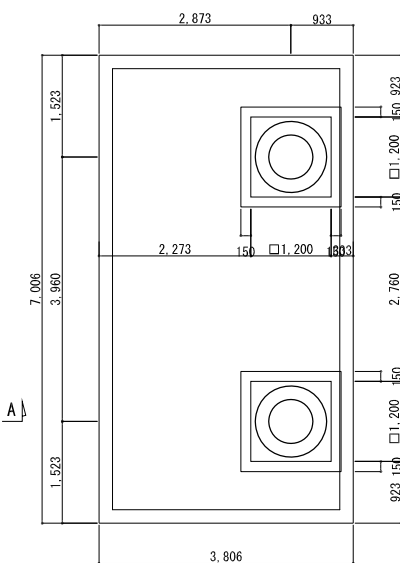
e部詳細図 S=1/6



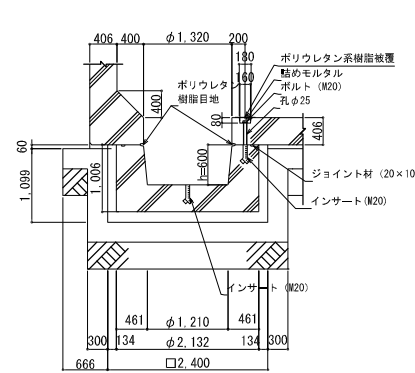
平面図



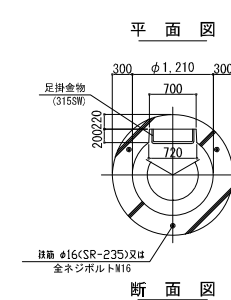
基礎平面図



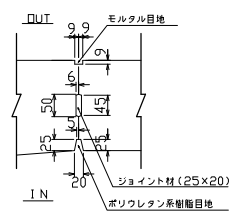
集水ピットブロック S=1/20



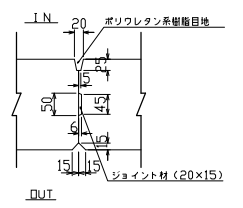
吸管投入孔 S=1/20



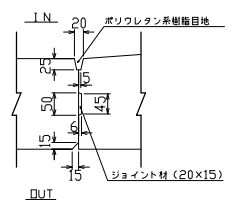
a部詳細図 S=1/6



b部詳細図 S=1/6

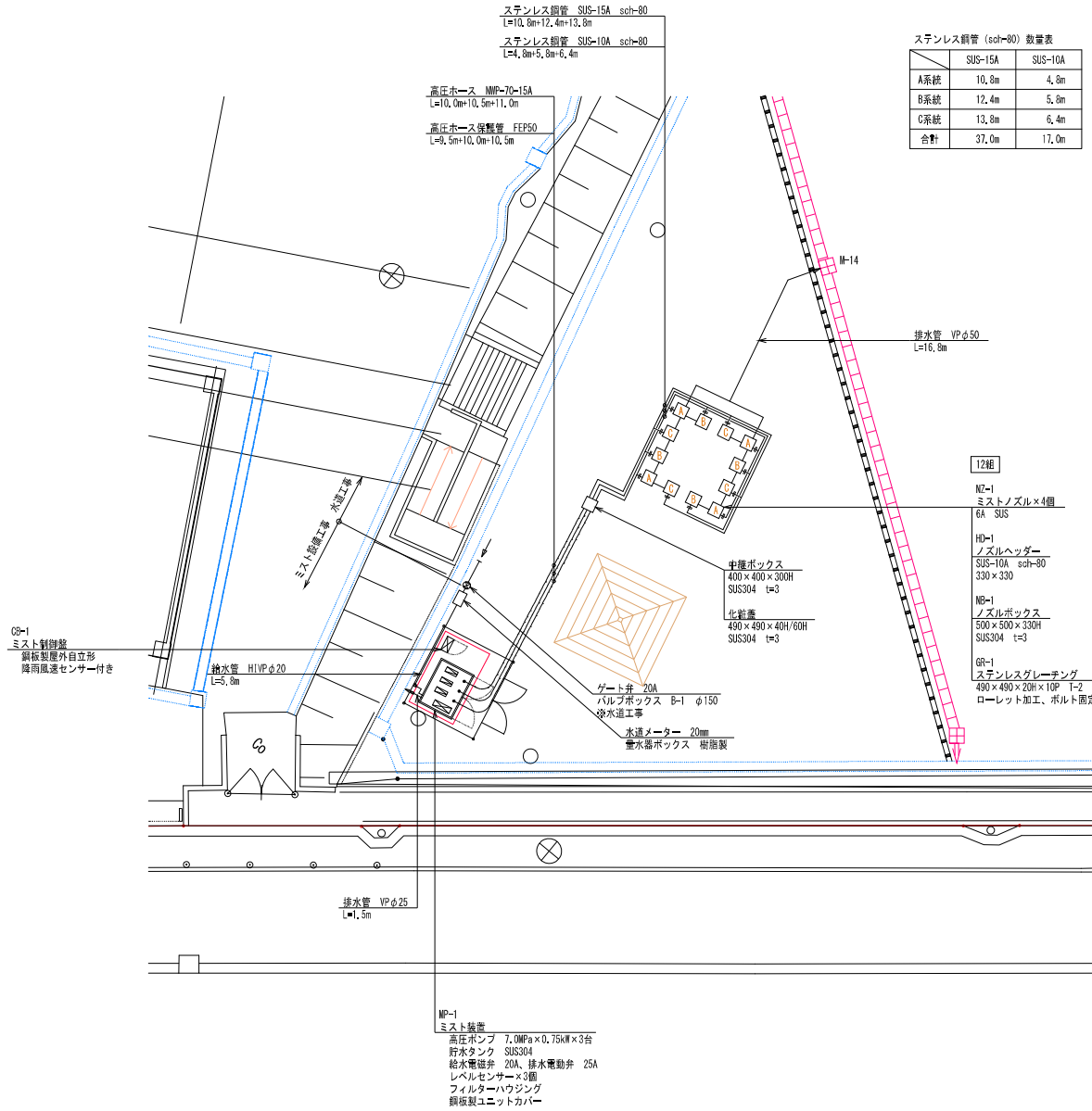


c部詳細図 S=1/6



ミスト設備平面配置図

S=1:100 (A1) 1:200 (A3)



ステンレス鋼管 (sch=80) 数量表

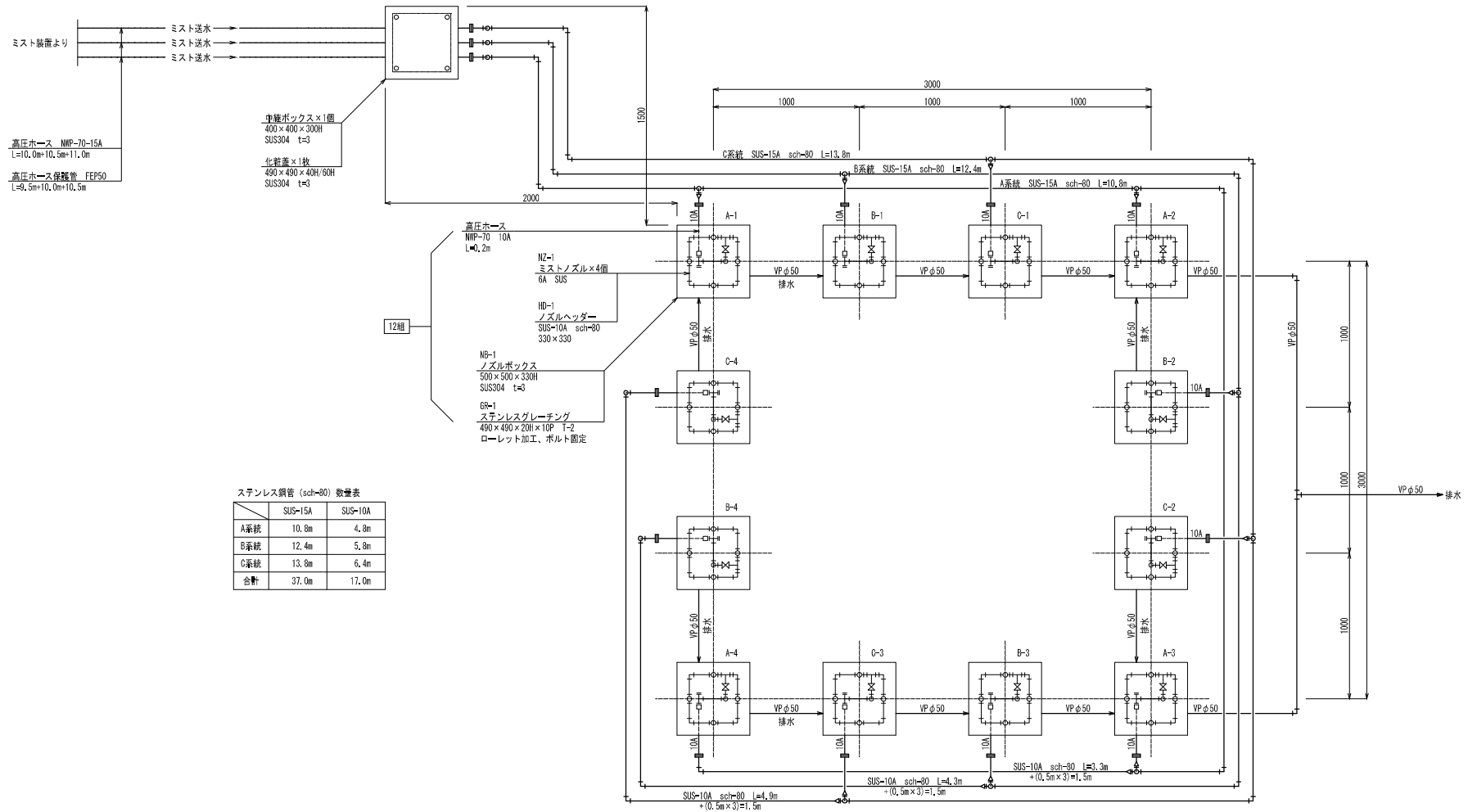
| | SUS-15A | SUS-10A |
|-----|---------|---------|
| A系統 | 10, 8m | 4, 6m |
| B系統 | 12, 4m | 5, 8m |
| C系統 | 13, 8m | 6, 4m |
| 合計 | 37, 0m | 17, 0m |

ミスト設備数量表

| 記号 | 名称 | 形状・規格・寸法 | 単位 | 数量 | 摘要 |
|------|--------------|---|----|-------|----|
| MP-1 | ミスト装置 | 高圧ポンプ 4L/min×7MPa×0.75kW×3台 1φ100V 給水電磁弁: 20A、排水電動弁: 25A 貯水タンク: 250×760×400H SUS304 銅板製カバー: 2000×1500×650H メラミン樹脂焼付塗装 内部配管: SUS304、VP管、ブレードホース、フィルターハウジング | 基 | 1 | |
| NZ-1 | ミストノズル | 6A×7MPa×34μm SUS | 個 | 48 | |
| HD-1 | ノズルヘッダー | SUS-10A 330×330 sch=80 架台共 | 箱 | 12 | |
| NB-1 | ノズルボックス | 500×500×330H SUS304 t=3, 0 | 個 | 12 | |
| SG-1 | ステンレスグレーチング | 490×490×20H×10P SUS304 ローレット加工、固定式 | 枚 | 12 | |
| | 中継ボックス | 400×400×300H SUS304 t=3, 0 | 個 | 1 | |
| | 化粧蓋 | 490×490×40H/60H SUS304 t=3, 0 | 枚 | 1 | |
| | 高圧ホース | 7MPa×15A 両端SUS金具付 L=10, 0m | 本 | 1 | |
| | | 7MPa×15A 両端SUS金具付 L=10, 5m | 本 | 1 | |
| | | 7MPa×15A 両端SUS金具付 L=1, 0m | 本 | 1 | |
| | 高圧ホース接続管 | FEP90 L=9, 5+10, 0+10, 5 | m | 30, 0 | |
| | 水道メーター | 20mm 乾式直立式 | 個 | 1 | |
| | 量水器ボックス | 322×260×205H 樹脂製 底板付 | 個 | 1 | |
| | ステンレス鋼管 | SUS-15A sch=80 | m | 37, 0 | |
| | | SUS-10A sch=80 | m | 17, 0 | |
| | 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 | HIVPφ20 | m | 5, 8 | |
| | 硬質塩化ビニル管 | VPφ50 | m | 16, 8 | |
| | | VPφ25 | m | 1, 5 | |
| CB-1 | ミスト制御壁 | 銅板製屋外自立形 600W×3000×1400H 週間タイマ、降雨風速センサー付き | 面 | 1 | |
| | 硬質ポリ塩化ビニル電線管 | HIVE22 | m | 18, 5 | |
| | 電気ケーブル | EM-OE 2sq-3c | m | 12, 0 | |
| | | EM-OEE 1, 25sq-5c | m | 4, 4 | |
| | | EM-OEE 1, 25sq-2c | m | 18, 1 | |
| | 接地工 | アース棒φ10×1000L IV5, 5sq HIVE16 | 箇所 | 1 | |

ノズルボックス配置図

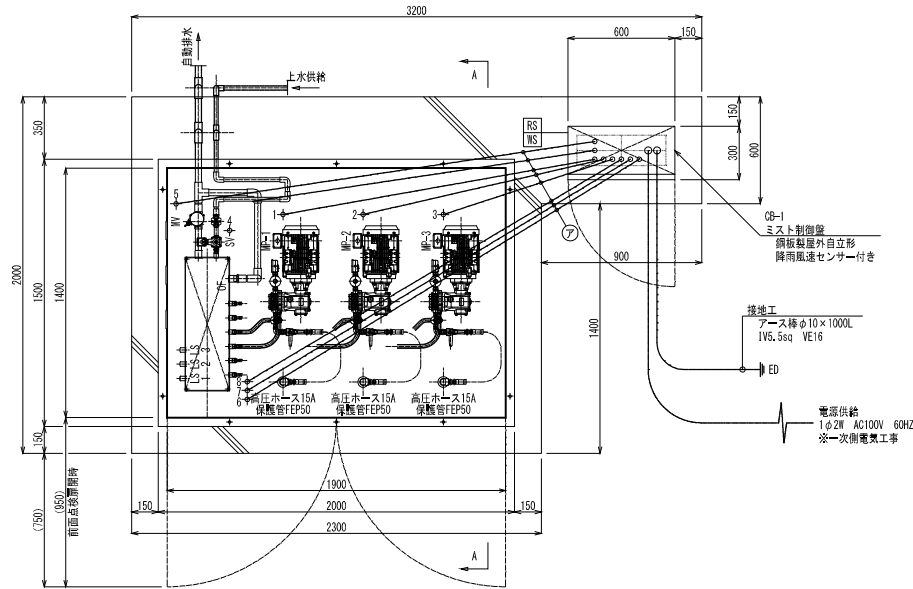
S=1:15 (A1) 1:30 (A3)



ミスト設備構造図-1

ミスト設備機械室平面図

S=1:30 (A1)
S=1:30 (A3)



電気ケーブル・電線管 数量表

| 配号 | 電気ケーブル | 延長 | 電線管 | 延長 | 摘要 |
|-----|------------------|-------|--------|-------|-------------------|
| ⑦-1 | EM-OE 2sq-3c | 4.4 m | HIVE22 | 2.4 m | P-1 ミストポンプ 0.75kW |
| ⑦-2 | EM-OE 2sq-3c | 4.0 m | HIVE22 | 2.0 m | P-2 ミストポンプ 0.75kW |
| ⑦-3 | EM-OE 2sq-3c | 3.6 m | HIVE22 | 1.6 m | P-3 ミストポンプ 0.75kW |
| ⑦-4 | EM-OEE 1.25sq-2c | 4.6 m | HIVE22 | 2.6 m | SV ミスト装置給水電磁弁 |
| ⑦-5 | EM-OEE 1.25sq-5c | 4.4 m | HIVE22 | 2.4 m | MV ミスト装置排水電磁弁 |
| ⑦-6 | EM-OEE 1.25sq-2c | 4.5 m | HIVE22 | 2.5 m | LF-1 レベルセンサー-1 |
| ⑦-7 | EM-OEE 1.25sq-2c | 4.5 m | HIVE22 | 2.5 m | LF-2 レベルセンサー-2 |
| ⑦-8 | EM-OEE 1.25sq-2c | 4.5 m | HIVE22 | 2.5 m | LF-3 レベルセンサー-3 |

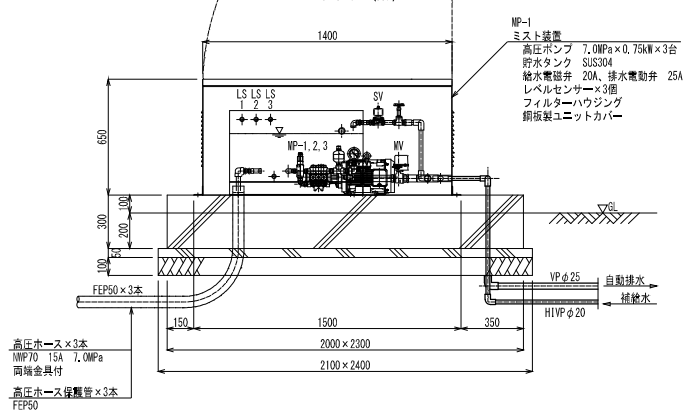
電気ケーブル延長 = 電線管延長 + 制御室内 1.0 m + 各機器 1.0 m とする。

電気ケーブル・電線管 集計表

| 名称 | サイズ・規格 | 延長 |
|--------|------------------|--------|
| 電気ケーブル | EM-OE 2sq-3c | 12.0 m |
| | EM-OEE 1.25sq-5c | 4.4 m |
| | EM-OEE 1.25sq-2c | 18.1 m |
| 電線管 | HIVE22 | 18.5 m |

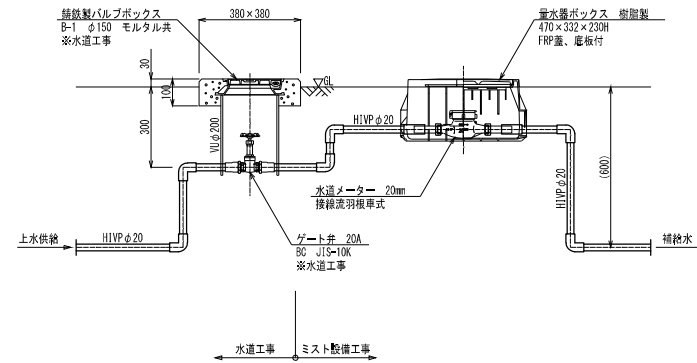
ミスト設備機械室断面図

A-A断面 S=1:15 (A1)
S=1:30 (A3)



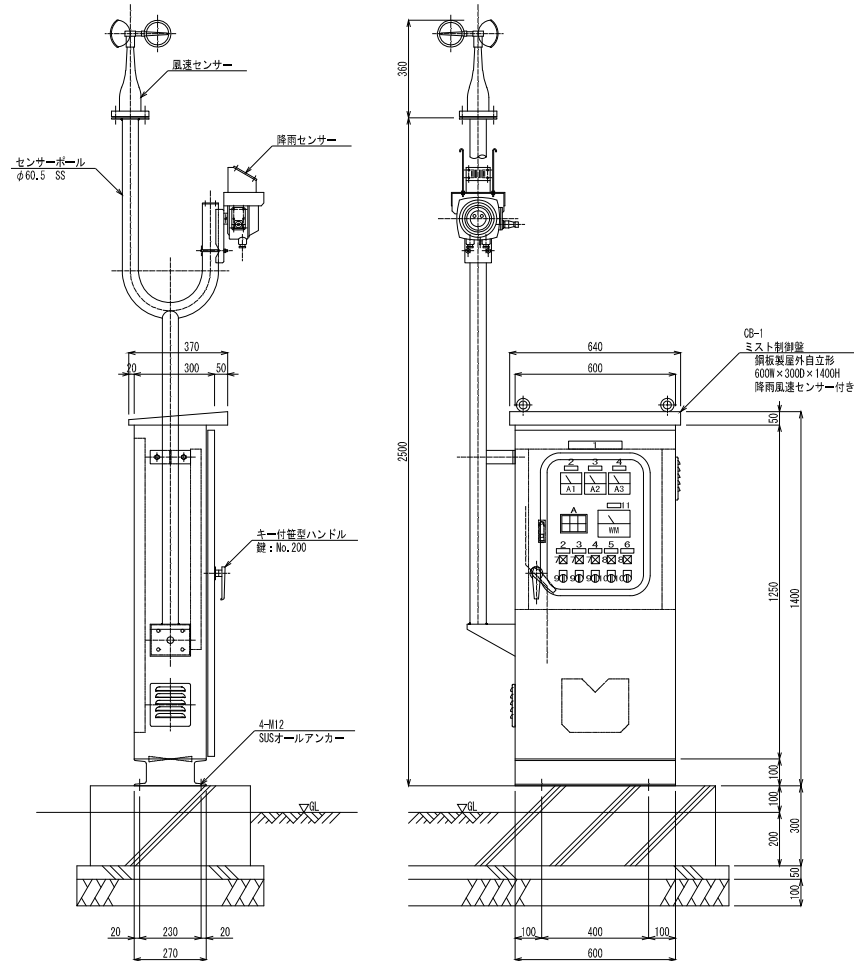
水道メーター取付図

S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

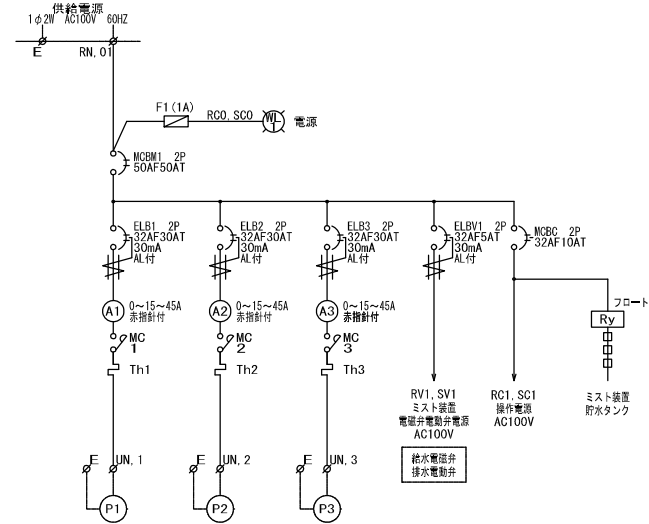


ミスト設備構造図-3

ミスト制御盤姿図
S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



動力結線図



| 負荷容量 | 0.75kW | 0.75kW | 0.75kW |
|--------|-------------|-------------|-------------|
| 定格電流 | 9.3A | 9.3A | 9.3A |
| 負荷名称 | ミストポンプ No.1 | ミストポンプ No.2 | ミストポンプ No.3 |
| 表示灯 | R/O | R/O | R/O |
| 操作スイッチ | COS | COS | COS |

銘板

| No. | 記入文字 | 備考 |
|-----|-------------|-----|
| 1 | ミスト制御盤 | |
| 2 | ミストポンプ No.1 | |
| 3 | ミストポンプ No.2 | |
| 4 | ミストポンプ No.3 | |
| 5 | ミスト装置給排水電磁弁 | |
| 6 | ミスト装置排水電磁弁 | |
| 7 | 運転 | |
| 8 | 閉 | |
| 9 | 手動一切自動 | 左→右 |
| 10 | 閉→開自動 | 左→右 |
| 11 | 風速計 | |

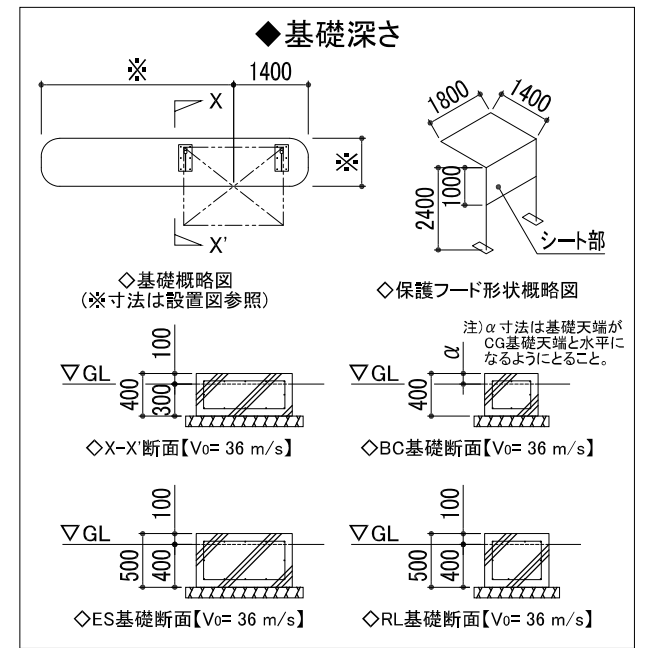
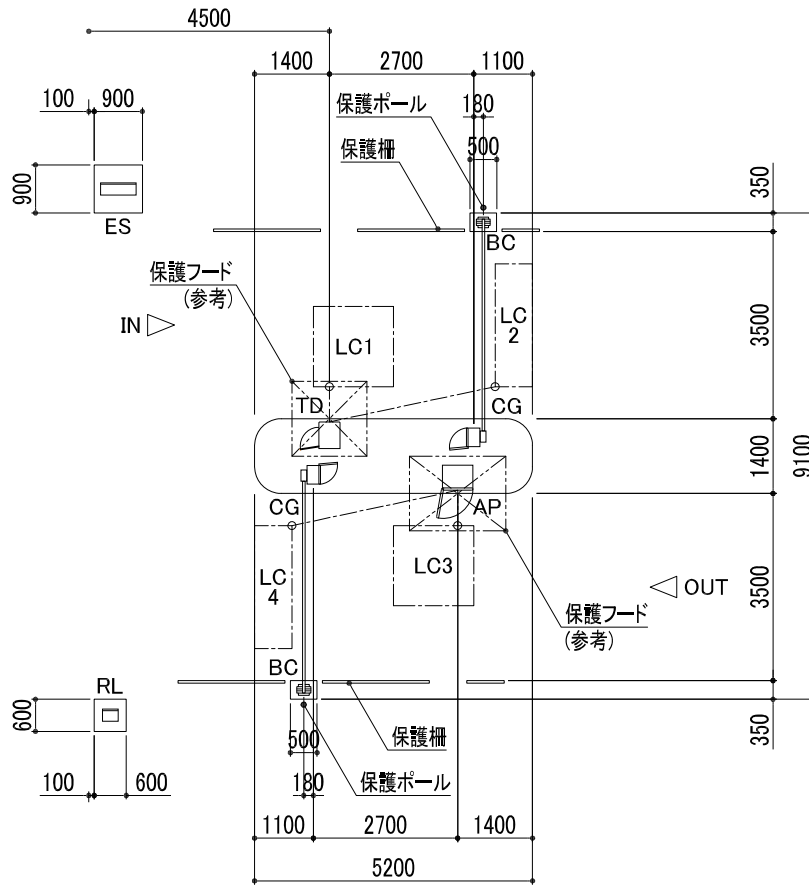
△點検

| 電源 | 降雨 | 強風 |
|----------|---------------|---------|
| ミストポンプ故障 | ミスト装置電磁弁電動弁故障 | ミスト装置排水 |

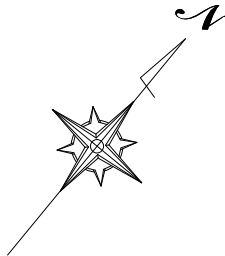
動作

- ミストポンプNo.1~3は、週間タイマスイッチにより「運転→停止」すること。また、自動→手動を切替選択できること。
- ミストポンプは、変化タイマーにより間欠運転すること。また、「運転→停止」の間隔は任意設定可能なこと。
- ミスト装置は、排水電動弁にて任意設定した時間で自動排水すること。また、貯水タンクの水位をレベルセンサーにて検知し、給水電磁弁にて自動給水すること。
- 降雨、風速感知時は、ミストポンプを自動で停止→復帰できること。

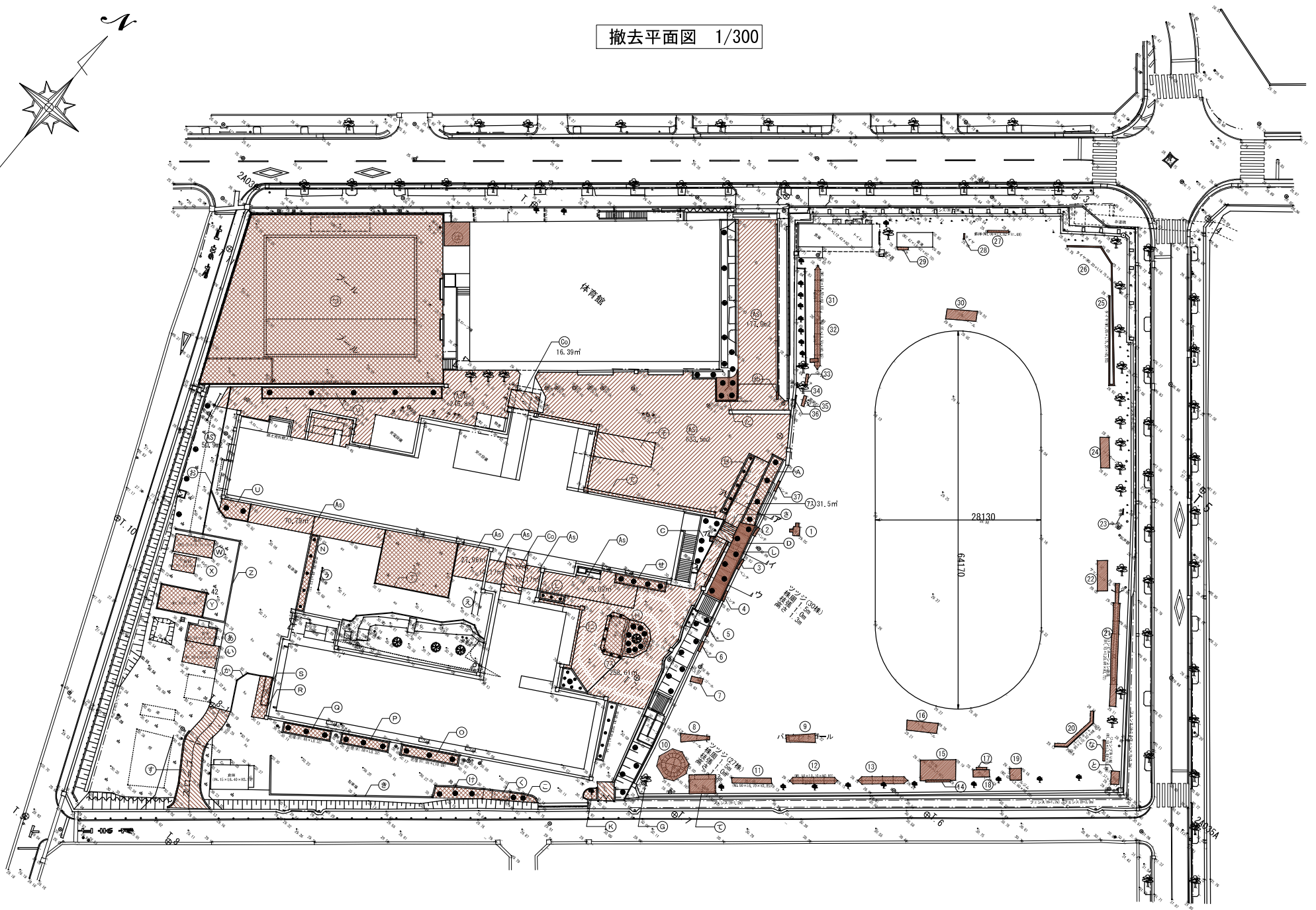
構造: 鋼板製屋外自立形
 板厚: 本体、扉 t2.3 機器取付中板 t2.3
 塗装: メラミン樹脂塗料
 内装: 内外共、マンセル 57/1 半ツヤ
 銘板: 材質はアクリル製とし、白地に黒文字丸ゴシック体にて裏彫刻とする。



| 記号 | 名称 | 備考 | 数量 |
|----|----------|----|----|
| TD | 駐車券発行機 | | 1 |
| AP | 全自動料金精算機 | | 1 |
| CG | カーゲート | | 2 |
| BC | バーキャッチャー | | 2 |
| LC | ループコイル | | 4 |
| ES | 入口表示灯 | | 1 |
| RL | 出庫警報灯 | | 1 |

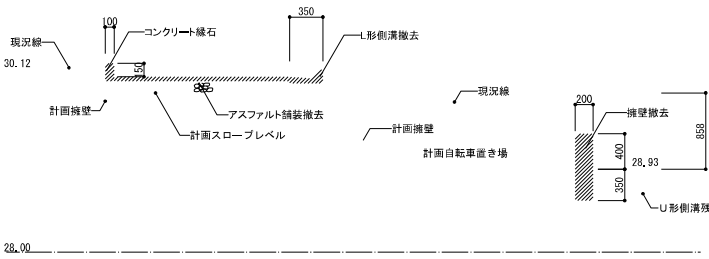


撤去平面図 1/300

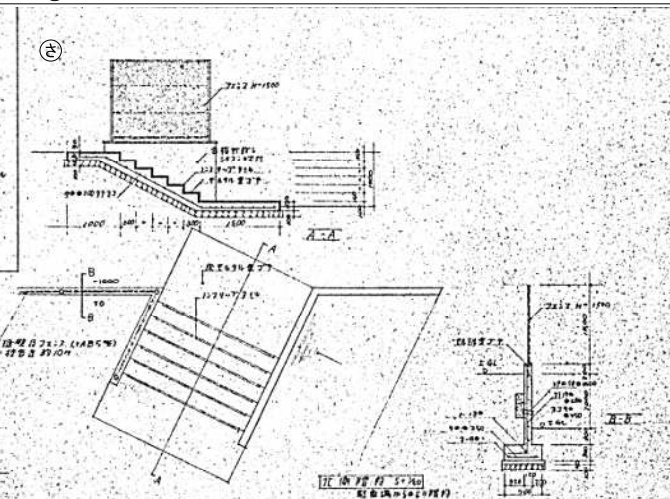


| 撤去物リスト | | | | | 低木 (H=2.0m 未満) | | | | |
|--------|---|-------|---|----|----------------------|------|-------|------|-------|
| 部位 | W | D (L) | H | 備考 | 部位 | W | D (L) | H | 備考 |
| | | | | | ① | 0.70 | 1.40 | 0.70 | 杉ノイ |
| | | | | | ② | 0.40 | 1.10 | 1.40 | ツグ |
| | | | | | ③ | 0.15 | 0.70 | 0.60 | ボックサト |
| | | | | | ④ | 0.80 | 1.10 | 1.30 | カサカサ |
| | | | | | ⑤ | 0.55 | 0.70 | 0.65 | ツグ |
| | | | | | ⑥ | 0.35 | 1.10 | 0.80 | クマノ |
| | | | | | ⑦ | 0.80 | 0.80 | 0.80 | ヒメツバ |
| | | | | | ⑧ | 1.20 | 1.20 | 1.00 | トナリ |
| | | | | | ⑨ | 0.40 | 0.80 | 1.50 | コナノ |
| | | | | | ⑩ | 0.20 | 1.00 | 1.00 | ササ |
| | | | | | ⑪ | 1.50 | 1.00 | 1.30 | ツグ |
| | | | | | 合計 | | | | 217本 |
| 撤去物リスト | | | | | 中木 (H=2.0m以上 3.0m未満) | | | | |
| 部位 | W | D (L) | H | 備考 | 部位 | W | D (L) | H | 備考 |
| | | | | | ① | 0.20 | 0.90 | 2.30 | カキ |
| | | | | | ② | 0.16 | 1.20 | 2.80 | ツバキ |
| | | | | | ③ | 0.33 | 1.40 | 2.40 | カイツカイ |
| | | | | | ④ | 0.16 | 1.20 | 2.80 | 中木 |
| | | | | | ⑤ | 0.55 | 2.00 | 2.40 | ツグ |
| | | | | | 合計 | | | | 1本 |
| 撤去物リスト | | | | | 高木 (H=3.0m以上) | | | | |
| 部位 | W | D (L) | H | 備考 | 部位 | W | D (L) | H | 備考 |
| | | | | | ① | 0.65 | 3.40 | 4.30 | オトコ |
| | | | | | ② | 0.70 | 2.00 | 4.50 | ツバキ |
| | | | | | ③ | 0.42 | 3.90 | 4.00 | ツグ |
| | | | | | ④ | 0.95 | 2.70 | 3.20 | ゴザク |
| | | | | | ⑤ | 0.70 | 3.40 | 3.70 | ツバキ |
| | | | | | ⑥ | 0.55 | 5.00 | 5.20 | ツバキ |
| | | | | | ⑦ | 0.90 | 4.40 | 3.50 | ツグ |
| | | | | | ⑧ | 0.45 | 1.60 | 3.50 | カキ |
| | | | | | 合計 | | | | 14本 |
| | | | | | ① | 0.39 | 2.00 | 3.70 | ツバキ |
| | | | | | ② | 0.40 | 2.00 | 4.00 | 桐系樹木 |
| | | | | | ③ | - | - | 8.00 | シュロ |
| | | | | | ④ | 0.58 | 2.40 | 5.00 | 高木 |
| | | | | | 合計 | | | | 1本 |

イ-イ 部分断面 S=1/30

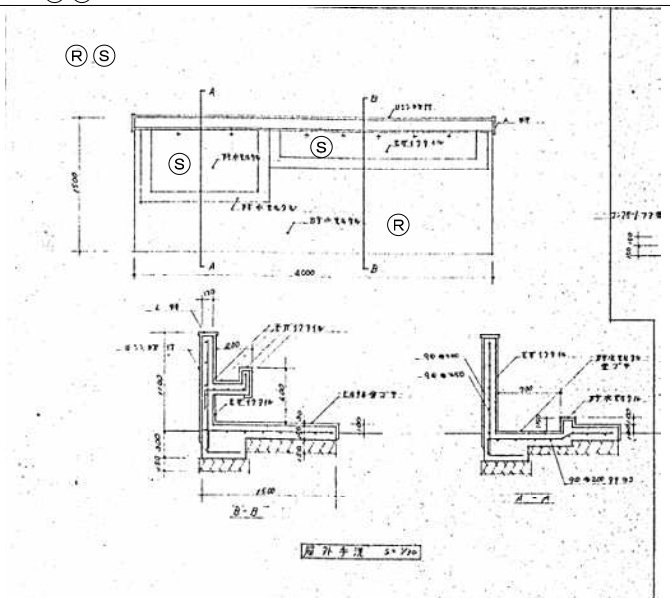


③ 部分撤去詳細図 S=1/30

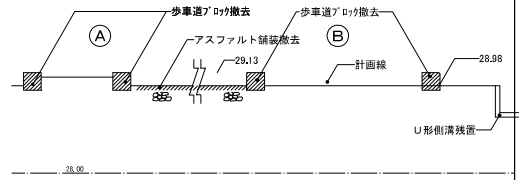


④ 部分 撤去詳細図 S=1/30

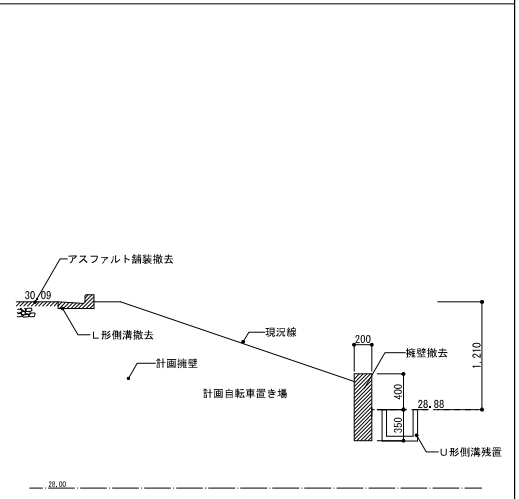
⑤ ⑥



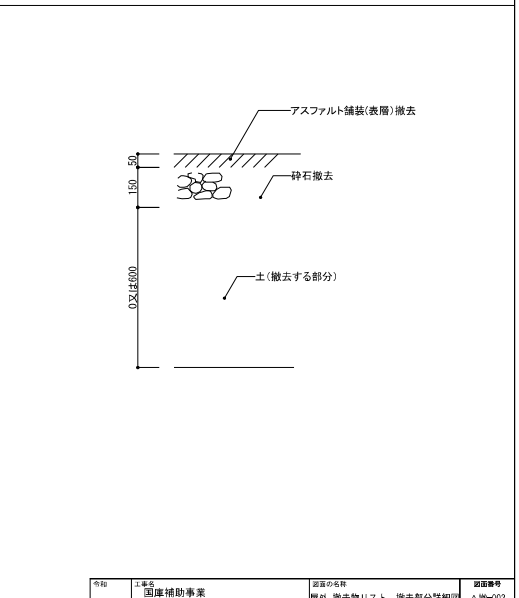
ア-ア 部分断面 S=1/30



ウ-ウ 部分断面 S=1/30



ア-ア 部分断面 S=1/10



一般事項

| | | | |
|---------|-------------|-----------------|--|
| 1. 建物概要 | 工事名称 | (仮称) 多世代交流館整備工事 | |
| | 建築場所 | 愛知県豊明市二村台1丁目2-7 | |
| 用途 | 用途 | 児童福祉施設等 | |
| | 階数 | 地上4階 地下0階 塔屋0階 | |
| | 構造種別 | 鉄骨造 | |
| 構造形式 | フレーム付ラーメン構造 | (X方向) | |
| | フレーム付ラーメン構造 | (Y方向) | |

| | | | | |
|-----------|-------|---|--|---------------------------------|
| 2. 構造設計条件 | 検証法 | <input type="checkbox"/> 許容応力度等計算 | <input checked="" type="checkbox"/> 保有水平耐力計算 | <input type="checkbox"/> 境界耐力計算 |
| | 条件 | <input type="checkbox"/> エネルギーの釣合いに基づく耐震計算法 <input type="checkbox"/> 特別な検証法(時刻依存解析) (性能評価建築物) | | |
| 計算ルート | 計算ルート | ルート3 | | |
| | 地震力 | 標準せん断力係数 $C_0 = 0.2$ 地域係数 $Z = 1.0$ 重要度係数・用途係数 $I = 1.25$ (<input type="checkbox"/> 1次設計時 <input checked="" type="checkbox"/> 2次設計時) | | |
| | 地震種別 | 2種 震動特性係数 $R_t = 1.00$ (<input type="checkbox"/> 精算 <input checked="" type="checkbox"/> 略算) | | |
| | 風圧力 | 基準風速 $V_0 = 34$ m/sec 地表面粗度区分: III | | |
| 積雪荷重 | 積雪荷重 | <input checked="" type="checkbox"/> 一般地域 <input type="checkbox"/> 多雪地域 | | |
| | 垂直積雪量 | $d = 30.0$ cm 積雪の単位重量 $\rho = 20$ N/m ³ | | |

3. 適用図書 一般社団法人 公共建築協会「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」平成31年版
上記図書に記載されていない事項は日本建築学会「建築工事標準仕様書(構工時の最新版)」を参照する。

4. 使用材料 (1) コンクリート

| 適用 | 適用場所 | 種類 | 設計基準強度 F_c (N/mm ²) | スラブ (cm) (スラブ70) | 気乾単位体積質量 (t/m ³) | 備考 | |
|-------------------------------------|-------------|----------------------|-----------------------------------|------------------|------------------------------|-------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 捨コンクリート | 普通 | 18 | 15 | 2.3 | N又はBB | |
| <input type="checkbox"/> | 場所打ちコンクリート杭 | 普通 | 24 □ 27 □ 30 | 18 | | | |
| <input type="checkbox"/> | ラップコンクリート | 普通 | 18 □ 21 | 15 | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 土間コンクリート | 普通 | 21 □ 24 | 15 | 2.3 | N又はBB | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 躯体 | EV種 1階床スラブ以下及び立上り壁まで | 普通 | 21 ■ 24 □ 30 | 15 | 2.3 | N |
| | | EV種 2階床以上 | 普通 | 21 □ 24 □ 30 | 18 | 2.3 | N |
| | | | 普通 | 21 □ 24 □ 30 | 15 | 2.3 | |
| | | | 普通 | 21 □ 24 □ 30 | 18 | 2.3 | |
| <input type="checkbox"/> | 設備基礎 | 普通 | 21 □ 24 □ 30 | 18 | 2.3 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 押入コンクリート | 普通 | 18 | 18 | 2.3 | N | |
| <input type="checkbox"/> | 外構 | 普通 | 21 □ 24 | 15 | 2.3 | | |

凡例: (N): 普通ポルトランドセメント, (BB): 高炉セメントB種, (N): 中熱ポルトランドセメント, (L): 低熱ポルトランドセメント

(2) 鉄筋

| 異形鉄筋 | 種類 | 径 | 使用箇所 | 継手工法 |
|----------------|--------------------------------|-------------|---------------|---|
| JIS G 3112 | ■ SD395A | D10~D16 | せん断補強筋、床スラブ、壁 | ■ 重ね継手 |
| | ■ SD345 | D19~D25 | 礎柱、基礎梁主筋 | ■ カス圧継手 <input type="checkbox"/> 重ね継手 ^{*2} |
| | <input type="checkbox"/> SD390 | D29 | | <input type="checkbox"/> 機械式継手 () |
| | <input type="checkbox"/> SD490 | D32 | | <input type="checkbox"/> 突合せ溶接継手 () |
| 高強度せん断補強筋 | ■ KSS785 ^{*1} | S13 | | |
| | ■ SBD1275 ^{*1} | U12, S, U15 | | |
| 溶接金網 JIS G3551 | ■ 6φ | | 開口補強筋 | |

a) 定価金物を使用する場合は、指定性能評価機関の評定取得品とする。

*1 KSS785 大臣認定品 (認定番号: MSR9-0036同等品以上)
SBD1275 大臣認定品 (認定番号: MSR9-0009)

*2 使用箇所は以下とする。
 壁筋 基礎スラブ筋 開口補強筋

(3) 鉄骨

| 適用 | 材質 | 使用箇所 | 備考 |
|-------------------------------------|-----------|--------|---------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | SM400B | 大梁、柱 | JIS G 3136 |
| <input type="checkbox"/> | SM400C | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | SM490B | ダイヤフラム | |
| <input type="checkbox"/> | SM490C | | JIS G 3106 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | SM490B | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | SS400 | 2次部材等 | JIS G 3101 |
| <input type="checkbox"/> | BCP235 | | 大臣認定品 (認定番号:) |
| <input type="checkbox"/> | BCP235 | | 大臣認定品 (認定番号:) |
| <input type="checkbox"/> | BCR295 | | 大臣認定品 (認定番号:) |
| <input type="checkbox"/> | STK400 | | JIS G 3444 |
| <input type="checkbox"/> | STKR400 | | JIS G 3466 |
| <input type="checkbox"/> | STKN490B | | JIS G 3475 |
| <input type="checkbox"/> | TMPCP325B | | t:40 大臣認定品 (認定番号:) |
| <input type="checkbox"/> | TMPCP325C | | t:40 大臣認定品 (認定番号:) |
| <input type="checkbox"/> | TMPCP355C | | t:40 大臣認定品 (認定番号:) |

・柱脚には露出型弾性固定柱脚工法を使用する。
・工法名: ベースバック工法
・評定番号: BCJ評定-S10092-17
・認定番号: MBLT-0135またはMBLT-0154
MBLT-0062またはMBLT-0157, MSTL-0120

(4) ボルト

| 適用 | 規格等級・材質 | 備考 |
|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 高力ボルト JIS B 1136 2種A(F10T) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | トルシア形高力ボルト JSS II 09 2種(S10T) | 大臣認定品 MBLT-0118 |
| <input type="checkbox"/> | 亜鉛めっき高力ボルト 1種A(F8T) | 大臣認定品 |
| <input type="checkbox"/> | アンカーボルト JIS G 3138 SM400B | JIS B 1220 もしくはJSS II 13 ABR490 |
| <input type="checkbox"/> | (ダブルナット付き) JIS G 3138 SM400B | |
| <input type="checkbox"/> | JIS G 3101 SS400 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 預付キスタッドボルト JIS B 1198 | 19φ h=100 |
| <input type="checkbox"/> | 建築用タンバックル JIS A 5540, 5541 | S-S7-S |

(5) デッキプレート

| 適用 | 規格等級・材質 | 備考 |
|-------------------------------------|----------------------------------|----------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 炭素鋼用鋼板 JIS G 3352 SDP17GA | |
| <input type="checkbox"/> | 合成スラブ構造デッキプレート JIS G 3352 SDP2GA | 耐火構造認定を取得したもの。 |

5. 基礎形式 杭基礎(既製杭)

| 場所 | 捨てコンクリート | 砕石 | 備考 |
|----------|----------|-------|----|
| 基礎梁 | 50 mm | 60 mm | |
| 基礎、基礎スラブ | 50 mm | 60 mm | |
| 土間スラブ | 50 mm | 60 mm | |
| 土間コンクリート | — | 60 mm | |

7. 鉄筋記号

| 呼び名 | D10 | D13 | D16 | D19 | D22 | D25 | D29 | D32 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 表示記号 | ● | × | ∅ | ● | ○ | ● | ● | ○ |

8. ボルトの記号

| 種別 | 呼び径 | 記号 | 備考 |
|--------------|------|----|----------------|
| 高力ボルト | M 16 | ● | F 10T S 10T |
| | M 20 | ⊖ | |
| | M 22 | + | |
| 溶融亜鉛めっき高力ボルト | M 16 | ● | F 8T |
| | M 20 | ● | |
| | M 22 | ● | |
| アンカーボルト | M 24 | ⊗ | 各詳細図に特記する |

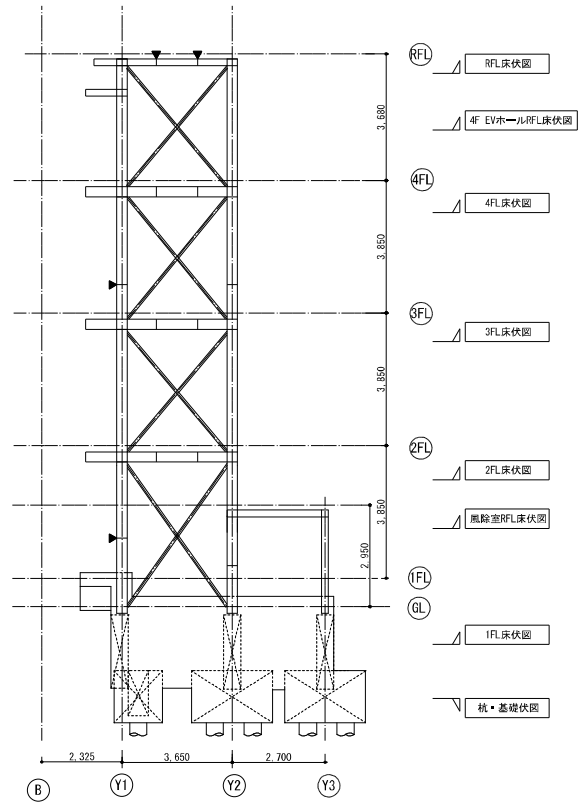
9. 鉄骨詳細図における用語の定義
本設計図で使用する用語は関連 JIS 及び日本建築学会編「建築工事標準仕様書JASS6鉄骨工事」及び「鉄骨工事技術指針」によるほか下記による。

F: Fフランジプレート
W: Wウェブプレート
T: Tトッププレート
D: D水平ステファプレート
S: Sブライズプレート

B: Bベースプレート
F11: F11ファイラープレート
A: Aアンカーボルト
G: Gガセットプレート
P: Pロパネルプレート

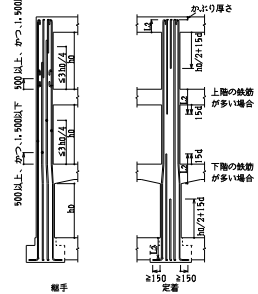
10. 設計G L
GL = 1FL (既設校舎) -0.825m

KEY SECTION



4. 柱

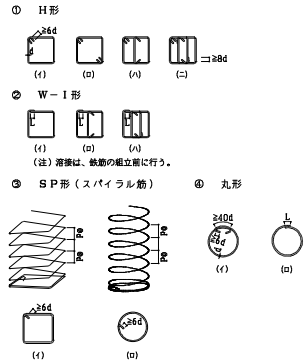
【柱主筋の継手、定着及び余長】 下図による・図示



- 柱の区間にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱間にある場合は、フックを付ける。
- 隣り合う継手の位置は、規仕(表3.3.1)による。

図 2.1 柱主筋の継手、定着及び余長

【帯筋組立の形及び割付け】 下図による・図示



- H形を標準とする。
- フック及び継手の位置は、交互とする。
- 溶接する場合の溶接長さし、両面フレア溶接の場合は14以上、片面フレア溶接の場合は10以上とする。
- SP形において、柱端及び柱筋の端部は、1.5倍以上の溶接長を行う。
- H形の135°曲げのフックが図解な場合は、W-1形とする。

図 2.2 帯筋組立の形

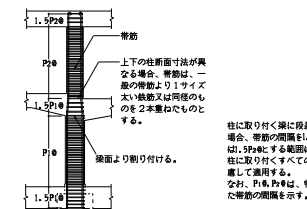


図 2.3 帯筋の割付け

柱に取り付く縁に段差がある場合、帯筋の両端を1.5倍又は、5倍にすることを要する。その柱に取り付くすべての縁を考慮して要する。なお、P、P#は、特記された帯筋の図解を示す。

【柱の打増し補強】 下図による・図示

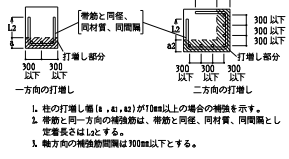


図 2.4 柱の打増し補強図

- 柱の打増し補強(a, b, c)が10mm以上の場合の図解を示す。
- 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同様、同材質、同間隔とし、定着長はLとする。
- 軸方向の補強筋間隔は300mm以下とする。

5. 大梁

【大梁主筋の継手、定着及び余長】 下図による・図示

- 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
 - 大梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、(1)により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図3.1による。

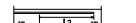


図 3.1 大梁主筋の梁内定着

- 大梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
 - 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、(1)により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図3.1による。
- 上端筋：曲げ筋とする。
- 下端筋：原則として曲げ上げる。
- 段違い梁は、図3.2による。

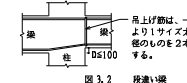
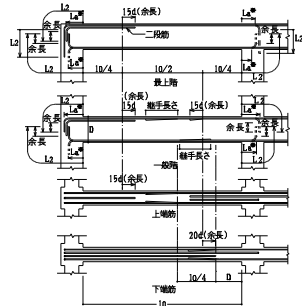


図 3.2 段違い梁

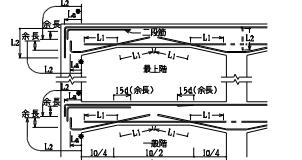
- ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長



- 継手中心位置は、次による。
 - 上端筋：中央10/2以内
 - 下端筋：柱面より縁せい(1)以上とし、10/4を加えた範囲以内
- 規仕(表3.3.2(イ))で定めた鉄筋には、フックを付ける。
- 印は、継手及び余長を示す。
- 破線は、柱内定着の場合を示す。
- L#の数値は、原則として、柱せい(イ)の3/4倍以上とする。

図 3.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

- ハンチのある場合の重ね継手、定着及び余長

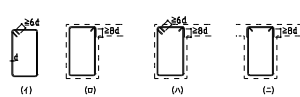


- 規仕(表3.3.2(イ))で定めた鉄筋には、フックを付ける。
- 印は、継手及び余長を示す。
- 梁内定着の帯筋が接合するときは、====のように引き通すことができる。
- 破線は、柱内定着の場合を示す。
- L#の数値は、原則として、柱せい(イ)の3/4倍以上とする。

図 3.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

【あばら筋の組立の形及び割付け等】 下図による・図示

- あばら筋組立の形及びフックの位置



- (1)形を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(b)又は(c)、T形梁の場合は(1)～(4)とすることができる。
- フックの位置は、(a)の場合は交互とし、(b)の場合は、L形でスラブの付く側、T形では交互とする。
 - なお、(c)の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。

図 3.5 あばら筋組立の形

- あばら筋の割付け

- 間隔が一樣で、ハンチのない場合

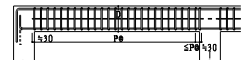


図 3.6 あばら筋の割付け(その1)

- 間隔が一樣で、ハンチのある場合

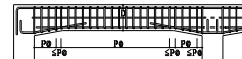


図 3.7 あばら筋の割付け(その2)

- 梁の端部で間隔の異なる場合

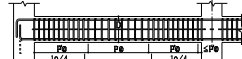
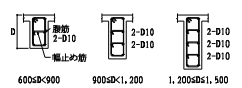


図 3.8 あばら筋の割付け(その3)

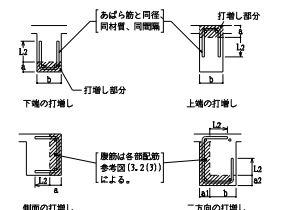
- 腰筋及び補止筋



- 腰筋に継手を用いる場合の継手長さは、150mm程度とする。
- 補止筋の長さ及び受け止め筋の筋は、D10-1,000程度とする。

図 3.9 腰筋及び補止筋

【梁の打増し補強】 下図による・図示



- 梁の打増し補強(a, b, c)が10mm以上の場合の図解を示す。
- あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同様、同材質、同間隔とし、定着長はLとする。

図 3.10 梁の打増し補強図

6. 小梁・片持梁

【小梁主筋の継手、定着及び余長】 下図による・図示

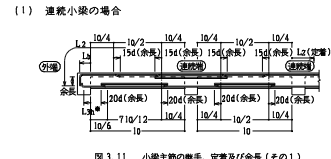


図 3.11 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

- 単独小梁の場合



図 3.12 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

- 印は、余長位置を示す。
- 継ぎ目が小さく差違で余長がない場合、初めにもよい。
- 図示のない事項は、各部図解参照(3.1)による。
- L#の数値は、原則として、柱せい(イ)の3/4以上とする。
- L#を確保できない場合は、規仕(表3.4(イ))によることができる。

【片持梁主筋の定着及び余長】 下図による・図示

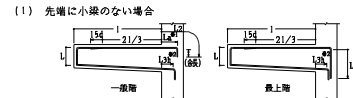


図 3.13 片持梁主筋の定着及び余長

- 印は、余長位置を示す。
- 先端の折曲げの長さしは、梁せい(イ)の厚さを除いた長さとする。
- 図示のない事項は、各部図解参照(3.1)による。
- L#の数値は、原則として、柱せい(イ)の3/4以上とする。
- L#を確保できない場合は、規仕(表3.4(イ))によることができる。

- 先端に小梁がある場合

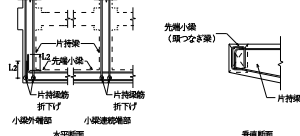


図 3.14 片持梁主筋の定着

- 図示のない場合は、(1)による。
- 先端に小梁がある場合は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続筋は、片持梁の先端を貫通する筋としてよい。

7. 壁

【壁の配筋】 下図による・図示

- 片持スラブ形階段を受ける壁の標準配筋は表4.2による。

表 4.2 片持スラブ形階段を受ける壁の配筋

| 階別 | 縦筋及び横筋 | 断面 | 階段の配筋階別(表6.1) |
|-----|--------|----------|---------------|
| KW1 | 縦筋 | D13-2000 | KA1 |
| | 横筋 | D10-1000 | |
| KW2 | 縦筋 | D13-1500 | KA2 |
| | 横筋 | D10-2000 | |
| | スラブ | | KA4 |

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

【壁の継手及び定着】 下図による・図示

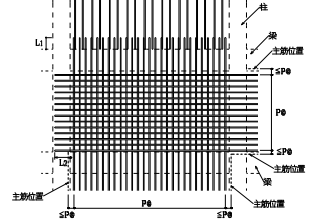


図 4.1 壁の配筋

- 図中のL#は、特記された鉄筋の図解を示す。
- 鉄筋筋の重ねは、交互とし、定着長はLとする。
- 補止筋は、縦筋とD10-1,000程度とする。

※原則として柱及び梁内に壁筋の継手を設けてはいけない。

【壁の交差部及び端部の配筋】 下図による・図示

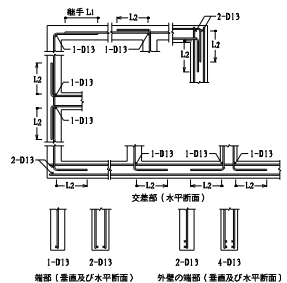


図 4.2 壁の交差部及び端部の配筋

【壁の開口部補強】 下図による・図示

- 壁の開口部補強筋の定着長さは図4.3による。

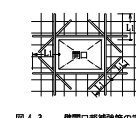


図 4.3 壁開口部補強筋の定着長さ

- 開口部に柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

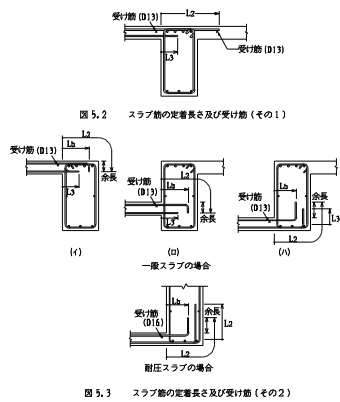
【壁の打増し補強】 下図による・図示



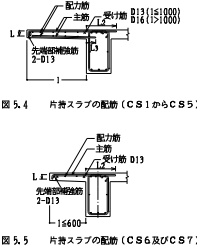
図 4.4 壁の打増し補強図

8. スラブ

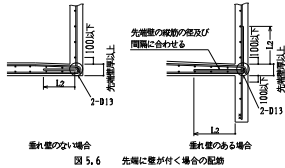
【スラブ筋の定着及び受け筋 〇下図による・図示】



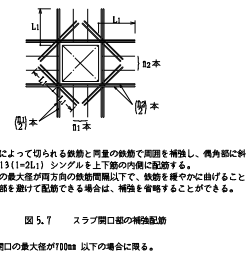
【片持スラブの配筋 〇下図による・図示】



【片持スラブ先端に壁が付く場合の配筋 〇下図による・図示】

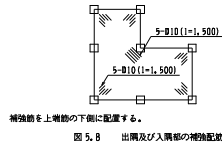


【スラブ開口部補強 〇下図による・図示】

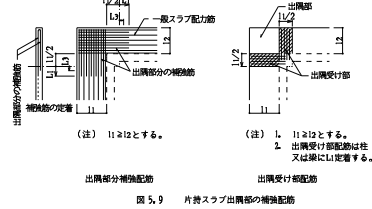


【出隅及び入隅部の補強配筋 〇下図による・図示】

(1) 屋根スラブの出隅及び入隅部

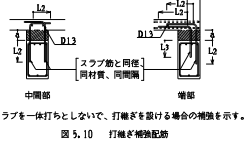


(2) 片持ちスラブの出隅部

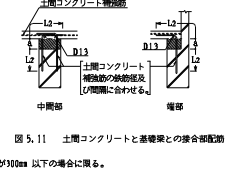


【スラブの打継ぎ補強配筋等 〇下図による・図示】

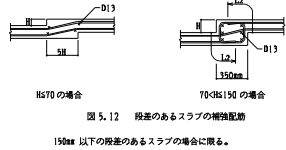
(1) 土間スラブの打継ぎ補強



(2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

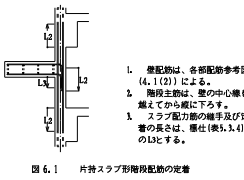
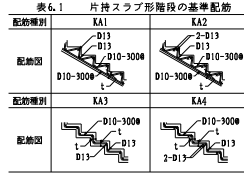


【段差のあるスラブの補強配筋 〇下図による・図示】



9. 階段

【片持スラブ階段の配筋 〇下図による・図示】



【二辺固定スラブ階段の配筋 〇下図による・図示】

表 6.2 二辺固定スラブ階段標準配筋

| 配筋種別 | 上端筋、下端筋とも（全域） |
|------|---------------|
| KB1 | D13-200φ |
| KB2 | D13-150φ |
| KB3 | D13-100φ |
| KB4 | D13, D14-150φ |
| KB5 | D14-150φ |
| KB6 | D14-125φ |
| KB7 | D14-100φ |

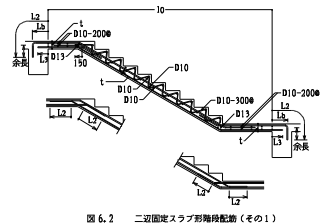


図 6.2 二辺固定スラブ階段配筋（その1）

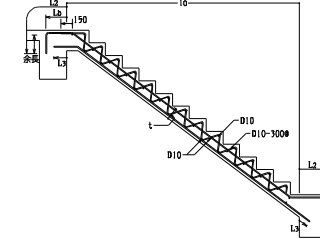


図 6.3 二辺固定スラブ階段配筋（その2）

10. 梁貫通孔の補強

【梁貫通孔の配筋 〇下図による・図示】

- 梁貫通孔補強筋の名称等は、図7.1による。
- 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこの外接円とする。
- 孔の上下方向の位置は、梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3（Dは梁せい）の範囲には設けてはならない。
- 孔は、柱面から原則として1.5D以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下横筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図7.2による。
- 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 溶接金網の引付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

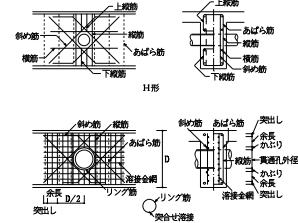


図 7.1 梁貫通孔補強筋の名称等

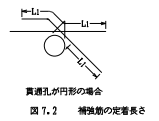


図 7.2 補強筋の定着長さ

【梁貫通孔の補強形式 〇下図による・図示】

表 7.1 H形配筋

| 配筋種別 | 斜め筋 | 縦筋 | 横筋 | 上下横筋 | 配筋図 |
|------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| H1 | なし | なし | なし | なし | [Diagram] |
| H2 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | | | [Diagram] |
| H3 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | | [Diagram] |
| H4 | 4-2-D16 | | | | [Diagram] |
| H5 | 4-2-D16 | | | | [Diagram] |
| H6 | 4-2-D19 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 3-2-D13 | [Diagram] |
| HT | 4-2-D22 | | | | [Diagram] |

(注) ……は、一般部分のあばら筋を示す。

表 7.2 M形配筋

| 配筋種別 | 縦筋 | 溶接金網 | 配筋図 |
|------|---------|-----------|-----------|
| M1 | 2-2-D13 | | [Diagram] |
| M2 | 4-2-D13 | | [Diagram] |
| M3 | 4-2-D13 | | [Diagram] |
| M4 | 6-2-D13 | 2-φ4-100φ | [Diagram] |

(注) ……は、一般部分のあばら筋を示す。

表 7.3 M形配筋

| 配筋種別 | 斜め筋 | 縦筋 | 溶接金網 | 配筋図 |
|------|---------|-----------|-----------|-----------|
| MH1 | なし | | | [Diagram] |
| MH2 | 2-2-D13 | | | [Diagram] |
| MH3 | 2-2-D13 | | | [Diagram] |
| MH4 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 2-φ4-100φ | [Diagram] |
| MH5 | 4-2-D16 | | | [Diagram] |
| MH6 | 4-2-D16 | | | [Diagram] |
| MH7 | 4-2-D19 | 2-φ4-100φ | | [Diagram] |

(注) ……は、一般部分のあばら筋を示す。

*大巨匠による既成品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

鉄骨設計標準図

1. 溶接方法

溶接方法の種類は、アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接、セルフシールドアーク半自動溶接、サブマージアーク自動溶接、エレクトロスラグ溶接及びアークスタッド溶接とする。

2. 溶接継手

溶接継手の種類は、完全溶込み溶接、部分溶込み溶接、隅肉溶接及びフレア溶接とし、完全溶込み溶接の継手形状の種類は、突合わせ継手、T形継手及びかど継手とする。

3. 溶接記号

3.1 溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類記号

溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類記号は、表1により、溶接の補助記号は、表2による。

表1 溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類記号

| 分 | 類 | 記号 |
|------|-----------------------|----|
| 溶接方法 | アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接 | H |
| | セルフシールドアーク半自動溶接 | |
| | サブマージアーク自動溶接 | A |
| 溶接継手 | エレクトロスラグ溶接 | E |
| | 突合わせ継手 | B |
| | T形継手 | T |
| | かど継手 | L |
| 溶接面 | 隅肉溶接 | F |
| | 部分溶込み溶接 | P |
| | フレア溶接 | FL |
| 溶接面 | 片面溶接 | 1 |
| | 両面溶接 | 2 |

表2 溶接の補助記号

| 区 分 | 補 助 記 号 |
|-----------------------|---------|
| 現 場 溶 接 | P |
| 全 周 溶 接 | O |
| 全 周 現 場 溶 接 | OP |
| 断 続 溶 接 の 長 さ 及 び 間 隔 | L-P |

3.2 溶接記号の記載方法

溶接記号の記載方法は、図1による。

ただし、溶接方法又は溶接面の指定を行わない場合は、溶接継手記号のみを記入する。完全溶込み溶接及び部分溶込み溶接の場合は、引出線を折線とし、開先をとる部材面に先端を向けるものとする。

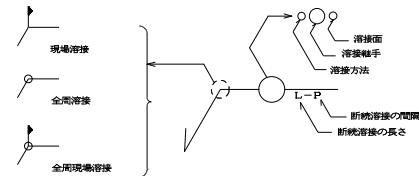
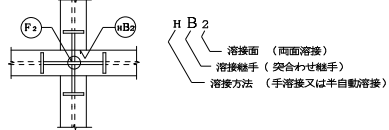


図1 溶接記号の記載方法

(解説：記載例)

溶接記号の記載は、下図に倣い、溶接方法、溶接継手及び溶接面の記号を記入する。



溶接記号の記載方法の例

4. 溶接継手の種類別開先標準

4.1 完全溶込み溶接

(1) 突合わせ継手 (B) の開先標準は、図2による。

(単位:mm)

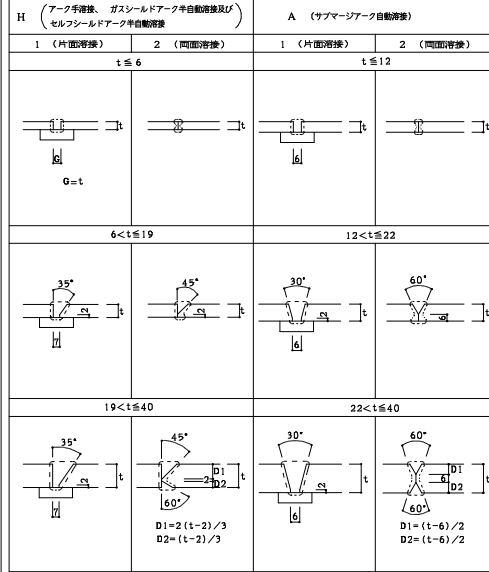


図2 突合わせ継手の開先標準

(2) T形継手 (T) の開先標準は、図3による。ただし、溶接される部材が直交しない場合の開先標準は、図4による。

(単位:mm)

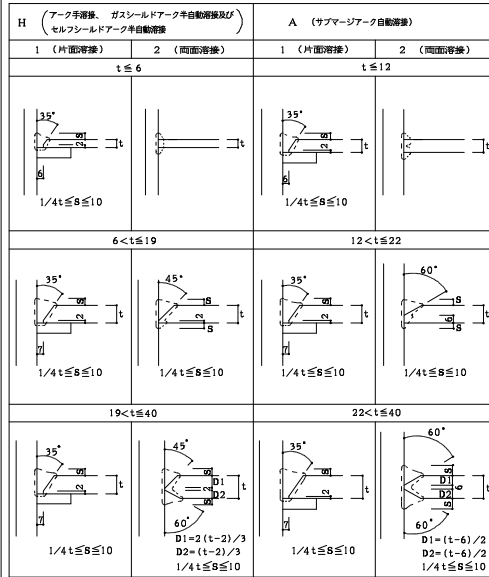


図3 T形継手の開先標準

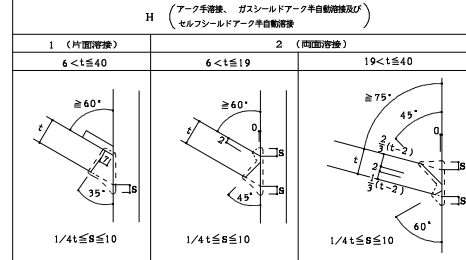


図4 部材が直交しない場合の開先標準

(3) かど継手 (L) の開先標準は、図5による。

(単位:mm)

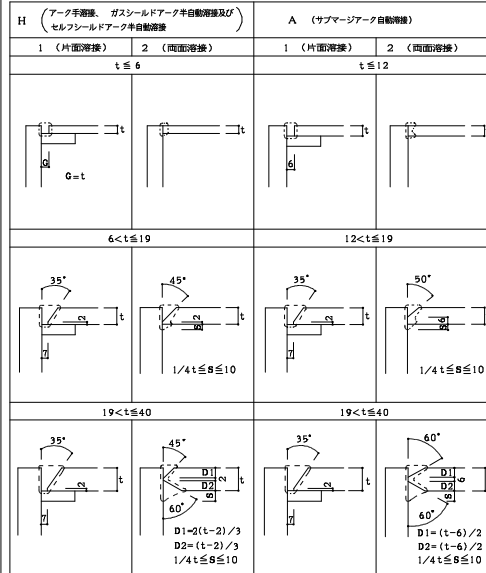


図5 かど継手の開先標準

4.2 隅肉溶接

隅肉溶接 (F) の開先標準は、図6により、サイズ (S) は、表3による。

(単位:mm)

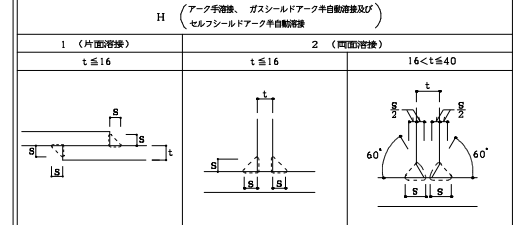


図6 隅肉溶接の開先標準

表3 隅肉溶接のサイズ

(単位:mm)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| t | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 19 | 22 | 25 | 28 | 32 | 36 | 40 |
| S | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 10 | 11 | 12 | 13 | 15 | 17 | 19 | 21 | 24 | | | |

4.3 部分溶込み溶接

部分溶込み溶接 (P) の開先標準は、図7による。

片面溶接を行う場合には、原則として部分溶込み溶接を行わない隅肉溶接を行う。

(単位:mm)

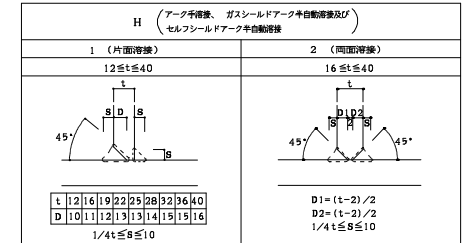


図7 部分溶込み溶接の開先標準

4.4 フレア溶接

フレア溶接 (FL) の開先標準は、図8による。

(単位:mm)

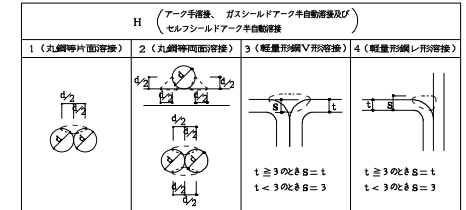


図8 フレア溶接の開先標準

5. 溶接施工

5.1 エンドタブ

エンドタブの材質は、母材と同等以上、形状は、母材と同厚・同開先のものとし、長さは、図9及び表4による。ただし、あらかじめ溶接端部に欠陥が生じないことが確認された材質及び形状のものを用いる場合については、この限りでない。

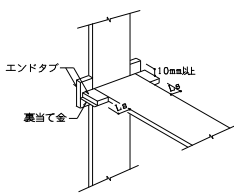


表4 エンドタブの長さ (単位:mm)

| 溶接方法 | Le |
|-------|------|
| 手溶接 | 35以上 |
| 半自動溶接 | 38以上 |
| 自動溶接 | 70以上 |

図9 エンドタブ

5.2 裏当て金及び裏はつり

(1) 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は、原則としてフランジの内側に設置し、取付け方法は、図10による。裏当て金の粗立溶接は、接合部に悪影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行う。

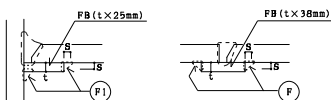


図10 裏当て金の溶接

(2) 裏当て金の厚さ及び隅肉溶接のサイズは、表5及び表6により、材質は、原則として母材と同等以上のものとする。

表5 裏当て金の長さ (単位:mm)

| 溶接方法 | t |
|-------|------|
| 手溶接 | 6以上 |
| 半自動溶接 | 9以上 |
| 自動溶接 | 12以上 |

表6 溶接のサイズ (単位:mm)

| 裏当て金の厚さ | S |
|---------|---|
| t ≤ 9 | 5 |
| t > 9 | 9 |

(3) 完全溶込み溶接を両面溶接とする場合は、裏溶接の前に裏はつりを行う。裏はつりは、健全な溶着部分が見られるまではつり取るものとする。ただし、自動溶接において、完全な溶込みが確認されたことが確認できる場合には、裏はつりを省略することができる。

5.3 スクラップ

(1) 改良型スクラップの形状は、図11により、スクラップ半径 Sr_1 は35mm、 Sr_2 は10mmとする。スクラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。

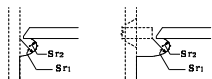


図11 改良型スクラップ

(2) 従来型スクラップの形状は、図12により、スクラップ半径 Sr は35mmとする。



図12 従来型スクラップ

5.4 スニップカット

溶接の交差部をスニップカットで処理する場合は図13により、スニップカットの寸法 (Sc) は、鋼材の板厚に応じて、表7による。ただし、既成形鋼のスニップカットについては、 $Sc = t + 2$ により求めるものとする。

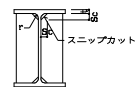


図13 スニップカット

表7 スニップカットの寸法 (単位:mm)

| t | 6 | 9 | 12 | 16以上 |
|----|----|----|----|------|
| Sc | 10 | 12 | 14 | 15 |

5.5 溶接部分の段差

完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段差が10mmを超える場合は、図14による。

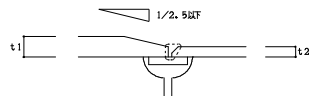


図14 溶接部分の段差

5.6 余盛り

(1) 完全溶込み溶接 (突合せ継手、かど継手)、隅肉溶接及びフレア溶接の溶接部は、余盛りを行うものとする。余盛り高さの限度は、表8による。

表8 余盛り高さの限度 (単位:mm)

| 溶接継手 | 溶接方法 | 余盛り高さの限度 |
|---------------|-------|----------|
| 突合せ継手 かど継手 | 手溶接 | 3 |
| | 半自動溶接 | 4 |
| | 自動溶接 | 4 |
| 隅肉溶接 フレア溶接 | 手溶接 | 3 |
| | 半自動溶接 | 3 |

(2) 完全溶込み溶接 (T型継手) の溶接部は、ビード表面が滑らかになるように仕上げを行うものとする。

5.7 鋼管分岐継手

鋼管分岐継手における支管は、主管外径より相径のものとし、開先標準は、図15による。ただし、自働機械により開先加工を行う場合については、この限りではない。

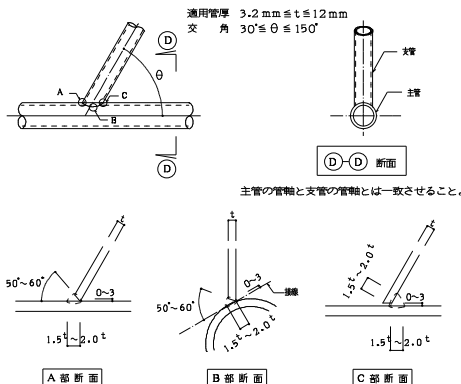


図15 鋼管分岐継手 詳細 (単位:mm)

5.8 スタッド溶接

- スタッド溶接は、アークスタッド溶接方式による直接溶接とし、溶接姿勢は下向きを原則とする。
- スタッド溶接用材料は、JIS B 1198「挿付きスタッド」の規格に適合するものとし、適用する呼び名は、13、16、19及び22の4種類とする。
- スタッド溶接は、デッキプレート上から行ってはならない。ただし、デッキプレート厚16mm以下で、あらかじめ良好な溶接が得られることが確認された場合については、この限りではない。
- スタッドの間隔、ゲージ等の寸法は、表9及び図16による。

表9 スタッドの間隔、ゲージ等の寸法

| 項目 | 寸法 |
|-----------|---------------------|
| 間隔 (P) | 呼び名の7.5倍以上かつ600mm以下 |
| 最小ゲージ (E) | 呼び名の5倍以上 |
| へり高さ (ei) | 40mm以上 |

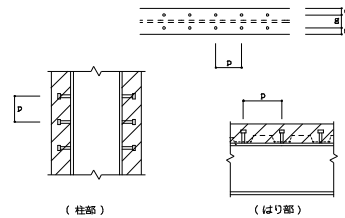


図16 スタッドの配置



H形鋼

F値 235N/mm² H-150x150x7x10~H-912x302x18x34 用
F値 325N/mm² 以下 H-200x200x8x12~H-600x300x16x32 用

(財)日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-17」(平成30年9月21日付)

ベースバック柱脚工法 設計 標準図 1/2

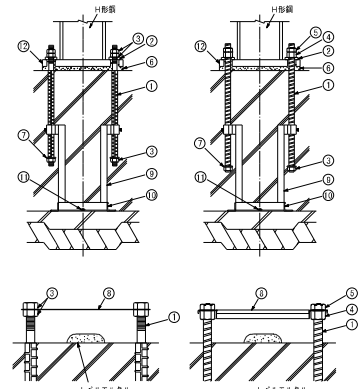
●ベースバック柱脚工法の設計は「ベースバック柱脚工法設計ハンドブック」による。
●本標準図は1/2~2/2で構成されている。

岡部株式会社 旭化成建材株式会社
TEL03 (3624) 5336 TEL03 (3296) 3515

2019年1月作成

1. 工法概要

1.1 構成部材

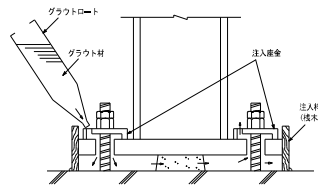


レベレモニタル (ベースバックグラウト) (Mアンカーボルトタイプ) (Dアンカーボルトタイプ)

- ① アンカーボルト
- ② 注入座金
- ③ Mナット
- ④ Dナット(S)
- ⑤ ベースバックグラウト(グラウト材)
- ⑥ 定着座金
- ⑦ アンプレート
- ⑧ フレームポスト
- ⑨ フレームベース
- ⑩ スチコンアンカー(コンクリートアンカー)
- ⑪ ベースプレート

(注)上段①~⑥の構成部材はベースバック構法部品として供給される。
(注)上段⑦~⑪は構造状況により仕様異なる場合がある。

1.2 柱脚の定着方法概要



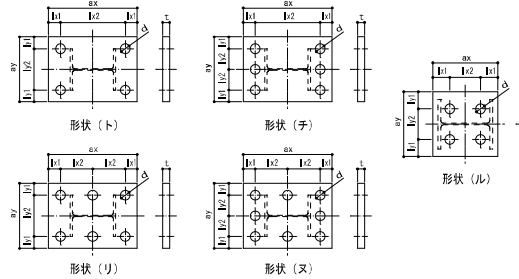
2. 柱

| F値(N/mm ²) | 鋼種 | 採用 |
|------------------------|--------|----|
| 235 | SS400 | ○ |
| | SN400B | |
| | SM490 | |
| 325 | SN490B | ○ |
| | SN490B | |

3. 構成部材・寸法

3.1 ベースプレート

●材質
SN490B (JIS G 3136)
BT-HT440B-SP (建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣指定材料) (建築構造用高強度高性能鋼S90N/mm²鋼材)
TMCP325B (建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣指定材料) (建築構造用TMCP鋼板)



3.2 アンカーボルト

●Mアンカーボルト (建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣指定材料)

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

| 呼び | 規格品 | L | X | b ^(B) | 基準強度(N/mm ²) |
|-----|-----|----------|----|------------------|--------------------------|
| M27 | D29 | 650 | 45 | 128 | 490 |
| M30 | D32 | 695 | 45 | 133 | 490 |
| M33 | D35 | 690, 735 | 45 | 95, 140 | 490 |
| M36 | D38 | 770 | 60 | 130 | 490 |

ii) アンカーフレーム Hタイプの場合

| 呼び | 規格品 | L | X | 基準強度(N/mm ²) |
|-----|-----|-----|----|--------------------------|
| M30 | D32 | 695 | 45 | 490 |
| M33 | D35 | 720 | 45 | 490 |
| M36 | D38 | 770 | 60 | 490 |

注1) 掘付け高さが高い場合に短いアンカーボルトを使用する。

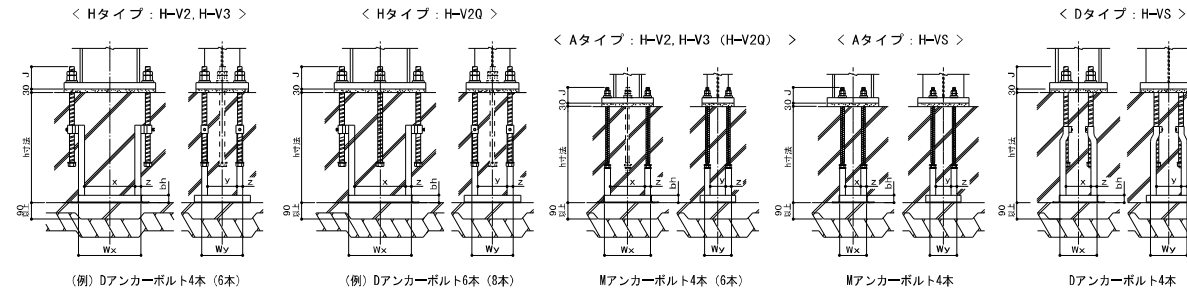
●Dアンカーボルト

iii) アンカーフレーム Dタイプ・Hタイプの場合

| 呼び | L | b | 掘付け高さ | 基準強度(N/mm ²) |
|------|------|----|-------|--------------------------|
| D38 | 850 | 46 | M33 | 390 |
| D41 | 900 | 49 | M36 | 390 |
| D41H | 995 | 49 | M36 | 490 |
| D51 | 1110 | 57 | M45 | 390 |
| D51H | 1215 | 57 | M45 | 490 |

3.7 アンカーフレーム形状および掘付け時寸法

●ベースバックの掘付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。掘付けに最低限必要な高さ(最低寸法)は「H形鋼用ベースバック柱脚工法設計施工標準図2/2」に記載の値とする。



(例) Dアンカーボルト4本 (6本) (例) Dアンカーボルト6本 (8本) Mアンカーボルト4本 (6本) Mアンカーボルト4本 Dアンカーボルト4本

3.3 Mナット・Dナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣指定材料】

| 呼び | A | B | (a) |
|-----|----|----|-----|
| M27 | 22 | 41 | 47 |
| M30 | 24 | 46 | 53 |
| M33 | 26 | 50 | 58 |
| M36 | 29 | 55 | 64 |
| M45 | 36 | 70 | 81 |
| D38 | 45 | 65 | 75 |
| D41 | 48 | 70 | 80 |
| D51 | 60 | 80 | 92 |
| D38 | 30 | 95 | 75 |
| D41 | 32 | 70 | 80 |
| D51 | 40 | 80 | 92 |

3.5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣指定材料, SS400】

i) Mアンカーボルト用

| 記号 | 適用アンカーボルト | a1 | a2 | c | t | d |
|------|-----------|----|----|----|----|----|
| PM27 | M27 | 32 | 42 | 10 | 18 | 28 |
| PM30 | M30 | 32 | 42 | 10 | 18 | 31 |
| PM33 | M33 | 35 | 45 | 11 | 18 | 34 |
| PM36 | M36 | 35 | 45 | 11 | 18 | 37 |

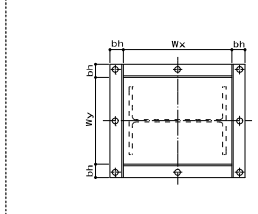
ii) Dアンカーボルト用

| 記号 | 適用アンカーボルト | a | c | t | d |
|------|-----------|-----|-----|----|----|
| PD38 | D38 | 96 | 122 | 20 | 43 |
| PD41 | D41, D41H | 100 | 127 | 20 | 46 |
| PD51 | D51, D51H | 110 | 140 | 20 | 58 |

3.4 定着座金

| 適用アンカーボルト | R | t | d | 材質 |
|-----------|----|----|----|-------|
| M27 | 55 | 9 | 28 | SS400 |
| M30 | 55 | 9 | 31 | |
| M33 | 60 | 9 | 34 | |
| M36 | 65 | 12 | 37 | SS490 |
| D38 | 65 | 12 | 37 | |
| D41, D41H | 70 | 12 | 37 | |
| D51, D51H | 85 | 12 | 46 | |

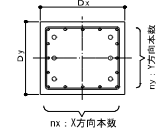
3.6 フレームベース



4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質

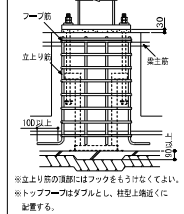
●形状
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースバック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。



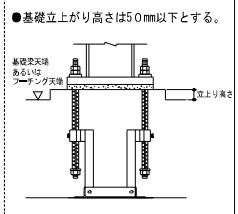
●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は「H形鋼用ベースバック柱脚工法設計施工標準図2/2」に記載の値とする。
(注) 設計基準強度が21N/mm²以上の仕様と24N/mm²以上の仕様があります。特記に明記願います。

●鉄筋
SD295 (D10, D13, D16)、SD345 (D19, D22, D25)

4.2 配筋



4.3 基礎立上がり



5. 工場製作 (溶接)

■組立

- ベースプレートの中心線(φ)特線)に柱材軸心を合わせる。
- 溶接方法 (完全溶込み溶接)
- 完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の規格参照表 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

| 図 | 溶接方法 | 溶接厚 (mm) | 溶接長さ (mm) | | 溶接位置 | | 溶接仕様 |
|---------|------|----------|-----------|-----|-------|--------|------|
| | | | 標準値 | 許容値 | 標準値 | 許容値 | |
| 溶接アール溶接 | 6~ | 7 | -2,+2 | 2 | -2,+1 | α1: 45 | 向向き |
| | | 9 | -2,+2 | 2 | -2,+1 | α1: 35 | |
| 溶接アール溶接 | 6~ | 6 | -2,+2 | 2 | -2,+1 | α1: 45 | 向向き |
| | | 7 | -2,+2 | 2 | -2,+1 | α1: 35 | |

許容値・記号αは制約無しを示す。
*図書きは「設計仕様書基準」に規定する許容値(上段: 標準許容値、下段: 許容値)を示す。

■ベースプレートの予熱

●気温(鋼材表面温度)が5℃以上のベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

| 溶接方法 | 鋼種 | 板厚 (mm) |
|---------------|--------------|--------------|
| 海水系高強度アール溶接 | SN490B | 32 ≤ t < 40 |
| | BT-HT440B-SP | 50 |
| | TMCP325B | 40 ≤ t ≤ 50 |
| 0.05炭素当量アール溶接 | SN490B | 50 < t ≤ 75 |
| | BT-HT440B-SP | 75 < t ≤ 100 |
| | TMCP325B | 50 |

■検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。



H形鋼
F値235N/mm² H-150x150x7x10~H-912x302x18x34 用
F値325N/mm²以下 H-200x200x8x12~H-600x300x16x32 用

(財)日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-17」(平成30年9月21日付)

●ベースバック柱脚工法の設計は
「ベースバック柱脚工法設計ハンドブック」による。
●本標準図は1/2~2/2で構成されている。

岡部株式会社 旭化成建材株式会社
TEL03 (3624) 5336 TEL03 (3296) 3515

2019年1月作成

ベースバック柱脚工法 設計標準図 2/2

6. 工事場施工

6.1 基礎工事

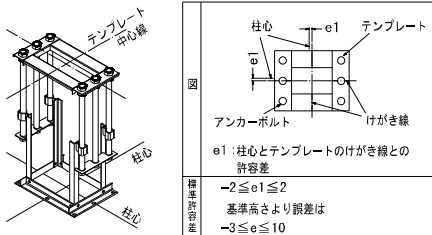
●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



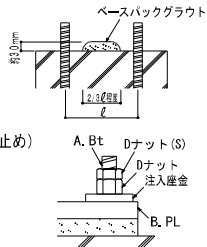
6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6.4 建方

●レベルメタルはベースバックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。



6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

●Dナット(S)による弛み止めは右図による。

6.6 ベースバックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

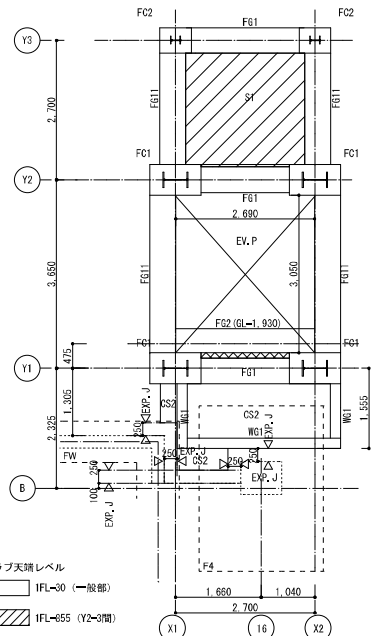
7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

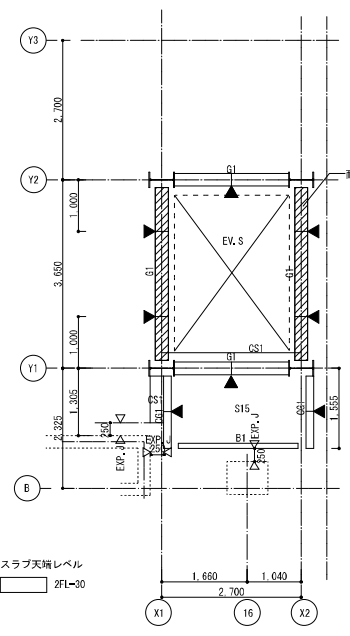
●本工法のうち6.2アンカーボルト据付け及び6.6ベースバックグラウトの注入は、ベースバック施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースバック施工管理技術者+施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

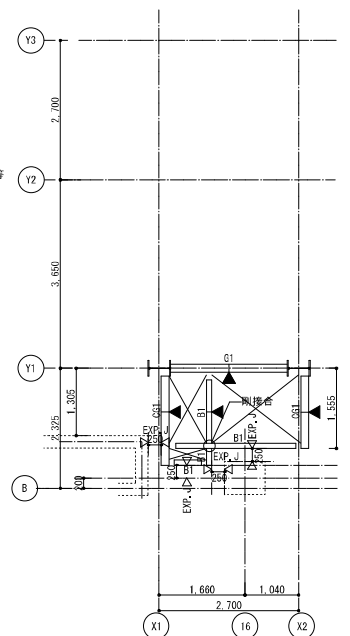
| 種別 | 採用 | ベースバック記号 | 材質 | 形状 | ベースプレート | | | | | | | | | | | アンカーボルト | | コンクリート柱型 | | | | フレームベース | | | フレームポスト | | | 標準寸法 | | 寸法 | | |
|------------|----------------|-------------|--------------|-----|---------|-----|------|-----|-----|-----|--------|-----|------------|--------|-----------|---------|--------------------------|----------|---------|------|-----|----------------------------|--------|--------|---------|------|-----|------|-----|----|---|---|
| | | | | | 寸法(mm) | | | | | | | | | | | 本数・呼び | 基準強度(N/mm ²) | 寸法(mm) | | 配筋 | | 設計基準強度(N/mm ²) | カラムサイズ | 寸法(mm) | | | x | y | z | | | |
| | | | | | ax | ay | t | lx1 | lx2 | ly1 | ly2 | d | Dx | Dy | 本数・呼び | | | nx(本) | ny(本) | フープ筋 | W× | | | Wy | bh | x | | | | | y | z |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H-V2 | 柱材 F値2.3.5用 | H1515-10V2 | SN490B | (ト) | 360 | 250 | 28 | 50 | 260 | 50 | 150 | φ45 | 4-M27 | 490 | 560 × 450 | 12-016 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | A | 310 | 200 | 50 | 210 | 100 | 50 | 550 | 135 | | | |
| | | H1717-11V2 | SN490B | (ト) | 380 | 260 | 28 | 50 | 280 | 50 | 160 | φ45 | 4-M27 | 490 | 580 × 460 | 12-016 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | A | 330 | 210 | 50 | 230 | 110 | 50 | 550 | 135 | | | |
| | | H2015-09V2 | SN490B | (ト) | 410 | 300 | 32 | 50 | 310 | 50 | 200 | φ45 | 4-M27 | 490 | 610 × 500 | 12-016 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | A | 360 | 250 | 50 | 260 | 150 | 50 | 550 | 135 | | | |
| | | H2020-12V2 | SN490B | (ト) | 410 | 300 | 32 | 50 | 310 | 50 | 200 | φ45 | 4-M27 | 490 | 610 × 500 | 12-016 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | A | 360 | 250 | 50 | 260 | 150 | 50 | 550 | 135 | | | |
| | | H2512-09V2 | SN490B | (ト) | 460 | 260 | 32 | 50 | 360 | 50 | 160 | φ45 | 4-M27 | 490 | 660 × 460 | 12-016 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | A | 410 | 210 | 50 | 310 | 110 | 50 | 550 | 135 | | | |
| | | H2517-11V2 | SN490B | (ト) | 460 | 260 | 32 | 50 | 360 | 50 | 160 | φ45 | 4-M27 | 490 | 660 × 460 | 12-016 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | A | 410 | 210 | 50 | 310 | 110 | 50 | 550 | 135 | | | |
| | | H2525-14V2 | SN490B | (ト) | 460 | 350 | 36 | 50 | 360 | 50 | 250 | φ50 | 4-M33 | 490 | 660 × 550 | 12-019 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | A | 410 | 300 | 50 | 310 | 200 | 50 | 600 | 135 | | | |
| | | H3015-09V2 | SN490B | (ト) | 510 | 300 | 36 | 50 | 410 | 50 | 200 | φ45 | 4-M30 | 490 | 690 × 490 | 10-019 | 4 | 3 | D13#100 | 21以上 | H | 302 | 250 | 50 | 202 | 150 | 50 | 600 | 135 | | | |
| | | H3020-12V2 | SN490B | (ト) | 510 | 300 | 36 | 50 | 410 | 50 | 200 | φ45 | 4-M30 | 490 | 690 × 490 | 10-019 | 4 | 3 | D13#100 | 21以上 | H | 302 | 250 | 50 | 202 | 150 | 50 | 600 | 135 | | | |
| | | H3030-15V2 | SN490B | (ト) | 510 | 400 | 40 | 50 | 410 | 50 | 150 | φ50 | 6-M33 | 490 | 690 × 590 | 14-019 | 5 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 296 | 350 | 50 | 196 | 250 | 50 | 650 | 135 | | | |
| | | H3517-11V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 620 | 400 | 40 | 65 | 490 | 75 | 250 | φ50 | 4-M33 | 490 | 770 × 540 | 12-019 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 376 | 300 | 50 | 276 | 200 | 50 | 650 | 135 | | | |
| | | H3525-14V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 620 | 400 | 40 | 65 | 490 | 75 | 250 | φ50 | 4-M33 | 490 | 770 × 540 | 12-019 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 376 | 300 | 50 | 276 | 200 | 50 | 650 | 135 | | | |
| | | H3535-19V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 620 | 500 | 44 | 65 | 490 | 75 | 175 | φ60 | 6-D38 | 390 | 780 × 640 | 14-022 | 5 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 370 | 400 | 65 | 270 | 300 | 50 | 750 | 180 | | | |
| | | H4020-19V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 640 | 320 | 44 | 65 | 540 | 60 | 200 | φ55 | 4-M36 | 490 | 820 × 490 | 12-019 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 422 | 250 | 50 | 322 | 150 | 50 | 650 | 150 | | | |
| | | H4030-16V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 670 | 430 | 44 | 65 | 540 | 65 | 300 | φ60 | 4-D38 | 390 | 830 × 590 | 12-022 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 418 | 350 | 65 | 318 | 250 | 50 | 750 | 180 | | | |
| | | H4040-21V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 670 | 560 | 48 | 65 | 540 | 80 | 200 | φ65 | 6-D41 | 390 | 830 × 700 | 16-022 | 5 | 5 | D13#100 | 21以上 | H | 418 | 450 | 65 | 318 | 350 | 50 | 800 | 190 | | | |
| | | H4040-28V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 710 | 570 | 60 | 70 | 570 | 80 | 205 | φ75 | 6-D51 | 390 | 930 × 790 | 22-022 | 7 | 6 | D13#100 | 21以上 | H | 438 | 490 | 65 | 308 | 360 | 65 | 900 | 230 | | | |
| | | H4520-25V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 740 | 340 | 52 | 70 | 600 | 70 | 200 | φ65 | 4-D41 | 390 | 890 × 490 | 12-022 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 474 | 250 | 65 | 374 | 150 | 50 | 800 | 190 | | | |
| | | H4530-18V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 740 | 440 | 48 | 70 | 600 | 70 | 300 | φ65 | 4-D41 | 390 | 890 × 590 | 14-022 | 5 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 474 | 350 | 65 | 374 | 250 | 50 | 800 | 190 | | | |
| | | H5020-25V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 810 | 340 | 52 | 75 | 660 | 70 | 200 | φ65 | 4-D41 | 390 | 950 × 490 | 12-022 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 538 | 250 | 65 | 438 | 150 | 50 | 800 | 190 | | | |
| | | H5030-19V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 810 | 440 | 48 | 75 | 660 | 70 | 150 | φ60 | 6-D38 | 390 | 950 × 590 | 14-022 | 5 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 538 | 350 | 65 | 438 | 250 | 50 | 750 | 180 | | | |
| H5030-22V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 810 | 440 | 60 | 75 | 660 | 70 | 150 | φ65 | 6-D41 | 390 | 950 × 600 | 14-025 | 5 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 538 | 350 | 65 | 438 | 250 | 50 | 800 | 190 | | | | | |
| H6030-32V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 910 | 450 | 65 | 75 | 760 | 75 | 150 | φ75 | 6-D51 | 390 | 1100 × 640 | 18-025 | 6 | 5 | D16#100 | 21以上 | H | 628 | 380 | 65 | 498 | 250 | 65 | 900 | 230 | | | | | |
| H7030-28V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 1010 | 450 | 65 | 75 | 860 | 75 | 150 | φ75 | 6-D51 | 390 | 1200 × 640 | 18-025 | 6 | 5 | D16#100 | 21以上 | H | 728 | 380 | 65 | 598 | 250 | 65 | 900 | 230 | | | | | |
| H8030-26V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 1150 | 450 | 60 | 95 | 960 | 75 | 150 | φ75 | 6-D51 | 390 | 1290 × 640 | 18-025 | 6 | 5 | D16#100 | 21以上 | H | 828 | 380 | 65 | 698 | 250 | 65 | 900 | 230 | | | | | |
| H9030-28V2 | BT-HT440B-SP | (ト) | 1260 | 460 | 65 | 100 | 1060 | 80 | 150 | φ75 | 6-D51 | 390 | 1400 × 640 | 24-025 | 9 | 5 | D16#90 | 24以上 | H | 928 | 380 | 65 | 798 | 250 | 65 | 900 | 230 | | | | | |
| H9030-34V2 | TMCP325B | (ト) | 1260 | 500 | 75 | 100 | 1060 | 100 | 150 | φ75 | 6-D51H | 490 | 1420 × 660 | 28-025 | 10 | 6 | D16#90 | 24以上 | H | 928 | 380 | 65 | 798 | 250 | 65 | 1000 | 235 | | | | | |
| H-V20 | 柱材 F値2.3.5用 | H2020-12V2Q | SN490B | (ト) | 410 | 300 | 32 | 50 | 155 | 50 | 200 | φ45 | 6-M27 | 490 | 610 × 500 | 12-019 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | A | 360 | 250 | 50 | 260 | 150 | 50 | 550 | 135 | | | |
| | | H2525-14V2Q | SN490B | (ト) | 460 | 350 | 36 | 50 | 180 | 50 | 250 | φ50 | 6-M33 | 490 | 660 × 550 | 14-019 | 5 | 4 | D13#100 | 21以上 | A | 410 | 300 | 50 | 310 | 200 | 50 | 600 | 135 | | | |
| | | H3020-12V2Q | SN490B | (ト) | 510 | 300 | 36 | 50 | 205 | 50 | 200 | φ45 | 6-M30 | 490 | 680 × 490 | 12-019 | 4 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 302 | 250 | 50 | 202 | 150 | 50 | 600 | 135 | | | |
| | | H3030-15V2Q | SN490B | (ト) | 510 | 400 | 36 | 50 | 205 | 50 | 150 | φ50 | 6-M33 | 490 | 690 × 590 | 14-022 | 5 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 296 | 350 | 50 | 196 | 250 | 50 | 650 | 135 | | | |
| | | H3525-14V2Q | BT-HT440B-SP | (ト) | 620 | 400 | 40 | 65 | 245 | 75 | 250 | φ50 | 6-M33 | 490 | 770 × 540 | 14-019 | 5 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 376 | 300 | 50 | 276 | 200 | 50 | 650 | 135 | | | |
| | | H3535-19V2Q | BT-HT440B-SP | (ト) | 620 | 500 | 40 | 65 | 245 | 75 | 175 | φ60 | 6-D38 | 390 | 780 × 640 | 18-022 | 6 | 5 | D13#100 | 21以上 | H | 370 | 400 | 65 | 270 | 300 | 50 | 750 | 180 | | | |
| | | H4020-19V2Q | BT-HT440B-SP | (ト) | 640 | 320 | 40 | 65 | 270 | 60 | 200 | φ55 | 6-M36 | 490 | 830 × 490 | 12-022 | 5 | 3 | D13#100 | 21以上 | H | 422 | 250 | 50 | 322 | 150 | 50 | 650 | 150 | | | |
| | | H4030-16V2Q | BT-HT440B-SP | (ト) | 670 | 430 | 40 | 65 | 270 | 65 | 300 | φ60 | 6-D38 | 390 | 830 × 590 | 14-022 | 5 | 4 | D13#100 | 21以上 | H | 418 | 350 | 65 | 318 | 250 | 50 | 750 | 180 | | | |
| | | H4040-21V2Q | BT-HT440B-SP | (ト) | 670 | 560 | 44 | 65 | 270 | 80 | 200 | φ65 | 8-D41 | 390 | 830 × 700 | 20-022 | 7 | 5 | D13#100 | 21以上 | H | 418 | 450 | 65 | 318 | 350 | 50 | 800 | 190 | | | |
| | | H4040-28V2Q | BT-HT440B-SP | (ト) | 710 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



1FL床伏図 A1:1/50, A3:1/100



2FL床伏図 A1:1/50, A3:1/100



4F EVホールRFL床伏図 A1:1/50, A3:1/100

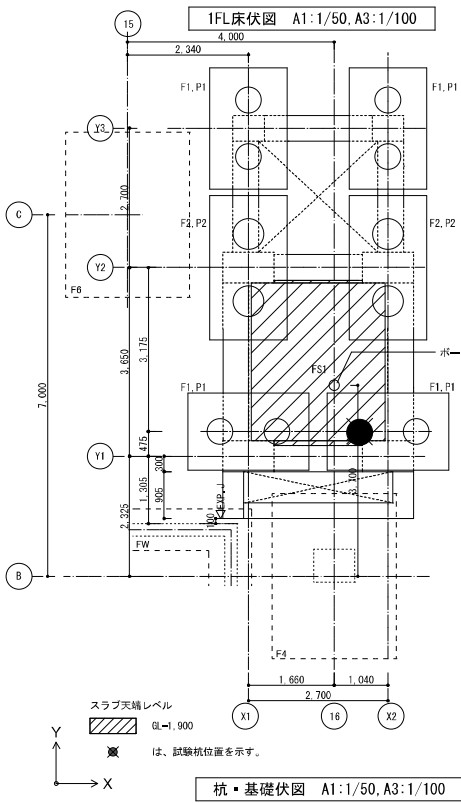
共通事項

特記なき限り下記による。

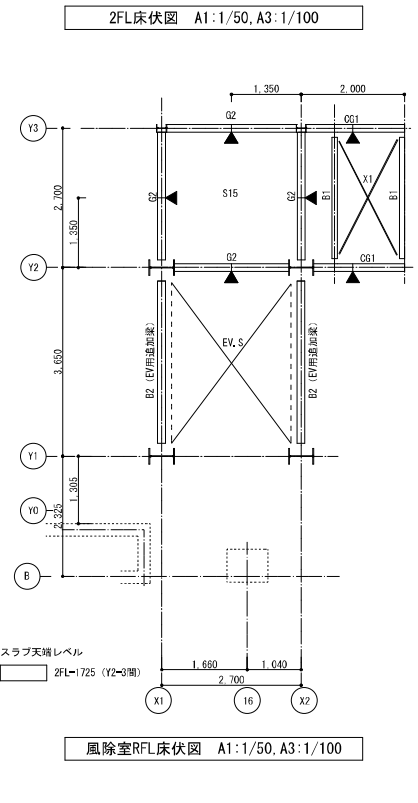
- 部材レベル
 - 基礎梁下端レベル GL=-2.400、(F52のみ3.200)
 - 基礎下端レベル GL=-3.400
 - 杭頭レベル GL=-3.300
- 鉄骨梁上端レベルは軸組図による。※部材符号の()内は部材上端レベルを示す。

- 記号
 - は、床開口を示す。
 - は、増打ち部分を示す。
 - は、継手位置を示す。
 - は、鉛直ブレースを示す。(Y1 L-75x75x9 5-M16)
 - は、水平ブレースを示す。(X1 L-M16 S-S1-S)
- エレベーター設置について
 - エレベーター設置に必要な鉄骨部材、ファスナープレート、その他支持部材の断面、配置はエレベーター詳細図による。
 - 鉄骨施工図作図に当たり、EVフラスタープレート、ジョイントプレートは位置確認、中心ビームの位置を立案者と事前協議すること。
- CS2元端部分とC1周囲の配筋要領

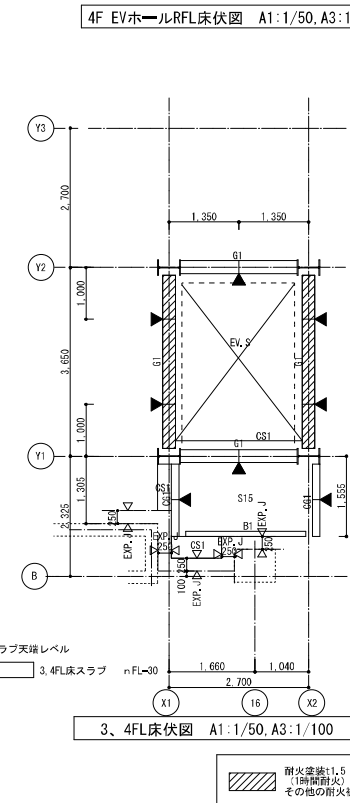
A1:1/30, A3:1/60



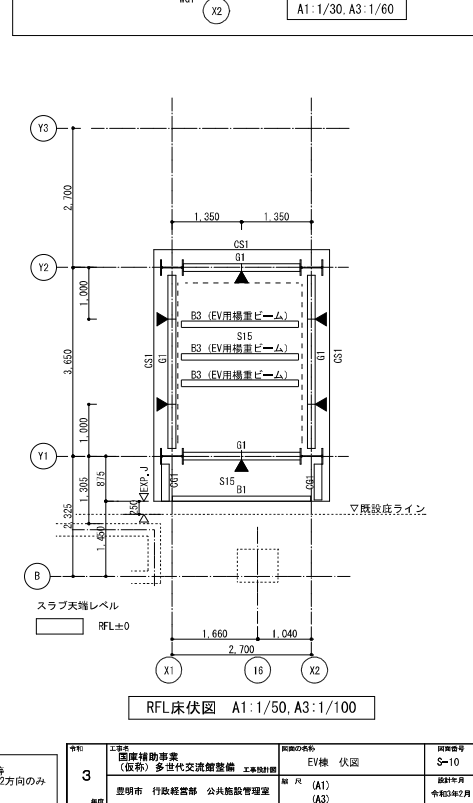
杭・基礎伏図 A1:1/50, A3:1/100



風除室RFL床伏図 A1:1/50, A3:1/100



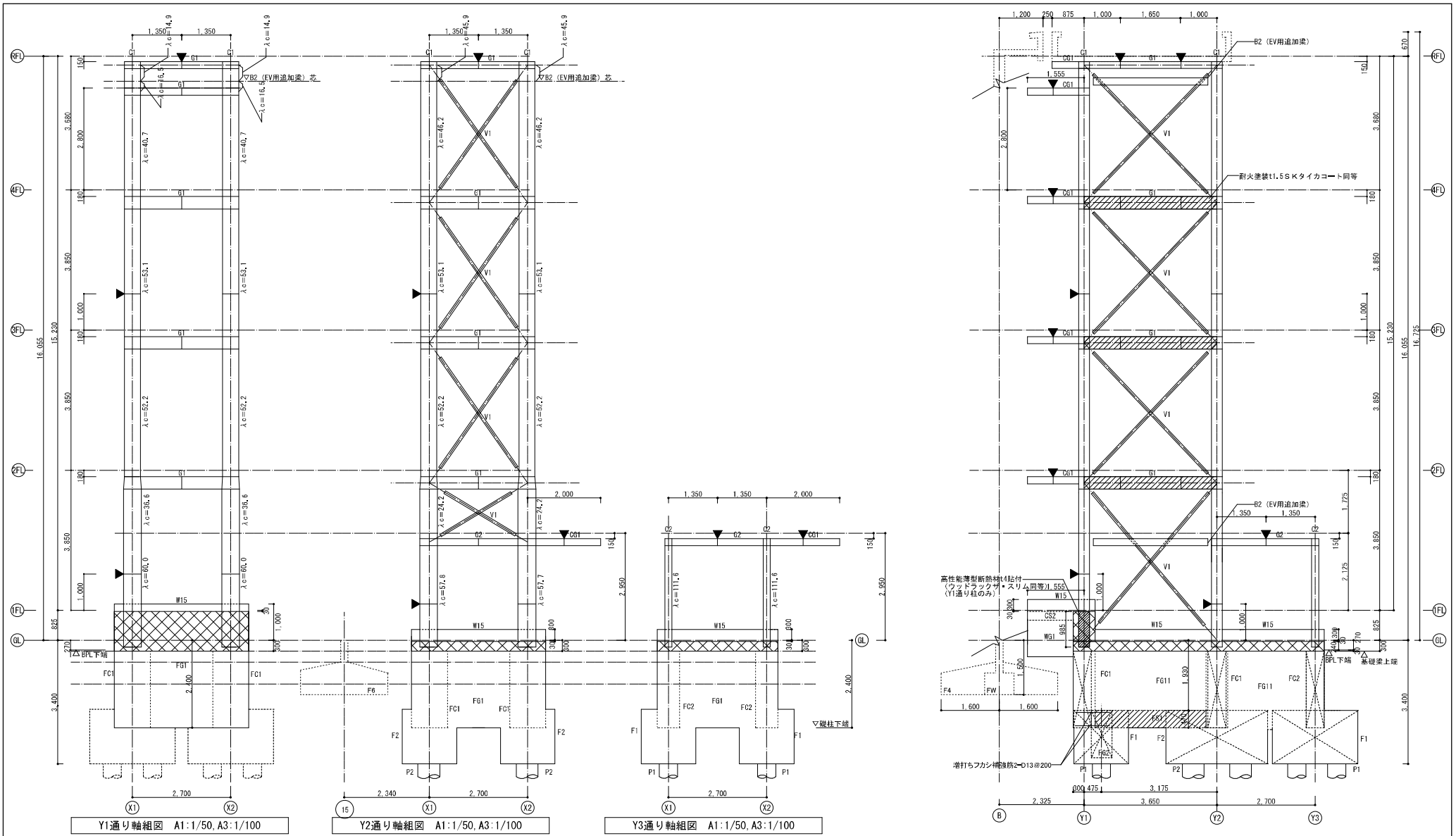
3、4FL床伏図 A1:1/50, A3:1/100



RFL床伏図 A1:1/50, A3:1/100

耐火塗装1.5 S Kタイコート同等 (尚耐火) 2~4階C1の床、Y1-Y2方向のみ
その他の耐火要領：意匠図による

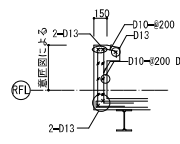
| | | | |
|---|-------------------------------------|---------------------|-----------------|
| 3 | 工種名 国庫補助事業 (仮称) 多世代交流館整備 工事設計 | 図面の名称 EV棟 伏図 | 図面番号 S-10 |
| | 発注者 豊明市 行政経営部 公共施設管理室 | 製 図 (A1) (A3) | 設計者 豊明市 令和3年 |
| | 製 図 豊明市 令和3年 | | |



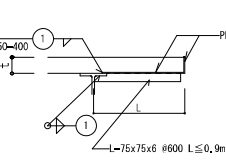
共通事項

- 特記なき限り下記による。
- 柱・大梁符号は上欄にならう。
 - 記号
 は、増打ち部分を示す。
 は、継手位置を示す。
 - 外装材受けの壁 (W15) は、 $t=150$ 、配筋: D10-200/200 (端部補強筋はD13) とする。

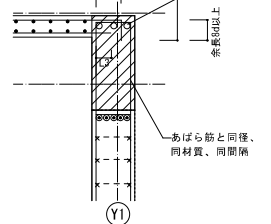
4. パラペット配筋詳細図



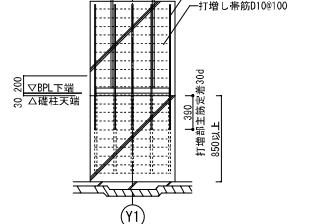
5. 床スラブはね出し部型枠補強要領



6. 基礎梁増打補強要領



7. 柱増打補強要領



耐火塗料t1.5 S Kタイココート同等 (1時間耐火) 2~4階G1の内、Y1~Y2方向のみ
 その他の耐火仕様: 意匠図による

| | | | |
|----|----------------------------|----|----------------------|
| 図名 | EV棟 軸組図 | 図番 | S-11 |
| 作成 | 国土補助事業 (仮称) 多世代交流館整備 事業設計室 | 規模 | 第1年度 令和3年度 |
| 作成 | 聖明市 行政経営部 公共施設管理室 | 縮尺 | (A1) 1/50 (A3) 1/100 |

| 杭断面表 | | | | | | |
|---|--------|---------|--------|----------------|---------------|-------------|
| 杭断面表 ・コンクリート強度 105N/mm ² ・工法 MAGNUM-EASIC工法 (γ=1.0) ・国土交通大臣認定: TACI-0507・0508・0509 | | | | | | |
| 杭符号 | 杭種 | 杭径 (mm) | 杭長 (m) | 長期許容支持力 (kN/本) | 初期引張耐力 (kN/本) | セット数 本杭・鉄筋杭 |
| P1 | PHC B種 | 500 | 7 m | 900 | 1000 | 8 |
| P2 | PHC B種 | 600 | 7 m | 1200 | 1200 | 4 |

杭頭補強要領 (ハイルスタッド溶接)

中詰めコンクリート (f_c=24N/mm²)

基礎底

ハイルスタッド

| 杭種 | ① (mm) | ② (mm) | ③ (mm) | ④ 杭頭補強筋 (mm) | ⑤ (mm) |
|----|--------|--------|--------|----------------|--------|
| P1 | 500 | 100 | 100 | 14-D19 (SD345) | 760 |
| P2 | 600 | 100 | 100 | 16-D19 (SD345) | 760 |

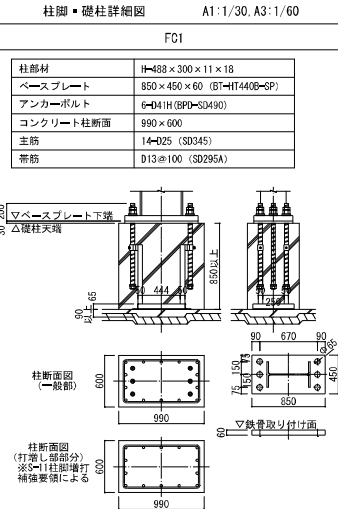
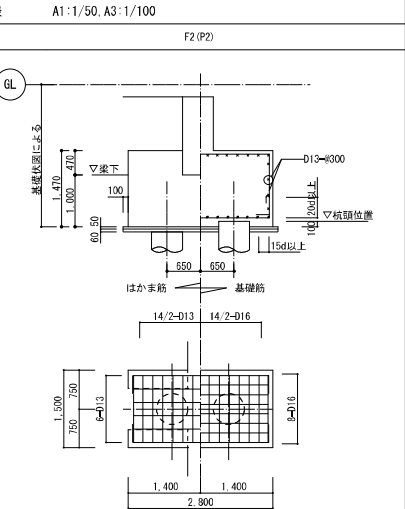
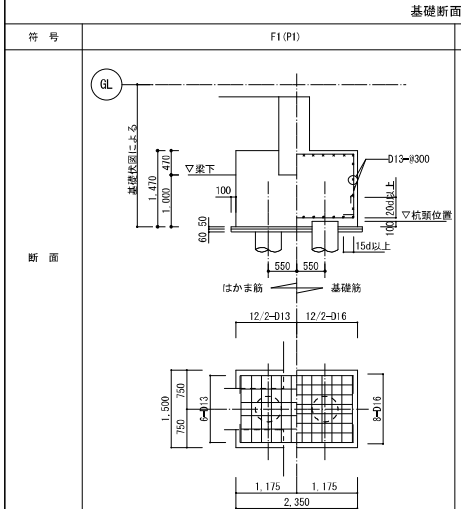
※ハイルスタッドを採用する上杭の杭頭厚は、10mm以上とする。

| 鉄骨柱断面表 | | | | | |
|--------|---------------------|--|---------------------|--|--|
| 階符号 | G1 | | G2 | | |
| 4F | H=440x300x11x18 | | | | |
| 3F | H=440x300x11x18 | | | | |
| 2F | H=440x300x11x18 | | | | |
| 1F | H=488x300x11x18 | | H=194x150x6x9 | | |
| 柱脚 | ベースバックH型 H5030-19V3 | | ベースバックH型 H2015-09V2 | | |

鉄骨柱断面表 共通事項
1. 材質は、SM400Bとする。

| 鉄骨梁断面表 | | | | | |
|--------|----------------|----|--|----|----|
| 階符号 | G1 | G2 | CG1 | 符号 | 断面 |
| RF | H=194x150x6x9 | | H=194x150x6x9 B1 H=200x100x5.5x8 (SS400) | | |
| 4F | H=340x250x9x14 | | H=194x150x6x9 B2 H=194x150x6x9 (SS400) (EV用) | | |
| 3F | H=340x250x9x14 | | H=194x150x6x9 B3 H=125x125x6.5x9 (SS400) (EV用) | | |
| 2F | H=340x250x9x14 | | H=194x150x6x9 | | |

鉄骨梁断面表 共通事項
1. 材質は、SM400Bとする。
2. スタッドコネクタ Z-19φ#200 H=100 スラブの取付く薬に適用する。



基礎梁断面表 A1:1/50, A3:1/100

| 符号 | 位置 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| FG1 | 全断面 | | | | |
| FG2 | 全断面 | | | | |
| FG11 | 全断面 | | | | |
| WG1 | 全断面 | | | | |

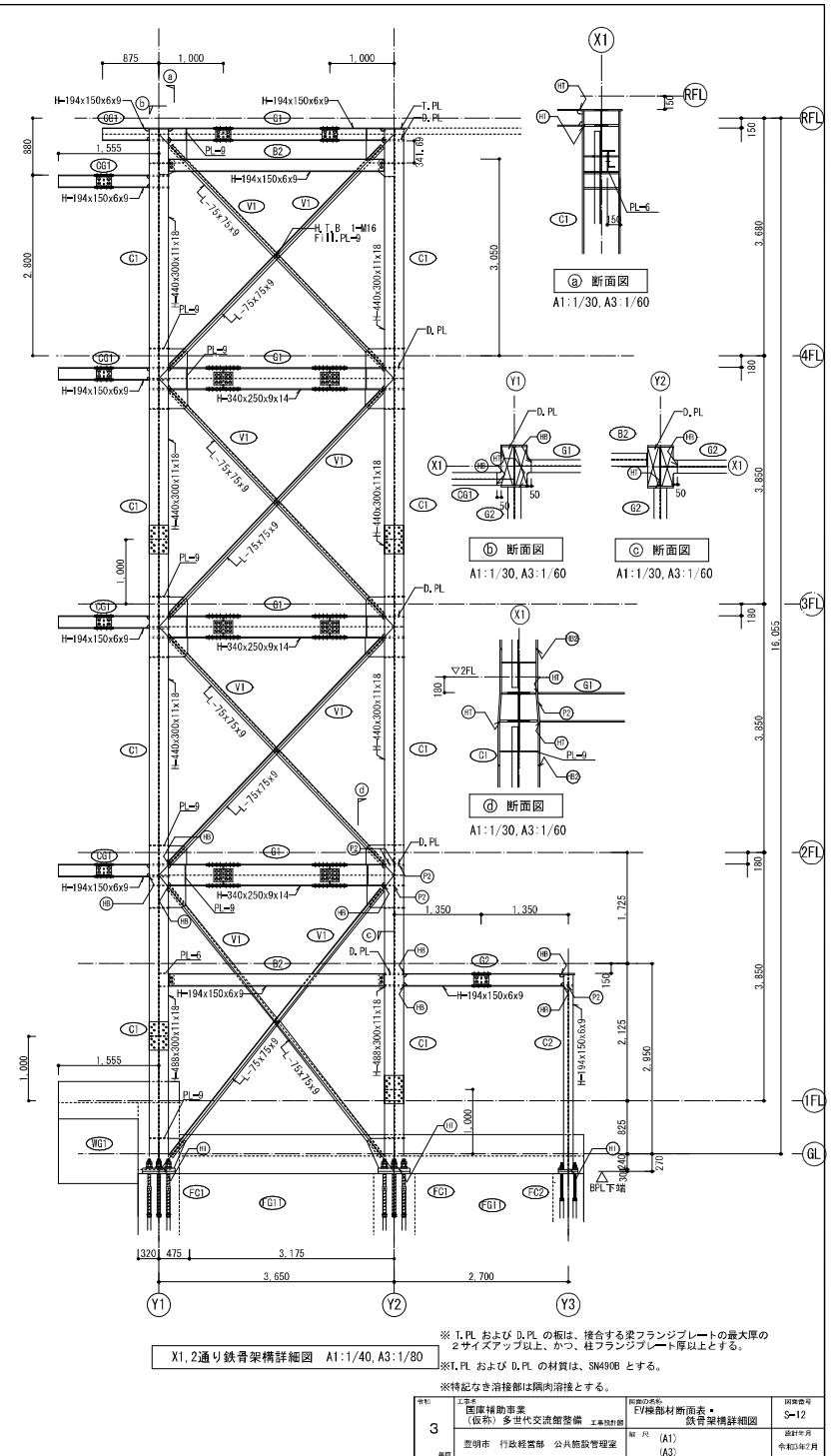
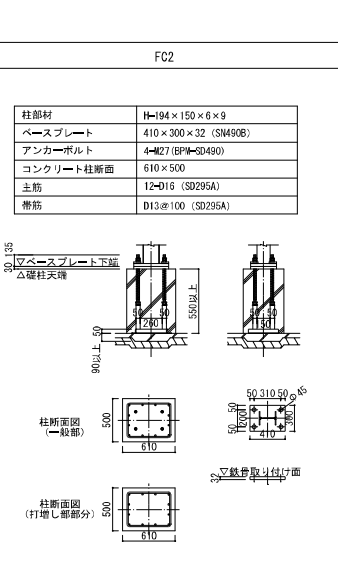
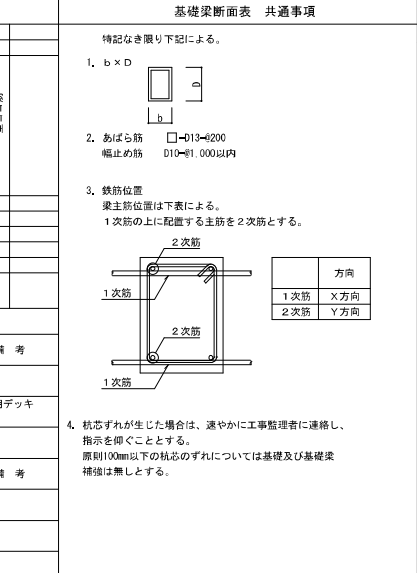
断面

b x D

| 符号 | 位置 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 |
|------|-----|-------------------|-------------|-------------------|-------------|
| FG1 | 全断面 | 500 x 2,100 | 570 x 1,270 | 500 x 2,100 | 200 x 1,000 |
| FG2 | 全断面 | 5-D25 | 5-D25 | 5-D25 | 3-D16 |
| FG11 | 全断面 | 5-D25 | 5-D25 | 5-D25 | 2-D16 |
| WG1 | 全断面 | □-D13φ200 | □-D13φ200 | □-D13φ200 | □-D10φ200 |
| 備考 | | 増打ち補強筋は13-φ22とする。 | | 増打ち補強筋は13-φ22とする。 | |

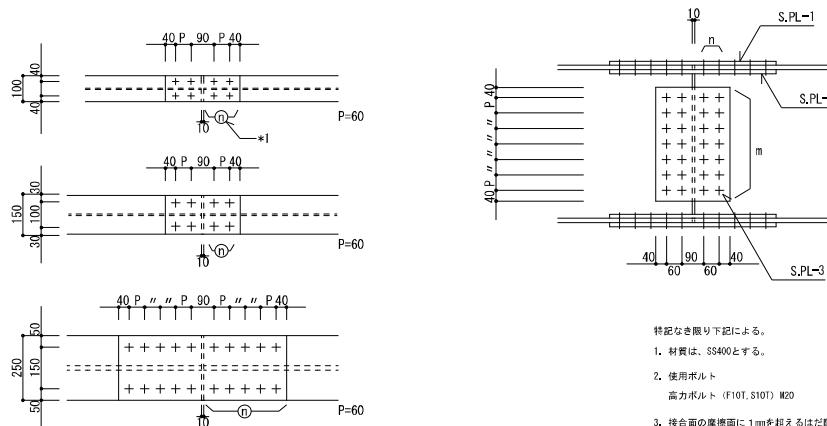
床スラブ断面表

| 符号 | 厚さ | 位置 | 短辺方向 | | 長辺方向 | | 備考 |
|-----|-----|-----|-------------|-------------|------|-----|--------------|
| | | | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | |
| S1 | 180 | 上筋筋 | D10-D13φ200 | D10-D13φ200 | | | |
| | | 下筋筋 | D10φ200 | D10φ200 | | | |
| S15 | 150 | 上筋筋 | D10-D13φ200 | D10-D13φ200 | | | 型枠用デッキ t=1.2 |
| | | 下筋筋 | D10φ200 | D10φ200 | | | |
| FS1 | 470 | 上筋筋 | D16φ200 | D16φ200 | | | |
| | | 下筋筋 | D16φ200 | D16φ200 | | | |
| 符号 | 厚さ | 位置 | 主筋方向 | | 配筋方向 | | 備考 |
| | | | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | |
| CS1 | 150 | 上筋筋 | D10-D13φ200 | D10φ200 | | | |
| | | 下筋筋 | D10φ200 | D10φ200 | | | |
| CS2 | 250 | 上筋筋 | D13φ100 | D10φ200 | | | |
| | | 下筋筋 | D10φ200 | D10φ200 | | | |



剛接合継手詳細図

| 梁中央部材 | 剛接合部 | | | | | | 備考 |
|-----------------------|--------------------|--------------------|---------|------|-------------------|---------------|----|
| | 梁フランジ | | | 梁ウェブ | | | |
| n | S.PL-1 | S.PL-2 | n × m | P | S.PL-3 | | |
| H-200 × 100 × 5.5 × 8 | 2PL-9 × 100 × 290 | 4PL-9 × 60 × 290 | 1 × 2=2 | 60 | 2PL-6 × 140 × 170 | 使用ボルトはM16とする。 | |
| H-194 × 150 × 6 × 9 | 2PL-9 × 150 × 290 | 4PL-9 × 60 × 290 | 1 × 2=2 | 60 | 2PL-6 × 140 × 230 | | |
| H-340 × 250 × 9 × 14 | 2PL-12 × 250 × 530 | 4PL-12 × 100 × 530 | 2 × 3=6 | 60 | 2PL-9 × 200 × 290 | | |

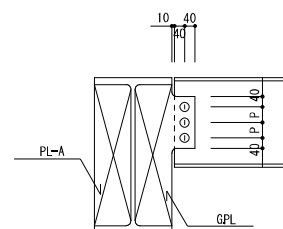


- 特記なき限り下記による。
1. 材質は、SS400とする。
 2. 使用ボルト
高力ボルト (F10T, S10T) M20
 3. 接合面の摩擦面に1mmを超えるはた隙が生ずる場合は、その大きさに適合したフィラブレート (SS400) を用いる。

*1 継手片側のフランジボルト本数

ピン接合継手詳細図

| 符号 | 部材 | ピン接合部 | | | | 備考 |
|----|-----------------------|--------------|----|------|------|----|
| | | H, T, B n | P | G.PL | PL-A | |
| B1 | H-200 × 100 × 5.5 × 8 | 2-M20 | 60 | 6 | 6 | |
| B2 | H-194 × 150 × 6 × 9 | 2-M20 | 60 | 6 | 6 | |
| B3 | H-125 × 125 × 6.5 × 9 | 2-M16 | 60 | 6 | 6 | |

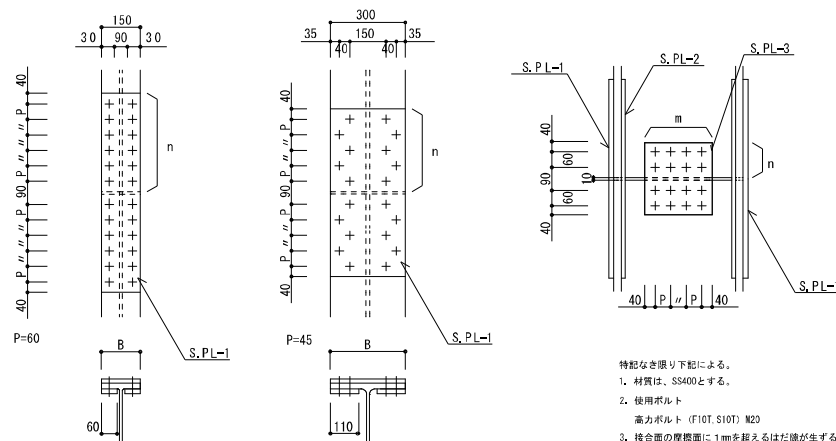


ピン接合参考図

剛接合 (溶接) 参考図

- 特記なき限り下記による。
1. 材質は、SS400とする。
 2. 使用ボルト
高力ボルト (F10T, S10T) M20
 3. 接合面の摩擦面に1mmを超えるはた隙が生ずる場合は、その大きさに適合したフィラブレート (SS400) を用いる。

柱継手詳細図



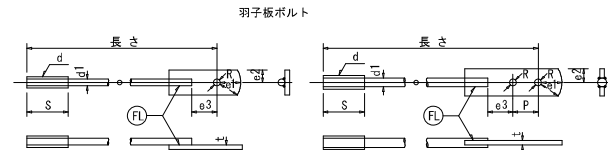
- 特記なき限り下記による。
1. 材質は、SS400とする。
 2. 使用ボルト
高力ボルト (F10T, S10T) M20
 3. 接合面の摩擦面に1mmを超えるはた隙が生ずる場合は、その大きさに適合したフィラブレート (SS400) を用いる。

ブレース詳細図

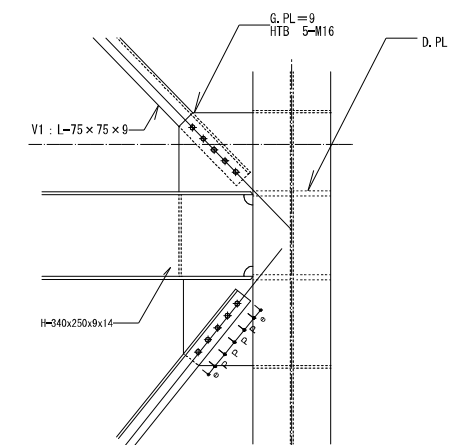
| 羽子板ボルト | | 形鋼ブレース | | | | | |
|-----------|--|--------|---------------|--------------|-------|----|----|
| X1 | | 符号 | 部材 | H, T, B n | G, PL | P | e |
| ねじの呼び (d) | | V1 | L-75 × 75 × 9 | 5-M16 | 9 | 60 | 40 |

| ねじの呼び (d) | | M16 | |
|----------------------------|-----------|------------------------------|------|
| 軸径 d1 | 最大 | 14.66 | |
| | 最小 | 14.41 | |
| 調整ねじの長さ | S | 125 | |
| 取付けボルト穴径 許容差 +0, -0.5mm | R | 17.0 | |
| はしあき (最小) | (2) e1 | 45 | |
| 切板幅 | へりあき (最小) | (1) e2 | 28 |
| | 板厚 | t | 6 |
| 平鋼製 | へりあき (最小) | (1) e2 | 25.0 |
| | 板厚 | t | 6 |
| ボルト頭から取付けボルト穴迄の長さ (最小) | e3 | 59 | |
| 滑接長さ (最小) | C | 55 | |
| (2) 取付けボルト | 種類 | JIS B1186 2種 高力ボルト (F10T) | |
| | ねじの呼び | M16 | |
| | 本数 | 1 | |

- [注] (1) e1, e2が確保されれば形状は自由でよい
(2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付けボルトを使用し、一面せん断 (支圧) 接合とする



(JIS規格品とする) ●● JIS A 5540--2008/5541・5542--2008
1. 鋼材は、SNR400B とする



- 特記なき限り下記による。
1. 鋼材は、SS400 とする
 2. T.PL および D.PL の板は、接合する梁フランジプレートの最大厚の2サイズアップ以上、かつ、柱フランジプレート厚以上とする。
 3. T.PL および D.PL の材質は、SN490B とする。
 4. 特記なき溶接部は隅肉溶接とする。

| 部材 | フランジ | | | ウェブ | | | 備考 |
|-----------------------|------|--------------------|--------------------|----------|----|---------------------|----|
| | n | S.PL-1 | S.PL-2 | n × m | P | S.PL-3 | |
| H-194 × 150 × 6 × 9 | 4 | 2PL-9 × 150 × 290 | 4PL-9 × 60 × 290 | 1 × 2=2 | 60 | 2PLs-6 × 140 × 230 | |
| H-440 × 300 × 11 × 18 | 16 | 2PL-12 × 300 × 440 | 4PL-12 × 110 × 440 | 2 × 5=10 | 60 | 2PLs-12 × 320 × 290 | |
| H-488 × 300 × 11 × 18 | 16 | 2PL-12 × 300 × 440 | 4PL-12 × 110 × 440 | 1 × 6=6 | 60 | 2PLs-9 × 380 × 170 | |

ボーリング柱状図

調査名 (仮称)多世代交流館地盤調査業務委託

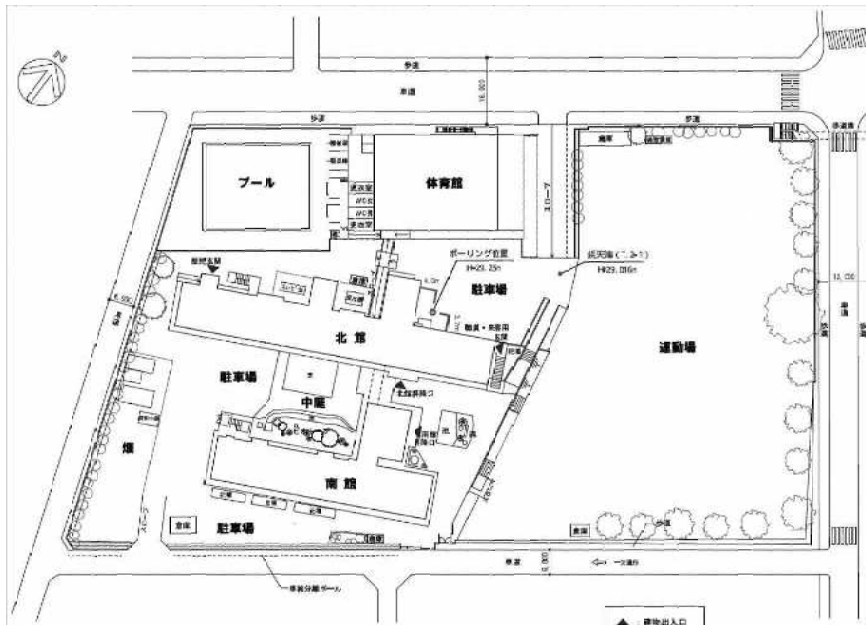
ボーリングNo.

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

事業・工事名

シートNo

| | | | | | | | | | |
|--------|--------------------------------|------|-------------------------|--------------------------|-----------------------------------|--------------|----------------|----------|--------------|
| ボーリング名 | No. 1 | 調査位置 | 愛知県豊明市二村台1丁目地内(現・唐竹小学校) | | 北緯 | 35° 3' 46.0" | | | |
| 発注機関 | 豊明市 | | 調査期間 | 令和 2年 7月 23日 ~ 2年 7月 25日 | | 東経 | 137° 0' 9.19" | | |
| 調査業者名 | 株式会社 江土地質 電話 (052-882-1295) | 主任技師 | 高橋 俊春 | 現場代理人 | 越野 広仁 | コア鑑定者 | 高橋 俊春 | ボーリング責任者 | 田中 重元 |
| 孔口標高 | 29.25m | 角 | 180° 上 90° 下 0° | 方 | 北 0° 東 90° 南 180° 西 270° | 地盤勾配 | 鉛直 0° 水平 0° | 使用機種 | ハンマー 落下月具 |
| 総掘進長 | 14.45m | 度 | | 向 | | | | 試験機 | YBM-05 |
| | | | | | | | | エンジン | NFD 9 |
| | | | | | | | | | ポンプ |
| | | | | | | | | | 半自動 |
| | | | | | | | | | V-6 |



調査地点位置図 S=1/600

| 標高 尺 | 層厚 (m) | 深 (m) | 柱状 (m) | 土質 区分 | 色 調 | 相対 密度 | 相対 湿度 | 記 事 | 標準貫入試験 | | | 原位置試験 深 (m) | 試験名 および結果 | 試料採取 深 (m) | 採取 番号 | 室内試験 (m) | 掘 進 月 日 | | |
|---------|-----------|----------|-----------|-----------|--------|----------|----------|---|----------|------------------------|----------------------|-------------------|--------------|------------------|----------|-------------|------------------|----------|----------|
| | | | | | | | | | 深 (m) | 10cmごとの 打撃回数 (回) | 打撃回数 / 貫入長 (回/cm) | | | | | | | 深 (m) | 度 (%) |
| 28.95 | 0.30 | 0.30 | | 粘土 | 褐色 | | | 粘土層が厚く 上部は細砂が混る 1m付近はやや強く硬結状を呈す 粘粒中位~大 | 1.15 | 3 | 3 | 2 | 5 | 30 | 8 | | | | |
| 26.40 | 2.50 | 2.80 | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | 細砂~粗砂よりなる 含水量は中位 | 2.15 | 1 | 1 | 1 | 3 | 30 | 9 | | | | |
| 34.40 | 0.70 | 4.50 | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | 細砂が混る 粘粒が混る 硬く、粘結状を呈す | 3.15 | 1 | 1 | 1 | 3 | 30 | 9 | | | | |
| 23.45 | 1.00 | 3.80 | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | 径5~20mm程度の礫が主体 シルト分を多く含む、粘結状を呈す | 4.15 | 3 | 4 | 5 | 12 | 30 | 12 | | | | |
| 19.50 | 3.90 | 9.70 | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | 粒径不均一 8m付近まで径5~10mm程度の小礫が 混る 全体的にシルト分を含む 含水量は多い | 5.15 | 19 | 24 | 60 | 30 | 60 | 16 | | | | |
| 10.50 | 1.00 | 14.45 | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | 9m付近、細中砂が多くなる | 6.15 | 7 | 8 | 8 | 33 | 30 | 23 | | | | |
| 17.05 | 2.50 | 12.25 | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | 非常に硬く、固結状を呈す 含水量は少ない | 7.15 | 5 | 6 | 9 | 33 | 30 | 20 | | | | |
| 16.40 | 0.60 | 12.85 | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | シルト分多く含む 含水量は少ない | 8.15 | 7 | 9 | 9 | 33 | 30 | 25 | | | | |
| 14.80 | 1.60 | 14.45 | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | 炭化植物片が点在する 含水量は少ない | 9.15 | 6 | 7 | 11 | 24 | 30 | 24 | | | | |
| | | | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | | 10.15 | 16 | 13 | 17 | 46 | 30 | 86 | | | | |
| | | | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | | 11.15 | 9 | 10 | 11 | 30 | 30 | 30 | | | | |
| | | | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | | 12.15 | 11 | 16 | 25 | 49 | 30 | 48 | | | | |
| | | | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | | 13.15 | 8 | 8 | 9 | 30 | 30 | 25 | | | | |
| | | | | シルト 黄砂 | 黄褐色 | | | | 14.15 | 7 | 9 | 11 | 27 | 30 | 27 | | | | |